

科目番号	2201	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年前期	担当	兼平友子
科目名	教育原理(1)								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 教育における基礎・基本を概観し、教育者にふさわしい心構えを育むことを目標とする。</p> <p>テーマ 教育に関しての基礎を学び、教育観についての自分なりの考えを持つ。</p>								
授業の概要	<p>教育における基礎的概念、教育思想、歴史的経緯および生涯学習、現代の教育課題等について学ぶことで、教育についての論理的な思考の基礎を培っていく。</p>								
回	授 業 計 画						自主学習（授業前・授業後）		
1	教育の意義と目的 教育の意義と目的について学ぶことで、教育への基本的理解を深める						教育者に関してのイメージをもって臨むこと。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。		
2	教育とは 人間の発達、家庭・地域・社会と教育との関連、教育と児童福祉との関連性について学ぶ						講義前は教育に関して新聞やニュース等に目を向けてくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。		
3	西欧の教育思想 西欧の子ども観・教育観の歴史を概観し、コメニウスの教育思想・歴史的背景について学ぶ						講義前は教育に関して新聞やニュース等に目を向けてくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。		
4	西欧の教育思想 主にロック、ルソー、ペスタロッチーの教育思想・歴史的背景について学ぶ						講義前は教育に関して新聞やニュース等に目を向けてくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。		
5	西欧の教育思想 主にフレーベル、デューイ、モンテッソーリ、シュタイナーの教育思想・歴史的背景について学ぶ						講義前は教育に関して新聞やニュース等に目を向けてくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。		
6	日本の教育思想 倉橋惣三を中心とした日本における幼児教育思想について学ぶ						講義前は教育に関して新聞やニュース等に目を向けてくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。		
7	教育の歴史の変遷 日本の教育の目的、子ども観・教育観の歴史の変遷について学ぶ						講義前は教育に関して新聞やニュース等に目を向けてくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。		
8	教育の制度 日本の教育制度の変遷について捉える						講義前は教育に関して新聞やニュース等に目を向けてくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。		
9	教育の制度 諸外国の教育制度の変遷について捉える						講義前は教育に関して新聞やニュース等に目を向けてくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。		
10	教育の制度 教育の基礎となる法規について学ぶ						講義前は教育に関して新聞やニュース等に目を向けてくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。		
11	教育実践 教育実践の基礎理論、教育評価の持つ意味について学ぶ						講義前は教育に関して新聞やニュース等に目を向けてくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。		
12	就学前教育 幼稚園教育要領の目的や基本的構造、改訂の基本的な考え方について捉える						講義前は教育に関して新聞やニュース等に目を向けてくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。		
13	就学前教育 保幼小連携等について幼稚園教育要領を読み解く						講義前は教育に関して新聞やニュース等に目を向けてくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。		
14	生涯学習と特別支援教育 生涯学習の基本理念および意義、特別支援教育における現状と課題について考察する						講義前は教育に関して新聞やニュース等に目を向けてくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。		
15	生涯学習社会における現代の現状と教育課題 生涯学習社会における現代の教育課題について考える						講義前は教育問題に関して自分の意見を持つようにする。講義後はこれまでの講義内容の復習をし、自分なりの教育観を確立する。		
テキスト	「幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の成立と変遷」萌文書林								
参考書・資料等	「教育小六法 平成30年度版」学陽書房 「解説 教育六法 2018 平成30年度版」三省堂								
評価方法	定期試験(70%)と授業の中で課す小レポート(30%)の総合評価とする。 試験は定期試験期間内に実施する								
履修上の注意等	講義後復習を行い、自分なりのノートを作っていくよう心がけること。また、教育・保育に関する新聞、ニュース等に目を向け、自分なりの教育観を確立できるようになることが望ましい。								

科目番号	2202	単位	2	授業形態	講義	開講時期	2年後期	担当	本山敬祐	
科目名	教育原理(2)									
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター			
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 本講義における到達目標は、①公教育の理念を理解する、②教育課程を編成する際の留意点を理解し安全教育等について具体例が示せるようになる、③教育の当事者として参加するための視点や方法を身につけるの3点とする。</p> <p>テーマ 将来幼稚園で教諭になる上で必要な教育の制度や教育課程に関する基礎知識を身につける。また、将来の保護者や地域住民といった教育の当事者になりうる者として押さえておくべき基本事項を身につける。</p>									
授業の概要	<p>「人はなぜ学校へ行かなければならないのか」という素朴ながらも深く複雑な問いを糸口として、公教育の原理、教育行政制度、公教育への参加論といった教育の社会的、制度的、経営的事項についての基礎を学ぶ。また、日々の教育実践を支える仕組みや国際的な動向を踏まえ、教育課程を編成する上での視点や安全教育等に関する具体例について概説する。さらに、教育に関する現代的課題として、不登校および子どもの貧困について取り上げる。</p>									
回	授 業 計 画							自主学習 (授業前・授業後)		
1	ガイダンス								授業前: シラバスに目を通す。 授業後: 次回のキーワードについて事典等で事前に調べる。	
2	公教育の原理 (公教育、教育を受ける権利、機会均等、義務性、中立性、無償性)								授業前: キーワードの理解を深める。 授業後: 復習および次回のキーワードについて調べる。	
3	教育委員会制度 民意の反映 (教育委員会法、民意、公選制)								同上	
4	教育委員会制度 専門的リーダーシップ (地教行法、任命制、分権改革、官僚制の逆機能)								同上	
5	公教育への参加 (PTA、「開かれた学校」、コミュニティスクール、パブリックコメント)								同上	
6	学校経営 (学校教育法、リーダーシップ、「チーム学校」、「学校における働き方改革」)								同上	
7	生涯学習 (社会教育、公民館、生涯学習社会、NPO)								同上	
8	就学前教育に関する政策と制度 (OECD、ECEC、認定こども園、非認知能力)								同上	
9	幼稚園教育要領の変遷 (6領域、5領域、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿)								同上	
10	教育課程上の保幼小の連携 (アプローチカリキュラム、スタートカリキュラム、カリキュラム・マネジメント)								同上	
11	学校安全 (生活安全、交通安全、災害安全、学校管理下、安全教育)								同上	
12	インクルーシブ教育 (公平、平等、包摂、排除、ダイバーシティ)								同上	
13	教育をめぐる諸課題 不登校 (学校恐怖症、登校拒否、社会的自立、教育機会確保法)								同上	
14	教育をめぐる諸課題 子どもの貧困 (相対的貧困、貧困の連鎖、こども食堂)								同上	
15	まとめ: 「次世代の学校・地域」のための教育ガバナンス								授業前: 14回分の内容を復習する。 授業後: 学習成果をレポートにまとめる。	
テキスト	幼稚園教育要領および同解説 (既に持っている場合は購入不要)。									
参考書・資料等	木村元・小玉重夫・船橋一男 (2009) 『教育学をつかむ』有斐閣。 佐藤哲也編 (2018) 『保育原理 (改訂版)』(子どもの心によりそう) 福村出版。 日本保育学会編 (2016) 『保育を支えるしくみ 制度と行政』(講座保育学2) 東京大学出版会。									
評価方法	レポート (50%) および定期試験期間内に実施する期末試験 (50%) による。									
履修上の注意等	教育関連のニュースや新聞記事について幅広く関心を向けること。また、ニュースや記事の背景にどのような教育の仕組みが関わっているかを考え、具体的に調べる。講義期間中にミニレポートを課す。									

科目番号	2203	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年 A班前期 B班後期	担当	笹森雅子		
科目名	教育方法・技術								フードサイ エンティスト		
課程	卒業必修		栄養士 保育士		栄養 教諭 幼稚園 教諭		医療 ベビー シッター				
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 自身の学校生活と関連させながら、授業と学びの営みを理解する。子どもたちが主体的に参加する授業の要素を配慮しながら、指導計画を立案する。教育の情報化に伴い、その活用方法と課題を記述する。</p> <p>テーマ 学習者を意識した教育方法の工夫～メディアを利用した授業(教育活動)</p>										
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様式、歴史とともに変貌する学校教育の実情を理解する。 ・教授活動を一つのモデルとして捉え、授業のデザイン・評価について理解する。 ・子どもが意欲的に参加する授業にメディアが果たす役割を学ぶ。 ・具体的にパーソナルコンピュータを利用してスライド教材を作成し、学習を適切かつ効果的に成立させる方法を演習する。 										
回	授 業 計 画							自主学習(授業前・授業後)			
1	オリエンテーション 教育方法・技術の意義を知り、子ども理解と学びの観点から授業を捉える。							毎回、授業の最後に次回の予定を伝えるので、予習をしてくる。課題が出た場合は必ず定められた日までに提出する。			
2	授業の様式 教えるという行為の意味から2つの授業の様式を理解する。										
3	授業の歴史 欧米の教育思想と授業様式の変遷から教育方法学の歴史を把握する。										
4	学びの創造 行動主義と認知主義、活動主義の理論を知り、学びを協同的・社会的活動として理解を深める。										
5	協同的な学び 学びを対話的実践として捉え、協同としての学びの重要性を認識する。										
6	保育者の役割 就学前の子どもが自発的に学ぶために必要な保育者の位置と援助について理解する。										
7	授業とメディア 教育メディアの変遷から教育工学とその手法を理解する。										
8	視聴覚教材の歴史 就学前の子どもにとって、ふさわしい教育メディア(視聴覚教材)とは何かを視聴覚教育の歴史から把握する。										
9	情報機器の活用と課題 情報機器の種類と課題 情報機器を視聴覚教材として捉え、活用例を通じて活用技法を習得する。										
10	情報機器の活用と課題 視聴覚教材の活用 情報機器を視聴覚教材として捉え、活用例を通じて活用技法を習得する。										
11	授業と教師 教師の身体表現、ことばが果たす役割から、教師自身の技量・技法を認識する。										
12	教材の作成と実践 プレゼンテーションソフト等を利用した具体的な教材作成に取り組む。										
13	教材の作成と実践 同上										
14	教材の作成と実践 同上										
15	教材の作成と実践 同上										
テキスト	資料・課題は進捗状況を見ながら、毎時間提示する。										
参考書・資料等	講義中に案内する。										
評価方法	定期試験50%、授業の課題の提出内容50%により評価する。 試験は定期試験期間内に実施する										
履修上の注意等	毎時のノート、配布資料を整理し、理解に努めること。分からないことがあったら、遠慮せず質問してもらいたい。										

科目番号	2204	単位	1	授業形態	演習	開講時期	1年前期	担当	小山尊徳
科目名	情報技術								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 自分のイメージした文書を様々な情報機器・ソフトウェアを活用しながら自由に作成できるようになる。 インターネット上のサービスを活用し、情報収集・情報発信ができるようになる。</p> <p>テーマ 情報機器を活用し、相手に対して的確に情報を伝えるにはどのような知識と技術が必要かを学ぶ。</p>								
授業の概要	<p>情報を適切に表現・発信するための知識を養い、情報機器（コンピュータおよび周辺機器）の操作およびアプリケーションソフトウェアを活用した文書作成・情報伝達などの技術を学びます。 ソフトウェア操作は、日本情報処理検定協会主催日本語ワープロ検定1級・文書デザイン検定2級相当及びペンタブレットによるペイント描画の知識・技術の習得を想定した内容です。</p>								
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）	
1	学内ネットワークシステムの利用方法について outlook サイト yammer onedrive office onlineの基本的操作と活用演習								
2	講義概要・コンピュータ実習室利用の留意事項を説明 習熟度アンケートの実施							授業前：講義サイトのレジュメを確認 授業後：講義サイトの参考動画を視聴	
3	ワープロソフトの基本的な機能説明と文書作成に係わる全般的な機能 (ページの設定・書式設定・印刷など)について							授業前：講義サイトのレジュメを確認 授業後：講義サイトの参考動画を視聴	
4	ワープロソフトの基本的な機能説明と文書作成に係わる全般的な機能 (表の作成・結合・分割・野線修飾など)について							授業前：講義サイトのレジュメを確認 授業後：講義サイトの参考動画を視聴	
5	オートシェイプ・図形描画機能を利用した地図の作成							授業前：講義サイトのレジュメを確認 授業後：講義サイトの参考動画を視聴	
6	DTPによる名刺の制作方法と情報デザイン							授業前：講義サイトのレジュメを確認 授業後：講義サイトの参考動画を視聴	
7	タイピングテスト 画像を扱う上で必要となる基礎知識の理解 画像編集ソフトウェアの基本操作について							授業前：講義サイトのレジュメを確認 授業後：講義サイトの参考動画を視聴	
8	総合課題1A オリジナルのビジネス文書を作成する1(企画)							授業前：講義サイトのレジュメを確認 授業後：講義サイトの参考動画を視聴	
9	総合課題1B オリジナルのビジネス文書を作成する2(公文書制作)							授業前：講義サイトのレジュメを確認 授業後：講義サイトの参考動画を視聴	
10	総合課題1C オリジナルのビジネス文書を作成する3(告知媒体制作)							授業前：講義サイトのレジュメを確認 授業後：講義サイトの参考動画を視聴	
11	演習 ペンタブレット操作を中心とした画像作成・加工の操作について1							授業前：講義サイトのレジュメを確認 授業後：講義サイトの参考動画を視聴	
12	演習 ペンタブレット操作を中心とした画像作成・加工の操作について2								
13	演習 ペンタブレット操作を中心とした画像作成・加工の操作について3								
14	DTPによる園たよりの制作方法・技術と例題							授業前：講義サイトのレジュメを確認 授業後：講義サイトの参考動画を視聴	
15	修得した知識・技術を活用した文書作成技能テスト (文書デザイン検定2級程度の内容)								
テキスト	授業内容に応じて適宜資料を配布する								
参考書・資料等	授業用Webサイトに適宜掲載する								
評価方法	総合課題・演習の提出状況および完成度(2題70%) 技能テスト(文書作成・タイピング)(30%)								
履修上の注意等	目的意識を持って授業に臨んでください。Office365の授業用サイトに予習復習用の情報を掲載するので確認を怠らないこと。とくに欠席した際には次の授業前にサイトで欠席時の内容を補充しておくこと。								

科目番号	2204	単位	1	授業形態	演習	開講時期	1年後期	担当	小山尊徳
科目名	情報技術								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイ エンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビー シッター		
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 自分のイメージした文書を様々な情報機器・ソフトウェアを活用しながら自由に作成できるようになる。 インターネット上のサービスを活用し、情報収集・情報発信ができるようになる。</p> <p>テーマ 情報機器を活用し、相手に対して的確に情報を伝えるにはどのような知識と技術が必要かを学ぶ。</p>								
授業の概要	<p>情報を適切に表現・受発信するための知識を養い、情報機器(コンピュータおよび周辺機器)の操作、アプリケーションソフトウェアを活用した文書作成・情報発信などの技術を学びます。ソフトウェア操作は、日本情報処理検定協会主催文書デザイン検定1級・プレゼンテーション試験2級相当および動画編集の知識・技術の習得を想定した内容です。</p>								
回	授 業 計 画							自主学習(授業前・授業後)	
1	総合課題2A オリジナルの情報誌を企画する1(情報収集)							授業前: 講義サイトのレジュメを確認 授業後: 講義サイトの参考動画を視聴	
2	総合課題2A オリジナルの情報誌を企画する2(レイアウトシート作成)							授業前: 講義サイトのレジュメを確認 授業後: 講義サイトの参考動画を視聴	
3	総合課題2B オリジナルの情報誌を作成する1(WordによるDTP)							授業前: 講義サイトのレジュメを確認 授業後: 講義サイトの参考動画を視聴	
4	総合課題2B オリジナルの情報誌を作成する2(WordによるDTP)								
5	総合課題2B オリジナルの情報誌を作成する3(WordによるDTP)								
6	総合課題2B オリジナルの情報誌を作成する4(WordによるDTP)								
7	プレゼンテーションソフトの基本的な説明 スライド作成に関わる全般的な機能(文字・画像・音声の扱いなど)について 効果的な表現(修飾やアニメーション機能)について							授業前: 講義サイトのレジュメを確認 授業後: 講義サイトの参考動画を視聴	
8	総合課題3A 園児向けオリジナルスライド資料を考案する(ストーリーボード)							授業前: 講義サイトのレジュメを確認 授業後: 講義サイトの参考動画を視聴	
9	総合課題3B 園児向けオリジナルスライド資料を作成する1(Powerpoint)							授業前: 講義サイトのレジュメを確認 授業後: 講義サイトの参考動画を視聴	
10	総合課題3B 園児向けオリジナルスライド資料を作成する2(Powerpoint)								
11	総合課題3B 園児向けオリジナルスライド資料を作成する3(Powerpoint)								
12	映像編集に関わる全般的な知識と技能について 総合課題3C 園児向け映像コンテンツを作成する1(ムービーメーカー)							授業前: 講義サイトのレジュメを確認 授業後: 講義サイトの参考動画を視聴	
13	総合課題3C 園児向け映像コンテンツを作成する2(ムービーメーカー)								
14	Office365活用演習・EXCEL Onlineでアンケート・サイトの作成							授業前: 講義サイトのレジュメを確認 授業後: 講義サイトの参考動画を視聴	
15	Office365活用演習・EXCEL Onlineでアンケート・サイトの作成 授業のまとめとリフレクション								
テキスト	授業内容に応じて適宜資料を配布する								
参考書・資料等	授業用Webサイトに適宜掲載する								
評価方法	総合課題の提出状況および完成度(2題:70%) 定期試験(筆記)(30%)								
履修上の注意等	目的意識を持って授業に臨んでください。Office365の授業用サイトに予習復習用の情報を掲載するので確認を怠らないこと。とくに欠席した際には次の授業前にサイトで欠席時の内容を補充しておくこと。								

科目番号	2205	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年前期	担当	島内智秋
科目名	保育原理(1)								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 ・保育の本質や保育の原理、子どもの発達過程に適した保育や環境について理解する。</p> <p>テーマ ・保育士として基礎的知識を理解し、実践へつなげる力を養う。</p>								
授業の概要	<p>保育の基本である「保育の意義・目標・内容」「保育の原理」「子どもの遊びの意義」「子どもの発達特性」「保育所の健康・安全上の留意事項」などに関しての学び、理解して身につけていく。</p>								
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）	
1	オリエンテーション 保育の理念と概念							教科書を一読し質問を考える	
2	保育の基本 保育対象としての子ども -なぜ子どもを保育するのか-							教科書を一読し質問を考える	
3	福祉としての保育 -なぜ保育所が必要なのか-							教科書を一読し質問を考える	
4	保育所保育指針の考え方 -なぜ保育所は教科書を用いないのか 幼児の発達の特徴と保育 2歳児について							教科書を一読し質問を考える	
5	発達過程に応じた保育 -なぜ子どもの発達理解は大切なのか 幼児の発達の特徴と保育 3歳児について							教科書を一読し質問を考える	
6	保育方針と指導計画 幼児の発達の特徴と保育 4歳児について							教科書を一読し質問を考える	
7	保育のねらいと内容・遊びの充実と保育士の援助 幼児の発達の特徴と保育 5歳児について							教科書を一読し質問を考える	
8	遊びと環境構成・保育における指導の総合性 幼児の発達の特徴と保育 6歳児について							教科書を一読し質問を考える	
9	子ども観・保育観とともに成長する保育士・遊びにおける個と集団への配慮							教科書を一読し質問を考える	
10	保育におけるPDCAサイクルとは何か・2日間実習で悩んだことについて							教科書を一読し質問を考える	
11	保育の形態と保育士の役割・2日間実習で悩んだことについて							教科書を一読し質問を考える	
12	保育内容と方法・乳幼児の発達の特徴と保育 6か月未満児について 2日間実習で悩んだことについて							教科書を一読し質問を考える	
13	保育内容と方法・乳幼児の発達の特徴と保育 6か月から1歳3か月未満児について 2日間実習で悩んだことについて							教科書を一読し質問を考える	
14	保育内容と方法・乳幼児の発達の特徴と保育 1歳3か月から2歳未満児について 2日間実習で悩んだことについて							教科書を一読し質問を考える	
15	現在の保育をとりまく状況について(保育所・幼稚園・認定こども園・新制度について)							教科書を一読し質問を考える	
テキスト	『なぜからはじめる保育原理』池田隆英・上田敏文ほか編著 建帛社 『保育所保育指針解説書』厚生労働省(平成30年改訂版)								
参考書・資料等	『保育原理』民秋言・河野利津子 北大路書房 『保育原理』天野珠路・北野幸子 中央出版								
評価方法	期末テスト(60%)・提出物(20%)・受講態度(20%)を合わせた総合評価を行う。								
履修上の注意等	実践につなげるようイメージし、発言したり質問したりして積極的な態度で臨んでほしい。								

科目番号	2206	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年後期	担当	島内智秋
科目名	保育原理(2)								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト
			保育士		幼稚園教諭				
到達目標及びテーマ	<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育の歴史と類型、保育内容の変遷を学び、現在の保育の成り立ちを理解する。 ・保育課程・指導計画の重要性や性質を理解し、指導計画案作成の基礎を身につける。 <p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様化する保育ニーズと保育者の任務を知り、質の向上を図る重要性を理解する。 								
授業の概要	<p>第一に保育の視点や創造性を培うために保育史を辿り、保育の思想の源流として西欧諸国の先駆者の思想や偉業にふれ、我が国の保育史についても言及する。第二に保育実践に必要とされる保育課程や保育の記録について学習する。第三に多様な保育ニーズから、子どもにとって望ましい保育環境や保育士の役割について学ぶ。</p>								
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）	
1	オリエンテーション・保育の本質、保育の場についての理解							事前に教科書を一読しておくこと	
2	保育の歴史 諸外国の保育の思想と歴史							事前に教科書を一読しておくこと	
3	保育の歴史 日本の保育の思想と歴史							事前に教科書を一読しておくこと	
4	保育の歴史 日本の保育施設の歴史							事前に教科書を一読しておくこと	
5	保育の歴史 日本の保育内容の変遷（戦前～戦中～戦後～現在）							事前に教科書を一読しておくこと	
6	保育所保育の原理							事前に教科書を一読しておくこと	
7	保育における子ども理解・遊びを通して総合的に行う保育							事前に教科書を一読しておくこと	
8	保育の計画及び評価・保育課程の編成と指導計画作成の基本理解							事前に教科書を一読しておくこと	
9	短期指導計画の理解・日案作成の手順と項目の理解							各自のクラス活動案を提出	
10	指導案を持ち寄り、グループ内で一人一人の指導計画について話し合う							活動案から内容説明できるようにする	
11	模擬保育を実施し、指導計画との繋がりを体験的に理解する 評価・反省をする							模擬保育からの学びを整理する	
12	模擬保育を実施し、指導計画との繋がりを体験的に理解する 評価・反省をする							模擬保育からの学びを整理する	
13	模擬保育から良い点や工夫が必要な点を検討する 指導計画の改善							指導案を改善する	
14	改善した指導案から保育実践に繋がる細案の理解							自身の指導案から細案の検討をする	
15	保育行政・保育制度や多様な保育ニーズについての理解							改善した指導案を提出する	
テキスト	『なぜからはじめる保育原理』（保育原理（1）から引き続き使用） 『0～5歳児指導計画の書き方がよくわかる本』ひかりのくに								
参考書・資料等	『保育の友 私たちの指導計画』全国社会福祉協議会 『保育原理』民秋言・河野利津子編著 北大路書房								
評価方法	期末テスト(60%)・提出物(20%)・受講態度(20%)などの総合評価をする。								
履修上の注意等	実践に繋げるようにイメージしながら受講し積極的に質問すること。								

科目番号	2207	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年後期	担当	佐藤優輝		
科目名	社会的養護										
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト		
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター				
到達目標及びテーマ	到達目標 社会的養護の歴史・現状・課題・将来像を理解する。 支援者に求められる子どもを捉える視点を養う。 テーマ 子どもの最善の利益を目指して										
授業の概要	テキストに沿いながら講義形式で社会的養護の全体像について理解を深める。 社会的養護の実践・実状について講義形式で理解を深める。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	社会的養護とは何か ～社会的養護の全体像をつかむ～							テキストを一読しておくこと			
2	社会的養護とは何か ～社会的養護の意義～							テキストを一読しておくこと			
3	児童養護の歴史							テキストを一読しておくこと			
4	児童福祉施設 ～施設養護の現状と課題～							テキストを一読しておくこと			
5	児童福祉施設の実状 ～児童養護施設など～							テキストを一読しておくこと			
6	児童福祉施設職員として ～資質・専門性～							テキストを一読しておくこと			
7	児童福祉施設職員として ～チームアプローチ・スーパービジョン～							テキストを一読しておくこと			
8	児童福祉施設職員として ～施設運営～							テキストを一読しておくこと			
9	家庭養護 ～里親制度・養子制度～							テキストを一読しておくこと			
10	治療的養育の場としての社会的養護							テキストを一読しておくこと			
11	支援者としての倫理観と自己覚知							テキストを一読しておくこと			
12	子どもの権利擁護							テキストを一読しておくこと			
13	子どもの権利擁護							テキストを一読しておくこと			
14	親の役割支援							テキストを一読しておくこと			
15	これからの社会的養護に求められるもの							テキストを一読しておくこと			
テキスト	子どもの社会の未来を拓く社会的養護の原理（青踏社） 櫻井奈津子										
参考書・資料等	なし										
評価方法	レポート70% 受講姿勢30%										
履修上の注意等	社会的養護で学ぶ子どもを捉える視点は、すべての子どもをとらえる視点につながる。 講義形式ではあるが、学生との双方向的なやりとりの機会を多くしたいと考えているので、積極的に発言・質問し社会的養護についての理解を深めてほしい。										

科目番号	2208	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年後期	担当	西 敏 郎		
科目名	社会福祉										
課 程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイ エンティスト		
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター				
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標： 社会福祉を通じて、学生自身が新しい視点や知識を獲得し、自ら考え、判断できる力の構築を目標としている。</p> <p>テーマ： 福祉施設は現代の日本に欠かせない施設であるにもかかわらず、一昔前まではその存在はなかった。そこで「社会福祉とは何か」というテーマを中心に講義する。</p>										
授業の概要	<p>人々の相互扶助機能の制度化である福祉だが、それらの持っている側面、そういった経緯に及んだ道筋などを現代の身近な事例を手掛かりに、また福祉先進国や福祉発展途上国の様子なども取り上げながら解説する。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	社会福祉を学ぶ意義：社会福祉とはどのような学問か、身近な事例などをとりあげ理解し、学ぶ目的と意義を確認する。							“社会福祉”という言葉からイメージできるものを考えておく。			
2	社会福祉の制度と法体系：社会福祉を学ぶにあたって必要な基礎知識、制度、法体系について理解する。										
3	社会福祉の制度と法体系：社会福祉を学ぶにあたって必要な基礎知識、制度、法体系について理解する。映像資料も使用して、これまで学んだことの総括も行う。										
4	福祉大国スウェーデンの考察：福祉先進国のメリット・デメリット、様々な諸問題を取り上げながら、理想の福祉とは何かを考察する。										
5	福祉行政と実施機関：現代日本の福祉を実際に担う厚生労働省、福祉事務所などの役割・機能について理解する。							“社会福祉施設”と言われて、イメージ			
6	経済と福祉：福祉とは国家政策の一部である以上、国民の税金が投入される。そこで社会福祉を経済的側面から考察する。										
7	行政と福祉：福祉とは国家政策の一部である。そこで社会福祉を行政的側面から考察する。										
8	社会福祉の歴史：社会福祉という概念が登場する以前の人々の相互扶助機能(助け合い機能)について解説する。										
9	社会福祉の歴史：産業革命後、家族の在り方は劇的に変化する、その当時の人々の相互扶助機能を解説する。										
10	社会福祉の歴史：産業革命後、発達する都市化・産業化に対応した国の政策「制度化された相互扶助機能(=福祉)」を解説する。							レポート提出(「社会福祉の変遷」)			
11	幸福と福祉：便利な生活が幸せとは限らない。真に人間にとっての幸福とは何か、福祉とは何かを哲学的意見も取り上げながら考察する。										
12	地方行政と福祉：青森県内における福祉の政策・事業を解説する。							青森県の福祉問題を調べておく。 (新聞をしっかり読んでおく)			
13	地方行政と福祉：青森県内における福祉の政策・事業を解説する(弘前市を中心に)。										
14	福祉の倫理：福祉において完璧な正解はない。そこで福祉に従事する者の基本的な姿勢、志、倫理について考察する。										
15	総括：いままでの講義内容をふまえ、時事問題も含めて総括をする。							確認の為の小テストを行う。			
テキスト	特に使用しない。必要に応じて資料を配布する。										
参考書・資料等	特に使用しない。図書館等で関連図書を参考にして頂きたい。										
評価方法	受講状況30% レポート提出70%										
履修上の注意等	講義内容に対して積極的に疑問を持ち、自ら「理想の福祉」とは何かを考察しようとする姿勢を望む。										

科目番号	2209	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年前期	担当	兼平友子
科目名	保育者論								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエニティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 保育職についての知識、倫理観について理解し、保育者として求められる資質、役割、専門性について具体的な事例をもとに学んでいく。</p> <p>テーマ 保育士としての基礎的な知識、専門性を学んでいくことで、自らの「保育者像」を確立していく。</p>								
授業の概要	<p>保育者の仕事に関しての制度的な位置付けを踏まえながら保育者としての専門性、倫理観へと理解を深めていく。また、学生同士ディスカッションをする場も取り入れることで保育観に対する視野を広げていけるようにする。</p>								
回	授 業 計 画						自主学習（授業前・授業後）		
1	イントロダクション 保育者のイメージ、「保育者になる」ということについて						テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い分かったことをまとめる。		
2	保育者とは 魅力的な保育者になるための必要な心構えについて学ぶ						テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い分かったことをまとめる。		
3	保育者の制度的位置付け 資格及び免許状を取得することについての要件及び責務、法律にみる保育者の役割について学ぶ						テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い分かったことをまとめる。		
4	保育者の仕事 保育者の一日の仕事と役割について捉える						テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い分かったことをまとめる。		
5	保育者の専門性 子どもの思いや育ちを理解するために必要な専門性について学ぶ						テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い分かったことをまとめる。		
6	保育者の専門性 子どもの思いや育ちを理解するために必要な専門性について学ぶ						テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い分かったことをまとめる。		
7	保育者の役割 3～5歳児保育における保育者の役割(知識・技能・判断力)について学ぶ						テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い分かったことをまとめる。		
8	保育者の役割 0～2歳児保育における保育者の役割(知識・技能・判断力)について学ぶ						テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い分かったことをまとめる。		
9	保育者の資質 保育者に求められる幅広い資質・能力について学ぶ						テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い分かったことをまとめる。		
10	子育て支援 子どもの育ちと子育て支援(保護者への支援)の面から保育者の仕事を捉える						テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い分かったことをまとめる。		
11	地域・家庭との連携 地域社会及び家庭との連携について学ぶ						テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い分かったことをまとめる。		
12	学びあう保育者 保育者の専門性と省察について学ぶ						テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い分かったことをまとめる。		
13	学びあう保育者 組織の中での保育及び連携、研修、省察の重要性について学ぶ						テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い分かったことをまとめる。		
14	保育者の専門的成長 保育者の専門性、保育者に求められる倫理観について学ぶ						テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い分かったことをまとめる。		
15	まとめ 保育者にとって大切なことは何かについてまとめる						これまでの講義内容の復習をし、自分の「保育者像」を確立する。		
テキスト	編著 汐見稔幸 最新保育講座 保育者論ミネルヴァ書房								
参考書・資料等	そのつど資料を作成して配布する。								
評価方法	授業の中で課す小レポート(30%)と、定期試験(70%)の総合評価とする。								
履修上の注意等	保育に関する新聞、ニュース等に日頃から関心を向け、主体的に学習すること。								

科目番号	2210	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年 A班後期 B班前期	担当	久保治美
科目名	相談援助								
課程	卒業必修		栄養士 保育士		栄養 教諭 幼稚園 教諭		医療 ベビー シッター		フードサイ エンティスト
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 保育者に必要な相談援助の基礎的知識の概要について理解する。 相談援助の方法と技術について理解する。 事例検討等を通して対象への理解を深め、相談援助の実践力 向上させる。</p> <p>テーマ 保育者に必要な相談援助の基礎的な知識を理解し、技術を習得する。</p>								
授業の概要	相談援助の理論・方法・技術を主に講義により学ぶ。さらに小グループでの事例検討、グループワーク等を通して、話し合い、発表し、保育における相談援助について、考察を深める。								
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）	
1	オリエンテーション 保育者と相談援助							授業後：授業の要旨を短くまとめ、次回発表する。	
2	相談援助の理論・意義・機能について							授業前：配布資料を読む。 授業後：授業内容を確認し理解を深める。	
3	相談援助の原則							授業前：バISTICKの7原則について調べる。 授業後：授業内容を確認し理解を深める。	
4	相談援助の対象と過程							授業前：配布資料を読む。 授業後：授業の要旨を短くまとめ、次回発表する。	
5	関係機関との協働・専門職との連携							授業前：児童相談所について調べる。 授業後：授業内容を確認し理解を深める。	
6	相談援助者になるために(1) 自己覚知							授業前：配布資料を読む。 授業後：授業で指示した内容をふりかえり、理解を深める。	
7	相談援助者になるために(2) 他者理解							授業前：配布資料を読む。 授業後：ワークについてふりかえり、理解を深める。	
8	コミュニケーションについて							授業前：コミュニケーションについて調べる。 授業後：授業内容を確認し理解を深める。	
9	コミュニケーションの理解							授業前：配布資料を読む。 授業後：ワークについてふりかえり、理解を深める。	
10	相談援助における記録							授業前：ジェノグラムについて調べる。 授業後：授業内容を確認し理解を深める。	
11	事例検討(1) 児童虐待への対応事例							授業前：これまで学んだ内容を復習する。 授業後：事例検討をふりかえりまとめる。	
12	事例検討(2) 障害のある子どもと保護者への支援							授業前：これまで学んだ内容を復習する。 授業後：事例検討をふりかえりまとめる。	
13	事例検討(3) 保護者とのトラブルの事例							授業前：これまで学んだ内容を復習する。 授業後：事例検討をふりかえりまとめる。	
14	事例検討(4) ロールプレイ							授業前：これまで学んだ内容を復習する。 授業後：ロールプレイを理解する。	
15	保育者と相談援助 ふりかえりとまとめ							授業前：これまで学んだ内容を復習する。 授業後：保育士としての相談援助について総括する。	
テキスト	特に使用しない。必要に応じて授業中に資料を配布する。								
参考書・資料等	積極的に図書館などを利用するよう望む。必要に応じて授業中に提示する。								
評価方法	定期試験60% ミニレポート20% 授業中におけるグループワークでの発表や参加度20% 試験は定期試験期間内に実施する								
履修上の注意等	問題意識を持ち、授業内での話し合いに積極的に参加すること。自分の意見を明確に持ちつつ、他者の意見も尊重すること。								

科目番号	2211	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年前期	担当	西 敏 郎
科目名	児童家庭福祉(1)								
課 程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイ エンティスト
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター		
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標： 学生自身が児童家庭福祉を通じて、自ら考え、判断できる力の構築を目標としている。また保育に携わる者としての必要な知識、倫理観、保育観の修得を目指す。</p> <p>テーマ： 児童を取り巻く環境は日々変化している。その中で児童の位置付けや、時代と共に変化する児童家庭福祉問題について、過去・現在を比較し、理解を深める。</p>								
授業の概要	<p>身近な事例や各国の取り組みなどを資料に用いて、多角的に児童家庭福祉問題についてアプローチする。そこから時代とともに変化する児童の位置づけや社会的役割。さらに諸外国との比較によってわが国の児童家庭福祉観を考察する。</p>								
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）	
1	児童家庭福祉の理念と概念 : 児童福祉法にある児童家庭福祉の理念について解説する。								
2	児童家庭福祉の理念と概念 : 事例などの実際の活動内容を参考に児童家庭福祉の概念について解説する。							現在の児童福祉問題を調べておく	
3	児童家庭福祉の制度と法体系 : 児童家庭福祉を理解する上で必要な児童福祉法および日本国憲法を解説する。							“児童福祉施設”という言葉からイメージできるものを考えておく	
4	児童家庭福祉の制度と法体系 : 児童家庭福祉事業を実際に担う厚労省、福祉事務所、児童福祉施設などの役割・機能について理解する。								
5	児童家庭福祉の制度と法体系 : 児童家庭福祉事業を実際に担う厚労省、福祉事務所、児童福祉施設などの役割・機能について理解する。							レポート提出（「児童福祉施設について」）	
6	児童の発達 : 児童はそれぞれの時期に特有の発達課題をもっている。その発達の概観を解説する(乳児期・乳幼児期を中心に)。								
7	児童の発達 : 児童はそれぞれの時期に特有の発達課題をもっている。その発達の概観を解説する(学童期を中心に)。								
8	児童の発達 : 児童はそれぞれの時期に特有の発達課題をもっている。その発達の概観を解説する(思春期を中心に)。								
9	児童虐待 : 児童虐待発生のメカニズムと、その連鎖について解説する。								
10	児童虐待 : 国際児童虐待常任委員会が定める児童虐待の定義を解説する。								
11	児童虐待 : 児童の保護と児童相談所の対応について、事例をあげながら解説する。								
12	児童虐待 : 児童虐待問題の先進国である欧米を日本と比較しながら、これからの児童虐待問題の解決策を考察する。							レポート提出（「児童虐待」）	
13	少子化問題 : 現在、日本は少子化が社会問題化している。そこで少子化が進むメカニズムとなぜ少子化が問題であるのかを解説する。								
14	少子化問題 : 現在、日本は少子化が社会問題化している。そこで少子化問題を克服した、諸外国の少子化対策を解説する。								
15	総括: いままでの講義内容をふまえ、時事問題も含めて総括をする。確認のためのテストを行う。							確認の為の小テストを行う。	
テキスト	特に使用しない。必要に応じて資料を配布する。								
参考書・資料等	特に使用しない。図書館等で関連図書を参考にして頂きたい。								
評価方法	受講状況0% レポート提出70%								
履修上の注意等	常に学ぶ姿勢を忘れず、講義内容に対して積極的に疑問を持ち、自らの理論を打ち立てよとする姿勢を望む。								

科目番号	2212	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年後期	担当	西 敏 郎		
科目名	児童家庭福祉(2)								フードサイ エンティスト		
課 程	卒業必修		栄養士		栄養 教諭		医療				
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター				
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標: 学生自身が児童家庭福祉を通じて、自ら考え、判断できる力の構築を目標としている。また保育に携わる者としての必要な知識、倫理観、保育観の修得を目指す。</p> <p>テーマ: 児童を取り巻く環境は日々変化している。その中で児童の位置付けや、時代と共に変化する児童家庭福祉問題について、過去・現在を比較し、理解を深める。</p>										
授業の概要	<p>身近な事例や各国の取り組みなどを資料に用いて、多角的に児童家庭福祉問題についてアプローチする。そこから時代とともに変化する児童の位置づけや社会的役割。さらに諸外国との比較によってわが国の児童家庭福祉観を考察する。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習 (授業前・授業後)			
1	日本の子育て:古来よりのわが国の「児童」観を解説する。							現在の児童福祉問題を調べておく			
2	子ども子育て支援新制度 平成27年度より始まった「子ども子育て支援新制度」を解説する。 (認定こども園を中心に)							確認の為の小テストを行う。 (幼稚園、保育所、認定こども園について)			
3	子ども子育て支援新制度 平成27年度より始まった「子ども子育て支援新制度」を解説する。 (新支援制度の 号・号・号認定と行政手続きを中心に)										
4	健全育成:家庭環境、地域社会、子育ての概念・価値観は常に変化をしている。そこで、これからの健全育成について考察する。										
5	乳児と母親 :H・F・Harlowの「子猿の実験」を解説し、健全育成に必要なものは何かを考察する。										
6	乳児と母親 :「遊びの展開」におけるJ・Bowbyの理論を解説し、健全育成に必要なものは何かを考察する。										
7	児童家庭福祉の歴史 :児童家庭福祉の歴史を解説する(近代以前を中心に)。										
8	児童家庭福祉の歴史 :児童家庭福祉の歴史を解説する(近代以後を中心に)。										
9	児童家庭福祉の歴史 :児童家庭福祉の歴史を解説する(戦後を中心に)。							レポート提出(「児童家庭福祉の変遷」)			
10	児童家庭福祉と保育 :児童福祉法第39条に規定されている児童福祉施設である保育所について、その理念や倫理観について解説する。										
11	児童家庭福祉と保育 :児童福祉法第39条に規定されている児童福祉施設である保育所について、その機能や役割について解説する。										
12	少年非行:「非行」という言葉の定義と、児童福祉法、少年法、審判制度などを解説する。										
13	児童をとりまく社会問題 :児童をとりまく社会問題について考察する(日本を中心に)。										
14	児童をとりまく社会問題 :児童をとりまく社会問題について考察する(欧米を中心に)。							レポート提出 (「現代の児童家庭福祉問題について」)			
15	総括:いままでの講義内容をふまえ、時事問題も含めて総括をする。							確認の為の小テストを行う。			
テキスト	特に使用しない。必要に応じて資料を配布する。										
参考書・資料等	特に使用しない。図書館等で関連図書を参考にして頂きたい。										
評価方法	受講状況0% レポート提出70%										
履修上の注意等	常に学ぶ姿勢を忘れず、講義内容に対して積極的に疑問を持ち、自らの理論を打ち立てよとする姿勢を望む。										

科目番号	2213	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年後期	担当	佐々木典彰		
科目名	保育の心理学(1)										
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト		
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター				
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 保育に関する心理学の基礎を習得し、その活用例を具体的に述べるができる。</p> <p>テーマ 子どもの心理の特徴</p>										
授業の概要	<p>子どもの心理の特徴を最新の研究例にもふれながら学ぶ。随時、心理テストや映像も用いられる。自主学習は、授業後、次回の小テストに向けた復習を行い、必要に応じて、質問や意見を授業HPに投稿する。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習(授業後)			
1	「発達」とは何かを知る。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
2	・小テスト ・人間の生まれ方の特徴を知る。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
3	・小テスト ・乳児の反応や行動の特徴を知る。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
4	・小テスト ・乳児の基本的欲求を知る。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
5	・小テスト ・乳児院、里親・養子縁組についての現状と課題を知る。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
6	・小テスト ・現代の子どもたちの身体・運動能力に関する特徴を知る。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
7	・小テスト ・幼児の見方・考え方の特徴を知る。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
8	・小テスト ・遊びの発達について知る。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
9	・小テスト ・子ども観や保育観について考える。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
10	・小テスト ・児童期の心理的特徴を知る。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
11	・小テスト ・青年期およびそれ以降の心理的特徴を知る。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
12	・小テスト ・虐待者の心理について考える。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
13	・小テスト ・発達障害の種類を知る。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
14	・小テスト ・親の障害受容について考える。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
15	・小テスト ・振り返りとまとめ										
テキスト	プリントを配布する。										
参考書・資料等	随時紹介する。										
評価方法	小テスト(42%)およびレポート課題(58%)の合計点(100点満点)を最終成績とする。										
履修上の注意等	小テストは、欠席・遅刻した場合、原則受けられない。 (特別の理由がある場合は相談すること)										

科目番号	2214	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	佐々木典彰		
科目名	保育の心理学(2)										
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト		
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター				
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 保育現場で試したい具体的な工夫や配慮を述べるができる。</p> <p>テーマ 心理学を活かした保育技術の研究</p>										
授業の概要	<p>心理学の理論や研究成果に基づく具体的な工夫や配慮を、実験、グループワーク、教室外活動などを通して考える。自主学習は、授業後、次回の小テストに向けた復習を行い、必要に応じて、質問や意見を授業HPに投稿する。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習(授業後)			
1	養育態度と子どもの性格との関連性を調べる(グループワーク)。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
2	・小テスト ・親の養育態度と子どもの性格との関連性を調べる(発表)。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
3	・小テスト ・乳児の感情の読み取りについて考える。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
4	・小テスト ・映像を通して子どもに共感する。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
5	・小テスト ・ベテラン保育者と実習生の行動の違いを知る。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
6	・小テスト ・保育者ならではのストレスについて考える。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
7	・小テスト ・保育者の感情労働について考える。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
8	・小テスト ・子どもの想像力を高める(絵本の絵に着目して)。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
9	・小テスト ・子どもの想像力を高める(絵本の物語に着目して)。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
10	・小テスト ・子どもの想像力を高める(絵本の読み聞かせ方に着目して)。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
11	・小テスト ・子どもの想像力を高める(玩具に着目して)。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
12	・小テスト ・子どもの非認知能力を高める。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
13	・小テスト ・五感を刺激する保育活動を提案する。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
14	・小テスト ・理想の保育者像を描く。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
15	・小テスト ・振り返りとまとめ										
テキスト	プリントを配布する。										
参考書・資料等	随時紹介する。										
評価方法	小テスト(42%)およびレポート課題(58%)の合計点(100点満点)を最終成績とする。										
履修上の注意等	小テストは、欠席・遅刻した場合、原則受けられない。 (特別の理由がある場合は相談すること)										

科目番号	2215	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年後期	担当	佐々木典彰		
科目名	教育心理学										
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト		
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター				
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 教育心理学に関する基礎的な知識を習得し、その活用例を具体的に述べるができる。</p> <p>テーマ 心理学を活かした上手な教え方</p>										
授業の概要	<p>保育者として子どもたちに教える場面で役に立つ心理学の基礎を学ぶ。随時、心理テストや映像も用いられる。自主学習は、授業後、次回の小テストに向けた復習を行い、必要に応じて、質問や意見を授業HPに投稿する。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習(授業後)			
1	性格はどのように捉えられるのか、何によって決まるのかを知る。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
2	・小テスト ・知能とは何か、どのように調べられるのかを知る。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
3	・小テスト ・記憶のしくみ、記憶力を高めるポイントを知る。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
4	・小テスト ・人間は何をきっかけに行動を変えるのかを知る。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
5	・小テスト ・やる気のさまざまな種類を知る。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
6	・小テスト ・やる気を高めるポイントを知る。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
7	・小テスト ・集団心理について知る。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
8	・小テスト ・心理学に基づく良い勉強の仕方を知る。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
9	・小テスト ・人間の思考の特徴を知る。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
10	・小テスト ・さまざまな評価方法を知る。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
11	・小テスト ・いじめの心理について考える。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
12	・小テスト ・登園拒否・不登校の心理について考える。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
13	・小テスト ・適応感を高めるポイントを知る。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
14	・小テスト ・カウンセリングマインドの考え方を知る。							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
15	・小テスト ・振り返りとまとめ										
テキスト	プリントを配布する。										
参考書・資料等	藤田哲也 編著 絶対役立つ教育心理学、 ネルヴァ書房										
評価方法	小テスト(42%)およびレポート課題(58%)の合計点(100点満点)を最終成績とする。										
履修上の注意等	小テストは、欠席・遅刻した場合、原則受けられない。 (特別の理由がある場合は相談すること)										

科目番号	2216	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年前期	担当	松宮ゆり
科目名	子どもの保健(1)								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を、また子どもの身体発育や生理機能及び運動機能並びに精神機能の発達と保健について理解する。</p> <p>テーマ 児個人や集団の心身における健康問題発生を、最小限度に抑え、また問題が発生した場合、対処できるように学ぶ。</p>								
授業の概要	<p>子どもの健康が家庭や地域と密接な関係があることを認識し、家庭や地域との連携を通じた保健活動の重要性を学び、講義を通して、保育者としての実践能力を高めていく。</p>								
回	授 業 計 画							自主学習 (授業前・授業後)	
1	<p>ガイダンス 第1章 子どもと保健 - 子どもの定義と範囲と区分 子どもとおとな・成長、発達、発育・子どもの区分・発育段階</p>							健康の意義について 成長、発達、発育の用語を理解	
2	<p>子どもと保健 - 子どもの健康と保健・健康とは・子どもの健康、健康状態の評価・保健(健康についてグル-ブ-ク)</p>							発育段階から見た区分 健康とはどういうことかを知る	
3	<p>第2章 子どもの成長と発達 - 子どもの成長、発達・発育の意味・胎児の発育 子どもの発育の特徴・プロポーションの変化・発達の原則</p>							発育と発達の原則 発育と発達の特徴を知る	
4	<p>子どもの成長と発達 - 子どもの身体発育・生理機能の発達身体計測法と日本人の子どもの平均値・脳の重量、部位、機能の発達・大泉門、小泉門</p>							身体計測法 乳幼児の発育曲線の見方を知る	
5	<p>子どもの成長と発達 - 生理・運動・呼吸、循環、消化、腎、視覚、聴覚機能の発達・子どもの生理・粗大、微細運動、原始反射</p>							新聞等で子どもの保健統計を見る 原始反射と心の発達を知る	
6	<p>子どもの成長と発達 - 精神機能の発達・発達のバリエーションと発達検査 子どもの心の健康・家族関係の変化、子どもの心の発達と精神保健・社会性の発達</p>							こころの発達と発達検査の種類 精神機能の発達の学びを確認	
7	<p>第3章 子どもの精神保健 - 子どもの精神保健の概略・診断や心理・知能テスト 精神保健を理解するために・治療と療育</p>							精神保健の概略 子どもの精神保健の特徴を知る	
8	<p>子どもの精神保健 - 精神分析の歴史と発展・心の発達を理解するための理論 心の健康や行動の問題</p>							愛着の障害と摂食障害 心の行動問題対処法の学びを確認	
9	<p>第4章 子どもの生活と保健 - 保育環境の整備と保健・保育現場における衛生管理 環境の整備・生活の場としての環境・保健的環境の整備・日常的な衛生管理・手洗い</p>							保育室の清掃手順を考える 手洗い方法、汚物の処理法を確認	
10	<p>子どもの生活と保健 - 保育現場における事故防止および危機管理・安全対策 乳幼児期における事故の特徴・事故防止・安全対策・安全教育・保護者との連携 避難訓練</p>							乳幼児期の事故の特徴 避難方法を実践可能か確認	
11	<p>第5章 子どもの食 - 子どもの食の特徴・子どもの栄養生理・消化器系の発達・ 食べる機能の発達・発達にともなう食行動の変化</p>							子どもの食の特徴 子どもの消化器系の発達を知る	
12	<p>子どもの食 - 栄養の摂取・エネルギー・栄養素・摂取量の評価・食品</p>							食事摂取基準 乳幼児の必要エネルギーを知る	
13	<p>子どもの食 - 乳児期の食 乳児期の食の特徴・母乳・育児用粉乳・混合栄養・離乳</p>							乳児期の食の特徴 母乳の利点を知る	
14	<p>子どもの食 - 幼児期の食・学齢期の食・幼児期の食の特徴、実際・ 食事行動の問題・学齢期の食の特徴・学校給食・栄養上の問題</p>							幼児期の食の特徴 食事行動上の問題を知る	
15	<p>子どもの食 - 特別な配慮を要する子どもの食・治療用栄養食品・食育 体調不良の子どもへの対応・食物アレルギー・障害のある子どもへの対応</p>							食物アレルギー - 食育の背景や目標を理解する	
テキスト	<p>子どもの保健 理論と実際 岩井勇雄無藤 隆・柴崎正行[監修] 同文書院</p>								
参考書・資料等	<p>子どもの保健・実習 すこやかな育ちをサポートするために 金松百合子 荒木暁子・羽室俊子[編著] 同文書院</p>								
評価方法	<p>定期試験(80%)、レポート課題等(20%)により総合評価する。試験は定期期間内に実施する。</p>								
履修上の注意等	<p>自主学習では、テキストを参照する。確認プリントで理解を深めていく。定期試験は確認プリントの課題から出題。</p>								

科目番号	2217	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年後期	担当	松宮ゆり
科目名	子どもの保健(2)								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 子どもの心の健康と保育所(園)をとりまく安心・安全の環境整備、健康と安全への取り組み方について理解する。</p> <p>テーマ 児個人や集団の心身における健康問題発生を最小限度に抑え、また問題が発生した場合対処できるように学ぶ。</p>								
授業の概要	<p>子どもの健康が家庭や地域と密接な関係があることを認識し、家庭や地域との連携を通じた保健活動の重要性を学び、講義を通して保育者としての実践能力を高めていく。</p>								
回	授 業 計 画							自主学習(授業前・授業後)	
1	第6章 保育現場での保健の実際 - 排泄・衣服・排泄行動の発達・排泄機能の発達 衣服選びの条件・衣服着脱の自立過程							おむつ交換の目安は 排泄の自立支援を理解する	
2	保育現場での保健の実際 - 清潔・入浴・鼻を拭く・うがい・歯磨き							歯の役割とは 清潔習慣を身につける方法を確認	
3	保育現場での保健の実際 - 抱っこ・おんぶ・ベビーカー・育児用品 チャイルドシート・ベビベッド							育児用品の種類を調べる 育児用品の使用法を確認する	
4	第7章 子どもの病気と保育 - 子どもの健康状態の把握・元気な子どもと病気の子どもの健康状態の見どころ							健康状態を把握するには 健康を損ねた時の状態、症状を理解	
5	子どもの病気と保育 - おもな症状の見方と対応・発熱・せき・喘鳴・腹痛・けいれん 発疹・発育の問題							健康状態の見どころ 症状により病気の見分け方を知る	
6	子どもの病気と保育 - 子どもの病気の予防と対応・アレルギー - 疾患 主治医を決めておく・アレルギー - とは							受診のタイミング アレルギー - を持つ子の支援を知る	
7	子どもの病気と保育 - 感染症・感染症とは・感染症の種類							感染症とは 感染症(第二種)を覚える	
8	子どもの病気と保育 - 予防接種 予防接種とは・定期接種と任意接種・予防接種の種類と接種間隔							予防接種の種類 予防接種の基本的な知識を確認	
9	子どもの病気と保育 - 障害のある子どもたち 障害とは・障害の原因となるもの・発達障害							障害とは 発達障害児の支援を知る	
10	第8章 救急処置について - 意識障害・呼吸停止・心停止・ショック・けいれん							意識障害の程度 意識障害等の救急処置を学ぶ	
11	救急処置について - 切傷・刺傷・擦傷・捻挫・脱臼・骨折・頭部打撲 熱傷・異物誤飲・誤嚥・薬物、化学物質の誤飲・鼻出血							傷の疾患名の種類について 子どものケガの手当法を習得する	
12	第9章 保育所と家庭の連携 - 情報交換 - 家庭(保護者)とのパトナ - シップ・生活リズム							家庭との連携方法とは 連絡帳記録のしかたを学ぶ	
13	保育所と家庭の連携 - 食事、睡眠、健康教育 朝食と排便・コミュニケーションを育む食卓・睡眠の発達等							睡眠の重要性とは 食事や睡眠支援の基礎知識を知る	
14	第10章 母と子どもの保健 - 日本の気候風土と育児・母子保健の歴史・少子化対策と 母子保健・保育の現状と対策・母子保健の意義・統計で見る母子保健等							少子化対策について 母子保健の意義を考える	
15	母と子どもの保健 - 乳幼児健康診査及び母子保健対策・児童虐待防止対策							乳幼児健康診査の意義を考える 虐待の発見と防止対策を知る	
テキスト	子どもの保健 理論と実際 岩井勇雄無藤 隆・柴崎正行[監修] 同文書院								
参考書・資料等	子どもの保健・実習 すこやかな育ちをサポートするために 金松百合子 荒木暁子・羽室俊子[編著] 同文書院								
評価方法	定期試験(80%)、確認プリント(20%)により総合評価する。試験は定期期間内に実施する。								
履修上の注意等	自主学習は、テキスト参照。確認プリントを記入、理解を深めていく。定期試験は、確認プリントの課題から出題。								

科目番号	2218	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	松宮ゆり
科目名	子どもの保健(3)								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 子どもの健康及び安全に係る保健活動の計画及び評価について学ぶ。また、健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動、救急時の対応や事故防止、安全管理について具体的に学ぶ。</p> <p>テーマ 子ども個人や集団の健康問題発生を最小限度に抑え、また問題発生時に対処できるよう演習により体得する。</p>								
授業の概要	<p>保育士・幼稚園教諭として必要な子どもの保健について基礎的な知識や技術を具体的に理解し実践できるようにする。</p>								
回	授 業 計 画							自主学習 (授業前・授業後)	
1	第1章 子どもの保育と保健・養護 子どもと家族の健康・福祉専門職・福祉システム							養護の意味と専門職者の共通理念を考える	
2	第2章 子どもの成長発達 生理機能の発達 体温・脈拍・呼吸の測定 - 測定方法と部位の確認と記録のしかた (p107/108参照)							子どもの生理的機能を調べる	
3	子どもの成長発達 - 子どもの成長発達の評価・発達支援の基本 身長・体重・胸囲・頭囲測定と記録のしかた							成長発達の評価方法を理解する	
4	第3章 子どもの日常生活の養護 - 生活環境・栄養と食事・睡眠、休息 運動、遊び、鍛錬、抱き方 歯の磨き方							必要物品を準備、持参する 歯磨き指導のポイントを知る	
5	子どもの日常生活の養護 - 排泄・身体の清潔・衣生活 沐浴の仕方							沐浴の手順を事前に把握する	
6	第4章 健康状態の把握と支援 - 健康観察 一般的な症状に対する看護 冷電法(氷嚢、氷枕)の作り方							冷電法の作り方と当て方を知る	
7	健康状態の把握と支援 - 特別な配慮を必要とする子どもの理解 発達障害児の支援(グル-ブ-ク)							発達障害支援を考え理解	
8	第5章 感染の予防 - 感染とは・保育所、幼稚園等における感染症の予防対策 手洗いの仕方・うがいのさせ方							うがいのさせ方(コップ準備持参) 「ほけんだより」要項プリント配布	
9	感染の予防 - 使い捨てエプロンの作り方・嘔吐物の処理							嘔吐物処理の手順を把握する 保健だより作成にとりかかる	
10	第6章 事故防止と安全 - 救命手当・応急手当 A/B班合同集中救急法:ゲスト(弘前市消防署)							A・B班合同で準備と片付けに協力	
11	事故防止と安全 - 心肺蘇生法 B班合同集中救急法:ゲスト(弘前市消防署)							運動着に名札をつけて臨む 飲料水とタオルを準備持参 応急処置の方法を身につける	
12	第7章 集団保育における健康管理 - 保育所、園等における健康管理の意義・目的 健康管理の実際・健康で安全な環境整備							健康診断項目、手順、乳児睡眠中のチェックリストについて理解	
13	第8章 集団保育における健康教育 - 保育所、幼稚園等における健康教育の目的 健康教育の実際・基本的生活習慣							健康教育の教材について調べる 各自「ほけんだより」を完成させる	
14	集団保育における健康教育 - 家庭における子育て支援としての健康教育 子育て支援としての「ほけんだより」- 評価							保健だよりの提出	
15	第9章 保育士等を指す学生としての自己管理 - 生活習慣の振り返りの実際 保育現場における保育士等の健康問題							各自の生活習慣を振り返る	
テキスト	子どもの保健・実習 すこやかな育ちをサポートするために 第6版 兼松百合子・荒木暁子・羽室俊子[編著] 同文書院								
参考書・資料等	子どもの保健 - 理論と実際 - 適宜資料等を回覧又は配付。								
評価方法	定期試験70%、演習活動20%、毎回の確認レポ - ト10%による総合評価。試験は定期試験期間内に実施する。								
履修上の注意等	毎回確認プリントへ記入し、理解を深める。定期試験は確認プリントの課題から出題。 演習時は運動着にエプロン着用、名札をつけ服装を整える。								

科目番号	2219	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	安田智子
科目名	子どもの食と栄養								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 子どもの発育・発達と健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養について学び、食事の重要性を理解する。</p> <p>テーマ 保育現場では子どもの心身の状態や発達過程を踏まえながら、子どもの食にかかわっていくため、正しい栄養知識をつけるとともに、各自の食生活の見直しを行い、適切な食生活を営む実践力を培う。</p>								
授業の概要	<p>食事と栄養に関する基本的知識と小児期の栄養的特徴、食生活の果たす役割を学ぶ。また、調理実習を取り入れ、基本的な調理と発達段階に応じた食事づくりを行う。</p>								
回	授 業 計 画						自主学習（授業前・授業後）		
1	第1章 子どもの健康と食生活の意義 子どもの心身の健康と食生活 子どもの食生活の現状と課題 保育所等における「食」に関する指針など 【演習】学生自身の食生活の見直しを行う						第1章を読んでくる。自分の体組成を知り、食生活の実態について記録する。		
2	第2章 栄養と食品に関する基礎的知識 栄養の基本的概念と栄養素の働き-1						食べ物が命を作り、体を作っていることを知る。(三大栄養素)		
3	第2章 栄養と食品に関する基礎的知識 栄養の基本的概念と栄養素の働き-2 日本人の食事摂取基準						食べ物が命を作り、体を作っていることを知る。(五大栄養素)		
4	第2章 栄養と食品に関する基礎的知識 食品の基礎知識 献立作成と調理の基本 健全な食生活のための指標						食品の特徴を知り、その食品を組み合わせる料理、献立を作成する必要があることを理解する		
5	第3章 子どもの発育・発達と栄養生理 子どもの発育と発達						子どもの発育発達について理解する		
6	第3章 子どもの発育・発達と栄養生理 子どもの発育と発達 栄養と生理-1						味覚・摂食機能の発達について理解する		
7	第3章 子どもの発育・発達と栄養生理 子どもの発育と発達 栄養と生理-2						食べ物が消化されていく過程を理解する		
8	第4章 子どもの発育・発達と食生活 -授乳期・離乳期・幼児期- 授乳期の意義と食生活 離乳期の意義と食生活						授乳期・離乳期の必要性を理解する		
9	第4章 子どもの発育・発達と食生活 -授乳期・離乳期・幼児期- 【実習】 調乳方法・人工ミルクの種類・冷凍母乳の解凍の仕方						調乳方法、人工ミルクの種類、冷凍母乳の解凍方法と与え方について理解する		
10	第4章 子どもの発育・発達と食生活 -授乳期・離乳期・幼児期- 【実習】 離乳食づくり						離乳食の必要性和、各期間によって離乳食の形態が異なることを理解する		
11	第4章 子どもの発育・発達と食生活 -授乳期・離乳期・幼児期- 【実習】 幼児期の間食(アレルギー対応食)						幼児の間食の必要性を知り、ふさわしい食材と量を知る。		
12	第4章 子どもの発育・発達と食生活 -授乳期・離乳期・幼児期- 【実習】 幼児期のお弁当						弁当を作る上でのポイントを知る		
13	第4章 子どもの発育・発達と食生活 -授乳期・離乳期・幼児期- 幼児期の心身の発達と食生活						幼児期の栄養と食生活について理解する		
14	第4章 子どもの発育・発達と食生活 -授乳期・離乳期・幼児期-						1,2時限目A B 合同		
15	まとめ 調理室清掃						調理実習室で行う		
テキスト	子どもの食と栄養(第2版) 健帛社)								
参考書・資料等	新版 子どもの食生活(ななみ書房)、第2版 子どもの食と栄養演習書(医歯薬出版株式会社)								
評価方法	筆記試験80%、ノート点・レポート点10%、実習グループ点10%として評価する。試験は定期試験期間内に実施する								
履修上の注意等	調理実習時は白バレーシューズ、割烹着、三角巾、タオル、名札を持参し、2階第二調理実習室で行う。								

科目番号	2219	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年後期	担当	安田智子
科目名	子どもの食と栄養								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 子どもの発育・発達と健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養について学び、食事の重要性を理解し、保育の現場で実践できる力をつける。</p> <p>テーマ 保育現場では子どもの心身の状態や発達過程を踏まえながら、子どもの食にかかわっていくため、正しい栄養知識をつけるとともに、各自の食生活の見直しを行い、適切な食生活を営む実践力を培う</p>								
授業の概要	<p>食事と栄養に関する基本的な知識と小児期の栄養的特徴、食生活の果たす役割を学び、調理実習において発達段階に応じた食事作りをする。また、栄養食育媒体を用いた栄養教育実践を班ごとに行う。</p>								
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）	
1	第5章 子どもの発育・発達と食生活 -学童期・思春期・妊娠期- 学童期・思春期の心身の発達と食生活 妊娠期の心身の発達と食生活								
2	第6章 食育の基本と内容							既成の栄養教育媒体を各班用いて栄養教育を行う	
3	第6章 食育の基本と内容 食育媒体を用いた栄養教育発表のための計画、準備								
4	第6章 食育の基本と内容 【発表】 食育媒体を用いた栄養教育発表							各班で練習して発表に臨むこと	
5	第7章 家庭や児童福祉施設における食事と栄養 家庭における食事と栄養								
6	第7章 家庭や児童福祉施設における食事と栄養 児童福祉施設における食事と栄養								
7	第8章 特別な配慮を要する子どもの食と栄養 疾病及び体調不良の子どもへの対応								
8	第8章 特別な配慮を要する子どもの食と栄養 食物アレルギーがある子どもへの対応							アレルギー表示のあるお菓子や加工品のパッケージを持つてくること	
9	第8章 特別な配慮を要する子どもの食と栄養 食物アレルギーがある子どもへの対応-2 【演習】 エビベンの使用方法							エビベンの使用方法を習得する	
10	第8章 特別な配慮を要する子どもの食と栄養 障害がある子どもへの対応 【実習】 嚥下困難の子どものための調理法								
11	第6章 食育の基本と内容 行事食：クリスマス 【実習】(ブッシュドノエル、チキンローフ、人参のポタージュ)								
12	第6章 食育の基本と内容 行事食：クリスマス 【実習】(ブッシュドノエル、チキンローフ、人参のポタージュ)								
13	第6章 食育の基本と内容 行事食：郷土料理 【実習】(ごまご飯・けの汁・しとぎ餅・番茶)								
14	第6章 食育の基本と内容 行事食：郷土料理 【実習】(ごまご飯・けの汁・しとぎ餅・番茶)								
15	まとめ							調理実習室で行う	
テキスト	第2版 子どもの食と栄養(建帛社)								
参考書・資料等	新版子どもの食生活(ななみ書房)、第2版子どもの食と栄養演習書(医歯薬出版株式会社)								
評価方法	筆記試験80%、ノート点・レポート点10%、栄養教育発表点(グループ点)10%として評価する。 試験は定期試験期間内に実施する								
履修上の注意等	子どもを取り巻く食環境などに興味関心を持つこと								

科目番号	2220	単位	2	授業形態	講義	開講時期	2年後期	担当	工藤のぶ		
科目名	家庭支援論										
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト		
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター				
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 家庭の意義について検討し、家庭の現状と課題を理解する。さらに保育所に入所する家庭に対する支援と地域の子育て家庭に対する支援の意義を理解し、保育者に求められる子育て家庭への支援のあり方を学ぶ。</p> <p>テーマ 家庭支援のため、保育者に求められる自覚と役割</p>										
授業の概要	<p>保育士は、保護者への子育ての問題や課題に対しての支援と、地域の子育て家庭への支援が必要とされている。授業では、子育て家庭の歴史と現状の理解、子育て家庭への支援の必要性、子育て家庭への支援体制、子育て家庭への支援の方法(あり方)、子育て家庭支援の実践事例等を通して学ぶ。そして、今後の、子育て家庭支援の課題と展望を考える。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習(授業前・授業後)			
1	子ども・家庭・家族・子育ての基本的な考え方 子育て家庭の歴史							授業前、1章を一読する 授業後、学習のまとめをする			
2	子ども・家庭・家族・子育ての基本的な考え方 家族・家庭の現状							授業前、2章を一読する 授業後、学習のまとめをする			
3	子ども・家庭・家族・子育ての基本的な考え方 子どもと家族・家庭							授業前、3章を一読する			
4	子ども・家庭・家族・子育ての基本的な考え方 子どもと家族・家庭							授業後、学習のまとめをする			
5	子育て家庭支援の必要性							授業前、4章を一読する 小テストを実施する			
6	子育て家庭の支援体制 子育て家庭支援の法的根拠・子育て支援施策・世代育成支援施策							授業前、5～6章を一読する			
7	子育て家庭の支援体制 子育て家庭支援の制度と関係機関							授業前、7章を一読する			
8	子育て家庭の支援体制 自治体の取り組みと子育て支援サービスについて(グループで調べる)							授業後、担当内容を調べる			
9	子育て家庭の支援体制 自治体の取り組みと子育て支援サービスについて(グループ発表)							授業前・後、グループで話し合う			
10	子育て家庭の支援体制 自治体の取り組みと子育て支援サービスについて(グループ発表)							授業前、グループで話し合う 授業後、発表内容等の提出			
11	子育て家庭の支援の方法 子育て家庭支援の方法・やり方							授業前、8章を一読する 授業後、学習のまとめをする			
12	子育て家庭の支援の方法 自己修復力のある家庭への支援(幼稚園・保育所・認定こども園・児童館)ー							授業前、9章を一読する			
13	子育て家庭の支援の方法 特別な対応を要する家庭への支援							実践事例を通して	授業前、10章を一読する		
14	子育て家庭の支援の方法 危機的状態にある家庭への支援							実践事例を通して	授業前、11章を一読する 授業後、課題をする		
15	これからの子育て家庭支援の課題と展望							課題の提出			
テキスト	編著 木村志保 津田尚子『学び、考え、実践力をつける家庭支援論』保育出版社										
参考書・資料等	上記教科書内容及び関連資料を使用する。										
評価方法	課題の提出(30%) 授業内活動(40%) 授業内での小テスト(30%)										
履修上の注意等	社会に広く目を向け、家庭支援を身近なこととして捉えて受講すること。										

科目番号	2221	単位	1	授業形態	演習	開講時期	1年後期	担当	松宮ゆり
科目名	乳児保育(1)								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 わが国における乳児保育の変遷と保育所・乳児院・家庭の現状を確認しながら、保育所や乳児院の果たす役割、乳児保育を担当する保育者としての役割を自覚する。</p> <p>テーマ 子どもたちの健やかな未来のために、乳児保育の大切さを認識する。</p>								
授業の概要	<p>乳児の成長発達への援助及び保健的生活について学ぶ。 マザリ-ズを活用しながら、今日的課題などを含め乳児保育の実践ができるよう、演習を通して修得する。</p>								
回	授 業 計 画							自主学習 (授業前・授業後)	
1	第1章 乳児とのふれ合いの基本 - よこ抱き・たて抱き・おんぶの方法についてポイントと注意点及びマザリ-ズの特徴を知る。							乳児の自然体位とは何かを調べる 首の座っていない乳児を抱ける	
2	第2章 乳児の衣服の基本知識 - 衣服の特徴と扱いを知る。							衣類の役割と月齢により着る枚数の 上記の違いを確認	
3	第3章 衣服の着せ方・脱がせ方 - 着替えの配慮のポイントを学ぶ。							衣類の着脱のポイントと注意点を 知る	
4	第4章 乳児の排泄への対応 - おむつの替え方(紙おむつ・布おむつ) とトイレトレ-ニング							紙おむつ・布おむつの当て方の 違いを確認	
5	第5章 授乳のしかたと準備 - 人工乳・冷凍母乳の扱い							授乳方法を把握する グル-ブ演習計画用紙配布、準備	
6	第6章 離乳食の基礎知識-離乳にむけた食事のすすめ方(食物アレルギー-への対応)							離乳食の進め方の目安と アレルギー-食品を調査	
7	第7・8章 沐浴、清拭のしかた・保育環境の衛生管理 - 児の生活を清潔に保つための注意点							衛生管理のポイントを知る	
8	第9章 かみつき、ひっかけへの対応 - トラブルの背景と保護者との連携							子どものトラブル対応と保護者との 連携について確認	
9	第10章 乳児保育における安全管理 - 乳児期特有の病気とくすりの扱い							乳児期に使われる薬品について 知識を得る	
10	第11章 乳児保育における安全管理 - 乳児を事件・事故から守る方法							乳児の事件事故等について 新聞等で知る	
11	第12章 連絡帳の書き方 - 子どもたちの育ちを保護者とわかち合う(保育者の専門性)							巻末のワ-クシ-トに目を通し臨む 演習計画表の提出・リハ-サル実施	
12	グル-ブ演習 第1章 遊びのアイデアと歌遊び - 乳児の笑顔を引き出すための工夫(乳児対象の歌)							演習評価表を次週までに提出 マザリ-ズレッスン	
13	第2章 ふれ合い体操 - 乳児との絆を深める(子どもの発達を見ながら動きの工夫)							演習評価表を次週までに提出 マザリ-ズレッスン	
14	第3章 乳児の創造力を育むための絵本 - 読み聞かせ (子どものベ-スに合わせた絵本との出会い)							演習評価表を次週までに提出 マザリ-ズレッスン	
15	第4章 乳児保育で使用される道具・チャイルドビジョン作成 (機能的で安全な使い方・幼児の視野体験)							のり・はさみを準備(当日持参)	
テキスト	志村聡子著『はじめて学ぶ乳児保育』同文書院 内山伊知郎監修『マザリ-ズの理論と実践』北大路書房								
参考書・資料等	適宜参考資料回覧・確認プリント配布								
評価方法	定期記試験(70%)・演習活動(20%)・確認プリント(10%)を総合評価。試験は定期期間内に実施する。								
履修上の注意等	運動着の上にエプロン・名札を付ける。現代の育児に関心を払いながら、積極的に取り組む。 確認プリントは、各自記入のこと。本試験の問題は、確認プリントの課題から出題。								

科目番号	2222	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	松宮ゆり
科目名	乳児保育(2)								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 乳児保育の理念と歴史の変遷及び役割を学び、保育所・乳児院等における乳児保育の現状と課題を理解する。乳児保育の計画を通じ、乳児保育を担当する保育者としての役割を自覚する。</p> <p>テーマ 子どもたちの健やかな未来のために、乳児保育の大切さを認識する。</p>								
授業の概要	成長発達の援助、保健的生活について、また今日的課題などを含み、マザリ-ズを応用しながら乳児保育の実践ができるよう乳児保育について理解する。								
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）	
1	第1章 乳児保育はなぜ必要か - 社会的背景から考える							3歳児神話について考える (テキスト参照)	
2	第2章 乳児保育の成り立ちを知る - 歴史と現状を理解する マザリについて							乳児保育の現状と マザリ-ズの特徴を知る	
3	第2章 乳児保育の成り立ちを知る - 乳児院・認定子ども園とは							乳児保育が行われている施設は 児童福祉施設に関する基準	
4	第3章 知っておきたい法律のいろいろ - 児童福祉法他(ワ-クシ-ト 使用)							児童福祉施設とは 児童福祉法第1条・第18条の4	
5	第4章 「保育所保育指針」について - 現行指針の改訂のポイント(ワ-クシ-ト 使用)							「保育所保育指針」の目的は 指針に記されている内容を確認	
6	第5章 「保育所保育指針」における乳児保育のポイント - 0・1・2歳児の発達過程をとらえる(ワ-クシ-ト 使用)							乳児保育で扱う年齢は 0・1・2歳児の発達過程を知る	
7	第6章 「保育所保育指針」における乳児保育のポイント - 0・1・2歳児の保育に関わる配慮事項(ワ-クシ-ト ~ 使用)							ワ-クシ-ト ~ を確認 0・1・2歳児の保育の配慮事項	
8	第7章 人生の基礎としての乳児期 - ポルトマンの考え方に学ぶ							生理的早産の意味を考える 保育の配慮事項を知る	
9	第8章 乳児のこころの発達 - 身近な人との絆を育む過程							人見知り・愛着とは何か 人見知りと愛着について確認	
10	第9章 乳児の言葉の発達 - 思いを伝え合う手段を得る過程 人と関わる楽しさ - マザリ-ズの効果							赤ちゃんの喃語とは マザリ-ズの効果を知る	
11	第10章 乳児のからだ - からだの発育と運動機能の発達・乳児の睡眠							乳児の原始反射と運動機能 乳児の睡眠の重要性を考える	
12	第11章 乳児保育における複数担任制 - 保育者同士の連携のあり方							「家庭的保育事業」とは 複数担任の利点と欠点を知る	
13	第12章 保育所で過ごす1日の流れ - 年齢別デイリ-プログラム(日課表) 乳児保育担当保育者のお話し							保育所とは 乳児が保育所で過ごす1日を知る	
14	第13章 保護者との連携を考える - 乳児をとりまく協力関係を旨として							聞き上手な保育者とは 保護者との信頼関係の大切さを知る	
15	第14章 発達の遅れとむき合う - 保護者を支える							発達障害とは 発達障害について理解を深める	
テキスト	志村聡子著『はじめて学ぶ乳児保育』同文書院 内山伊知郎監修『マザリ-ズの理論と実践』北大路書房								
参考書・資料等	「保育所保育指針」<平成20年告示>・「保育所保育指針解説書」厚生労働省編								
評価方法	定期試験(80%)・確認プリント及びワ-クシ-ト(20%)を総合評価する。試験は定期期間内に実施する。								
履修上の注意等	現代の育児に関心を払いながら、新聞等の育児に関するニュースにも感心を持ち、積極的に取り組む。確認プリント及びワ-クシ-トを各自記入する。定期試験は確認プリント・ワ-クシ-トの課題より出題する。								

科目番号	2223	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	熊谷ヤス子
科目名	障害児保育(1)								
課程	卒業必修		栄養士 保育士		栄養教諭 幼稚園教諭		医療 ベビーシッター		フードサイエンティスト
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 障害児保育を支える理念に関して理解を深め、併せて保育所、障害乳幼児通園施設等での保育の変遷と現状、具体的な保育方法、相談機関、保護者支援等を理解する。</p> <p>テーマ 特別なニーズをもつ子どもの保育。</p>								
授業の概要	<p>障害児保育の理念、障害児保育の仕組み、保育の場での支援、育児支援、家庭支援等、障害児保育の基礎的な諸事情を中心に講義を行う。</p>								
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）	
1	第1部 障害児保育を支える理念 第1章 障害の捉え方と障害児保育の歴史							テキストの各章を読んでおくこと	
2	第2章 障害児保育の基本							テキストの各章を読んでおくこと	
3	第2部 障害の理解と保育における発達の支援 第3章 肢体不自由児、視覚障害児、聴覚障害児の理解と支援							テキストの各章を読んでおくこと	
4	第4章 知的障害児の理解と支援							テキストの各章を読んでおくこと	
5	第5章 発達障害児の理解と支援							テキストの各章を読んでおくこと	
6	第3部 障害児保育の実践 第6章 障害児保育を支える記録・評価							テキストの各章を読んでおくこと	
7	第7章 子ども一人ひとりの発達をうながす生活と遊びの環境							テキストの各章を読んでおくこと	
8	第8章 子ども同士のかかわりあいと育ちあい							テキストの各章を読んでおくこと	
9	第9章 職員間の協力							テキストの各章を読んでおくこと	
10	第4部 家庭や関係機関との連携 第10章 保護者や家庭に対する理解と支援の方法							テキストの各章を読んでおくこと	
11	第11章 地域の専門機関などとの連携や子ども一人ひとりの支援計画の作成							テキストの各章を読んでおくこと	
12	第12章 小学校などとの連携							テキストの各章を読んでおくこと	
13	第5部 障害のある子どもの保育にかかわる現状と課題 第13章 保育・医療における現状と課題							テキストの各章を読んでおくこと	
14	第14章 福祉・教育における現状と課題							テキストの各章を読んでおくこと	
15	第15章 支援の広がりにつながり							テキストの各章を読んでおくこと	
テキスト	<p>障害児保育 ...子どもと共に成長する保育者を目指して... 萌文書林 監修 藤永保 著者:阿部五月 大熊光穂 小泉左江子 田中理規子 村田カズ</p>								
参考書・資料等	なし								
評価方法	<p>筆記試験70% レポート20% 受講態度0% 試験は定期試験期間内に実施する</p>								
履修上の注意等	<p>障害幼児支援に関する情報に関心を払いながら、理解を深めてほしい。</p>								

科目番号	2224	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年後期	担当	熊谷ヤス子		
科目名	障害児保育(2)										
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト		
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター				
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 学生一人ひとりが障害を持った子どもたちの保育に関して理解を深め、幼稚園教諭・保育士としての資質能力を高め、保育現場での実践力を確かなものとする。</p> <p>テーマ 障害をもった子どもたちの、豊かな生活を実現するための、保育を実践できる保育者を目指す。</p>										
授業の概要	<p>障害児の統合保育と就学、視覚障害児の保育、聴覚障害児の保育、肢体不自由児の保育、病弱児の保育、知的障害児の保育、情緒障害児の保育、言語障害児の保育などの事項に関して講義・演習を行い、幼稚園教諭、保育士としての実践能力を高めていく。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	第 部 障害児保育を支える理念 第1章 障害児保育とは							テキストの各章を読んでおくこと			
2	第2章 障害児保育の基本							テキストの各章を読んでおくこと			
3	第 部 障害の理解と保育における発達の援助 第3章 障害の理解と保育1							テキストの各章を読んでおくこと			
4	第4章 障害の理解と保育2							テキストの各章を読んでおくこと			
5	第5章 発達が気になる子どもの理解と保育							テキストの各章を読んでおくこと			
6	第6章 障害の理解と保育3							テキストの各章を読んでおくこと			
7	第 部 障害児保育の実際 第7章 子どもの理解に基づく計画の作成と記録・評価							テキストの各章を読んでおくこと			
8	第8章 個々の発達をうながす生活やあそびの環境							テキストの各章を読んでおくこと			
9	第9章 他者とのかかわりと育ちあい							テキストの各章を読んでおくこと			
10	第10章 職員間の協力関係							テキストの各章を読んでおくこと			
11	第 部 家庭および関係機関との連携 第11章 家庭や関係機関との連携							テキストの各章を読んでおくこと			
12	第12章 障害のある子どもの早期発見と支援							テキストの各章を読んでおくこと			
13	第13章 障害のある子どもの就学に向けての支援							テキストの各章を読んでおくこと			
14	第 部 障害のある子どもの保育にかかわる現状と課題 第14章 障害のある子どもの発達を支える関連資源の現状と課題							テキストの各章を読んでおくこと			
15	第15章 支援の場の広がりにつながり							テキストの各章を読んでおくこと			
テキスト	なし										
参考書・資料等	<p>実践に生かす障害児保育 萌文書林 編著：前田泰弘 著者：立元真 中井靖 小笠原明子</p>										
評価方法	<p>定期試験70% レポート20% 受講態度10% 試験は定期試験期間内に実施する</p>										
履修上の注意等	障害幼児保育に関する情報に関心を払いながら理解を深めてほしい。										

科目番号	2225	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	佐藤優輝		
科目名	社会的養護内容										
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト		
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター				
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 社会的養護下で生活する子どもたちの最善の利益を守るための知識・技術を身につける。 被措置児童虐待はもちろん、不適切な関わりについて事例をもとに学生同士で議論を深める。</p> <p>テーマ 子どもの最善の利益、不適切な関わり防止</p>										
授業の概要	<p>対応が困難な子どもたちの最善の利益を守るには、倫理観だけでは不十分であり、知識・技術に加え、自己覚知が必要となる。事例をもとに学生同士が意見を出し合うことで、生い立ちや、認知の多様性に触れ、多角的な視点で事例を捉えるとともに、自らの対応を顧みることの重要性を理解できるよう演習中心に授業を展開する。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	子どもの権利擁護の基本							テキストを一読しておくこと			
2	社会的養護における保育者の倫理と責務							テキストを一読しておくこと			
3	施設養護の特性と実践							テキストを一読しておくこと			
4	施設養護の特性と実践							テキストを一読しておくこと			
5	家庭養護の特性と実践							テキストを一読しておくこと			
6	社会的養護におけるケアマネジメント							テキストを一読しておくこと			
7	自立支援計画の作成							テキストを一読しておくこと			
8	事例検討分析							テキストを一読しておくこと			
9	事例検討分析(生活支援)							テキストを一読しておくこと			
10	事例検討分析(心理的支援)							テキストを一読しておくこと			
11	事例検討分析(自立支援)							テキストを一読しておくこと			
12	社会的養護における保育者の専門性							テキストを一読しておくこと			
13	社会的養護におけるソーシャルワーク							テキストを一読しておくこと			
14	施設の小規模化地域分散化、高機能化							テキストを一読しておくこと			
15	社会的養護の展望、新しい社会的養育ビジョン							テキストを一読しておくこと			
テキスト	子どもと社会の未来を拓く養護内容 - 保育士のための演習ワークブック										
参考書・資料等	なし										
評価方法	受講姿勢50%、課題50%										
履修上の注意等	グループで話し合う機会が多いので積極的に参加してほしい。										

科目番号	2226	単位	2	授業形態	講義	開講時期	2年後期	担当	島内智秋
科目名	在宅保育								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 わが国における乳幼児保育の変遷と家庭訪問保育の意義を理解し、家庭訪問保育者の果たす社会的役割を自覚する。</p> <p>テーマ 保育全体の構造を学び、バランスのとれた保育内容が子どもの健やかな成長に繋がることを理解し、子どものためのよりよい指導方法を考える。</p>								
授業の概要	履修済みである「乳児保育」・「子どもの保健」等を復習しながら、在宅保育に特化した専門性を学ぶ。								
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）	
1	オリエンテーション 家庭訪問保育とは家庭訪問保育者としての心得 保育マインド 1～15P 居宅訪問型保育の概要 18～27P							教科書を一読し質問を考えておくこと	
2	家庭訪問保育を行うために必要な基礎的知識 乳幼児の生活と遊び DVD「子どもの健康に対する基本的な考え方」 28～37P DVD「子どもの健康に対する基本的な考え方」							教科書を一読し質問を考えておくこと	
3	家庭訪問保育を行うために必要な基礎的知識 乳幼児の発達と心理 38～52P							教科書を一読し質問を考えておくこと	
4	家庭訪問保育を行うために必要な基礎的知識 乳幼児の栄養と食事 53～64P							教科書を一読し質問を考えておくこと	
5	家庭訪問保育を行うために必要な基礎的知識 小児保健 65～91P							教科書を一読し質問を考えておくこと	
6	居宅型訪問保育の実際 居宅訪問保育の保育内容 92～104P							教科書を一読し質問を考えておくこと	
7	居宅型訪問保育の実際 居宅訪問型保育の環境整備 105～114P							教科書を一読し質問を考えておくこと	
8	居宅型訪問保育の実際 居宅訪問型保育の運営 安全確保とリスクマネジメント 115～132P							教科書を一読し質問を考えておくこと	
9	居宅型訪問保育の実際 居宅訪問型保育者の職業倫理と配慮事項 133～143P							教科書を一読し質問を考えておくこと	
10	居宅型訪問保育の実際 居宅訪問型保育における保護者対応 144～156P 子ども虐待 157～168P DVD「少子社会と健やかに子どもを産み育てる環境作り」							教科書を一読し質問を考えておくこと	
11	居宅型訪問保育の実際 特別に配慮を要する子どもへの対応 心肺蘇生 169～183P DVD「救急法」							教科書を一読し質問を考えておくこと	
12	実践演習 保育技術(お世話編) 184～207P DVD「体調が悪いときの配慮点と保育の実際」							教科書を一読し質問を考えておくこと	
13	実践演習 保育技術(遊び編) 208～218P DVD「在宅保育に役立つ遊び」 定期試験について							教科書を一読し質問を考えておくこと	
14	一般家庭訪問保育の実際 さまざまな家庭訪問保育 子ども虐待 229～241P 定期試験について							教科書を一読し質問を考えておくこと	
15	まとめ 練習問題の答え合わせ 定期試験に向けての質問と解説							教科書を一読し質問を考えておくこと	
テキスト	家庭訪問保育の理論と実際」公益社団法人全国保育サービス協会監修 中央法規 「ベビーシッター資格認定試験過去問題集第14回～17回」公益社団法人全国保育サービス協会								
参考書・資料等	毎回の講義内容に必要な補助資料はその都度、配布する。								
評価方法	定期試験(80%)とレポート課題(20%)の総合評価とする。 試験は定期試験期間内に実施する								
履修上の注意等	認定ベビーシッター資格取得のための科目であることを意識して受講すること。								

科目番号	2227	単位	1	授業形態	演習	開講時期	1年前期	担当	小林由美子・福土亜友子 他
科目名	音楽(1)								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイ エンティスト
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター		
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 音楽表現の基礎となる知識と技能を習得する</p> <p>テーマ 保育の現場で活用できる「幼児の歌」の弾き歌いができるようになる(目標15曲) すでにピアノ学習歴のある人は、弾き歌いのレパートリーを数多く作る</p>								
授業の概要	各自に応じた個人指導により、担当教師と共に課題をマスターする								
回	授 業 計 画							自主学習(授業前・授業後)	
1	授業を始めるにあたってのガイダンス、担当教員紹介を行う							よく復習し、次に課題を練習しておく	
2	前期15曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次に課題を練習しておく	
3	前期15曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次に課題を練習しておく	
4	前期15曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次に課題を練習しておく	
5	前期15曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次に課題を練習しておく	
6	前期15曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次に課題を練習しておく	
7	前期15曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次に課題を練習しておく	
8	前期15曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次に課題を練習しておく	
9	前期15曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次に課題を練習しておく	
10	前期15曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次に課題を練習しておく	
11	前期15曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次に課題を練習しておく	
12	前期15曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次に課題を練習しておく	
13	前期15曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次に課題を練習しておく	
14	前期試験曲の復習をする。							よく復習し、試験に備える	
15	前期試験曲の暗譜を確認する。							よく復習し、試験に備える	
テキスト	「弾き歌いー簡易楽譜集」(小林・福土編集) 幼児のための音楽教育(教育芸術社)								
参考書・資料等									
評価方法	期末に演奏形式で弾く試験をし、日頃の受講態度や弾き歌いの進捗状況も合わせて、指導教員6人で総合評価をする。								
履修上の注意等	受講したことを理解し、次の授業日までに課題を完成するよう努力する。								

科目番号	2227	単位	1	授業形態	演習	開講時期	1年後期	担当	小林由美子・福士亜友子 他
科目名	音楽(1)								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイ エンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標 及びテーマ	到達目標 音楽表現の基礎となる知識と技能を習得する テーマ 保育の現場で活用できる「幼児の歌」の弾き歌いができるようになる(目標20曲) すでにピアノ学習歴のある人は、弾き歌いのレパートリーを数多く作る								
授業の概要	各自に応じた個人指導により、担当教師と共に課題をマスターする								
回									自主学习(授業前・授業後)
1	後期20曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)								よく復習し、次に課題を練習しておく
2	後期20曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)								よく復習し、次に課題を練習しておく
3	後期20曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)								よく復習し、次に課題を練習しておく
4	後期20曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)								よく復習し、次に課題を練習しておく
5	後期20曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)								よく復習し、次に課題を練習しておく
6	後期20曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)								よく復習し、次に課題を練習しておく
7	後期20曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)								よく復習し、次に課題を練習しておく
8	後期20曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)								よく復習し、次に課題を練習しておく
9	後期20曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)								よく復習し、次に課題を練習しておく
10	後期20曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)								よく復習し、次に課題を練習しておく
11	後期20曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)								よく復習し、次に課題を練習しておく
12	後期20曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)								よく復習し、次に課題を練習しておく
13	後期20曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)								よく復習し、次に課題を練習しておく
14	後期試験曲の復習をする。								よく復習し、試験に備える
15	後期試験曲の暗譜を確認する。								よく復習し、試験に備える
テキスト	「弾き歌いー簡易楽譜集」(小林・福士編集) 幼児のための音楽教育(教育芸術社)								
参考書・資料等									
評価方法	期末に演奏形式で弾く試験をし、日頃の受講態度や弾き歌いの進捗状況も合わせて、指導教員6人で総合評価をする。								
履修上の注意等	受講したことを理解し、次の授業日までに課題を完成するよう努力する。								

科目番号	2228	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	小林由美子・福土亜友子 他
科目名	音楽(2)								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイ エンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビー シッター		
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 音楽表現の基礎となる知識と技能を習得する</p> <p>テーマ 保育の現場で活用できる「幼児の歌」の弾き歌いができるようになる(目標25曲) すでにピアノ学習歴のある人は、弾き歌いのレパートリーを数多く作る</p>								
授業の概要	各自の進度に応じた個人指導により、担当教師と共に課題をマスターする								
回	授 業 計 画							自主学習(授業前・授業後)	
1	前期25曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
2	前期25曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
3	前期25曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
4	前期25曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
5	前期25曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
6	前期25曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
7	前期25曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
8	前期25曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
9	前期25曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
10	前期25曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
11	前期25曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
12	前期25曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
13	前期25曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
14	前期試験曲の復習をする。							よく復習し、試験に備える	
15	前期試験曲の暗譜を確認する。							よく復習し、試験に備える	
テキスト	「弾き歌いー簡易楽譜集」(小林・福土編集) 幼児のための音楽教育(教育芸術社)								
参考書・資料等									
評価方法	期末に演奏形式で弾く試験をし、日頃の受講態度や弾き歌いの進捗状況も合わせて、指導教員6人で総合評価をする。								
履修上の注意等	受講したことを理解し、次の授業日までに課題を完成するよう努力する。難易度が増してきているので、1年次以上に時間をかけて練習するようにする。								

科目番号	2228	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年後期	担当	小林由美子・福土亜友子 他
科目名	音楽(2)								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイ エンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビー シッター		
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 音楽表現の基礎となる知識と技能を習得する</p> <p>テーマ 保育の現場で活用できる「幼児の歌」の弾き歌いができるようになる(目標26曲) すでにピアノ学習歴のある人は、弾き歌いのレパートリーを数多く作る</p>								
授業の概要	各自の進度に応じた個人指導により、担当教師と共に課題をマスターする								
回	授 業 計 画							自主学習(授業前・授業後)	
1	後期26曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
2	後期26曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
3	後期26曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
4	後期26曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
5	後期26曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
6	後期26曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
7	後期26曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
8	後期26曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
9	後期26曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
10	後期26曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
11	後期26曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
12	後期26曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
13	後期26曲弾き歌いができるという到達目標に向かって選曲した歌を担当教師と共にマスターする (詳細については各担当教員の指示に従うこと)							よく復習し、次の課題を練習しておく	
14	後期試験曲の復習をする。							よく復習し、試験に備える	
15	後期試験曲の暗譜を確認する。							よく復習し、試験に備える	
テキスト	「弾き歌いー簡易楽譜集」(小林・福土編集) 幼児のための音楽教育(教育芸術社)								
参考書・資料等									
評価方法	期末に演奏形式で弾く試験をし、日頃の受講態度や弾き歌いの進捗状況も合わせて、指導教員6人で総合評価をする。								
履修上の注意等	受講したことを理解し、次の授業日までに課題を完成するよう努力する。難易度が増してきているので、1年次以上に時間をかけて練習するようにする。								

科目番号	2229	単位	1	授業形態	演習	開講時期	1年前期	担当	七戸英之		
科目名	図画工作(1)										
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト		
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター				
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 乳幼児の表現活動を補助できる能力を身につける。</p> <p>テーマ 演習課題の意味を理解し、その趣旨に沿って製作活動ができていますか。</p>										
授業の概要	幼稚園教諭・保育士として必要とされる造形表現の基礎知識と表現行為に必要な技能及び表現媒体を学び、幼児の表現活動のサポーターとしての対応力を演習を通して学び身につける。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	図画工作とは (幼稚園教諭と保育士として図画工作が果たす役割と意義) 図形表現の基礎（幾何図形を用いて表現する方法）							入学の際必要とする用具を持参すること			
2	図形表現の基礎 (幾何図形を用いて表現する方法)							用具を持参すること			
3	絵具の使い方、塗り方。習作品提出。 次回の授業の概要と必要用具等の説明							用具を持参すること			
4	平面構成 (幼児期のスクリブルとは、スクリブルを利用した平面構成の演習)							四つ切り画用紙1枚 トレーシングペーパー(B5)6枚 色鉛筆を持参すること			
5	平面構成 (スクリブルを利用した平面構成の演習)							前回と同じ			
6	切り取り図形の構成 (スクリブルの図形を切り取り、動物などを表現する) 次回の授業の概要と必要用具等の説明							前回に加え、ハサミ、のりを持参			
7	造形表現活動の基本技法の理解と体験							ハサミ、のり、絵具を持参			
8	造形表現活動の基本技法の理解と体験							ハサミ、のり、絵具を持参			
9	造形表現活動の基本技法の理解と体験							ハサミ、のり、絵具を持参			
10	基本技法を使って作品制作							四つ切り画用紙1枚 ハサミ、のり、絵具を持参			
11	フロッターージュにより身の回りのテクスチャーを採集、分類。採集した素材を使ってコラージュの技法により平面構成							フロッターージュした資料(B5)8枚と 八つ切り画用紙1枚、ハサミ、のりを持参すること			
12	色票の分類							事前に購入した色票と糊を持参			
13	色票の分類							前回と同じ			
14	混色と配色演習							色票と絵具、筆、定規、八つ切り画用紙2枚			
15	混色と配色演習							前回と同じ			
テキスト	なし										
参考書・資料等	演習課題ごとに資料を配布										
評価方法	受講・演習状況20%、演習作品80%により総合評価する。										
履修上の注意等	講義内容のノートと配布資料は適宜きちんと整理をすること。 また演習作品が一つでも未提出の場合は不合格とする。										

科目番号	2229	単位	1	授業形態	演習	開講時期	1年後期	担当	七戸英之		
科目名	図画工作(1)										
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト		
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター				
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 乳幼児の表現活動を補助できる能力を身につける。</p> <p>テーマ 演習課題の意味を理解し、その趣旨に沿って製作活動ができていますか。</p>										
授業の概要	幼稚園教諭・保育士として必要とされる造形表現の基礎知識と表現行為に必要な技能及び表現媒体を学び、幼児の表現活動のサポーターとしての対応力を演習を通して学び身につける。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	絵地図製作（過去の作例のスライドを見ながら、構想・下書き作成） （故郷を絵で表現。子どもたちに絵詞により伝達する方法を考える）							前期終了後、自宅の周囲について資料を収集 四つ切り画用紙を持参すること			
2	絵地図製作（絵地図の線描きを作成、作成後手直し等の指示をする）										
3	絵地図製作（線描きに着色）										
4	絵地図製作（線描きに着色。完成後提出） 次回の課題の説明。										
5	張り子の技法を使ってお面作り （風船に和紙をはり、球体を作る）							デンプン糊を各自準備すること。 お面の土台となる風船は私が準備。			
6	張り子の技法を使ってお面作り （過去の作例のスライドを見たのちに、お面の着想・スケッチを描く）										
7	張り子のお面作り （ポリウムを付け後に着色などの仕上げをする）										
8	張り子のお面作り （ポリウムを付け後に着色などの仕上げをする）							お面の表情をつけるための材料を各自準備すること			
9	張り子のお面作り （製作したお面の点検を受けたのちに、合評）										
10	共同製作・グループで壁面装飾を製作 （幼児期の共同製作について講義をする。その後に製作グループの組み合わせを行う）										
11	協同製作・グループで壁面装飾を製作 （グループごとに担当する月の壁面装飾分担任を決める。壁面装飾のアイデアを練る）							グループごとに模造紙（全紙）2枚準備			
12	協同製作・グループで壁面装飾を製作 （壁面装飾の構想のチェック。製作準備）										
13	協同製作・グループで壁面装飾を製作 （構想に従い製作）										
14	協同製作・グループで壁面装飾を製作 （構想に従い製作）										
15	完成した壁面装飾の合評										
テキスト	なし										
参考書・資料等	演習課題ごとに資料を配布										
評価方法	受講・演習状況20%、演習作品80%により総合評価する。										
履修上の注意等	講義内容のノートと配布資料は適宜きちんと整理をすること。 また演習作品が一つでも未提出の場合は不合格とする。										

科目番号	2230	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	七戸英之	
科目名	図画工作(2)									
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエニティスト	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター			
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 造形表現活動に到達目標はない。いかに想像力を働かせ真面目に制作するか。</p> <p>テーマ 1年次で学んだことを基礎として、表現活動の応用力を身につける。</p>									
授業の概要	保育に必要な補助教材の理解と製作。									
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）		
1	紙粘土を作る。 紙粘土による製作のためのアイデアスケッチ。							紙パックを持参。 紙パンクを使って紙粘土を作る。		
2	紙粘土による作品製作							自作の紙粘土を土台にして市販紙粘土で整形		
3	紙粘土による作品製作、作品提出。									
4	エプロンシアターの概要と表現							エプロンの色を決める。		
5	エプロンシアター製作							エプロンシアターで演じる内容を検討する。 原案スケッチ。		
6	エプロンシアター製作							製作に取り掛かる。 エプロンの型紙製作。		
7	エプロンシアター製作							人形の型紙製作。		
8	エプロンシアター製作							人形の型紙製作。		
9	エプロンシアター製作							型紙に合わせて布を裁断、縫製。		
10	エプロンシアター製作							型紙に合わせて布を裁断、縫製。		
11	エプロンシアター製作							エプロン製作。人形縫製。		
12	エプロンシアター製作							エプロン製作。人形縫製。		
13	エプロンシアター製作							エプロン製作。人形縫製。		
14	エプロンシアター製作							エプロン製作。人形縫製。		
15	エプロンシアター製作							作品提出。合評。		
テキスト	なし									
参考書・資料等	演習課題ごとに資料を配布									
評価方法	受講・演習状況10%、演習作品90%により総合評価する。									
履修上の注意等	卒業後現場で活用できるように真剣に取り組むこと。 演習作品が一つでも未提出の場合は不合格とする。									

科目番号	2230	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年後期	担当	七戸英之		
科目名	図画工作(2)										
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエニティスト		
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター				
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 造形表現活動に到達目標はない。いかに想像力を働かせ真面目に制作するか。</p> <p>テーマ 1年次で学んだことを基礎として、表現活動の応用力を身につける。</p>										
授業の概要	保育に必要となる補助教材の理解と製作。										
回	授 業 計 画							自主学习 (授業前・授業後)			
1	絵本の概要と年齢別の子供に読み聞かせる絵本への配慮を講義。ジャバラ絵本製作について講義										
2	ジャバラ絵本製作の構想を練る							参考とする絵本を持参			
3	ジャバラ絵本製作の構想を練る										
4	ジャバラ絵本製作の構想をチェック。指導を受けたのちに下書き製作。										
5	指導を受けたのちに下書き製作。										
6	絵本の紙の裁断をする。下書きに沿って絵本の線描き。										
7	下書きに沿って絵本の線描き										
8	下書きに沿って絵本の線描き										
9	下書きに沿って絵本の線描き										
10	線描きに着彩										
11	線描きに着彩										
12	線描きに着彩										
13	線描きに着彩										
14	表紙製作										
15	製本作業。完成										
テキスト	なし										
参考書・資料等	演習課題ごとに資料を配布										
評価方法	受講・演習状況10%、演習作品90%により総合評価する。										
履修上の注意等	卒業後現場で活用できるように真剣に取り組むこと。演習作品が一つでも未提出の場合は不合格とする。										

科目番号	2231	単位	1	授業形態	演習	開講時期	1年前期	担当	田中 恵
科目名	体育(1)								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 幼児の運動遊びについて理解を深め、身体表現活動に関する知識・技術を身につける。</p> <p>テーマ 幼児の運動遊びを実際に体験しながら学ぶ。</p>								
授業の概要	<p>乳幼児の身体発育や運動能力の発達を広義的に理解しながら、さまざまな運動遊びが子どもの身体発育・発達にどれだけ意義深いものであるかを知る。また、実際に運動遊びを幅広く体験することによって、遊びのもつ楽しさや喜びを感じながら身体運動に関する基本的な知識や技術を学習する。</p>								
回	授 業 計 画						自主学習（授業前・授業後）		
1	講義内容を把握し、幼児期の運動遊びの必要性を学ぶ。(基本ステップは、毎回継続的に実施し、身体表現の技能を身につける。)						講義内容をノートにまとめる。		
2	(幼児体操) 幼児向けに創作された体操について学ぶ。						幼児体操の動きを確認する。		
3	歩く・走る・跳ぶなどの基本動作をリズムに合わせて動く。						講義内容をノートにまとめる。		
4	基本動作の応用 基本動作にジャンケンを加えて、発展させた遊びを体験する。						講義内容をノートにまとめる。		
5	基本動作の応用 投げる・蹴るなどの基本動作を中心に的当て・的入れ遊びを体験する。						講義内容をノートにまとめる。		
6	リズム表現 基本となるステップを用いて、音楽に合わせて自由に表現をする。						身体表現の動きを考える。		
7	リズム表現 基本となるステップを用いて、音楽に合わせて自由に表現をする。						身体表現の動きを考える。		
8	リズム表現 タンバリン・鈴などを用いて、音楽に合わせて表現をする。						身体表現の動きを考える。		
9	表現遊び 共通の題材を基にグループごとにオリジナルの動きや隊形を考える。						身体表現の動きを考える。		
10	簡単にできる鬼遊びやゲーム遊びを体験する。						鬼遊びを調べる。		
11	わらべうたを用いた遊びを体験する。						わらべうた遊びを調べる。		
12	(フォークダンス) 幼児向けのフォークダンスを体験する。用語を理解しながら指導法を学習する。						講義内容をノートにまとめる。		
13	さまざまな音やリズムに合わせて身体表現をする。						リズムに合わせた動きの確認をする。		
14	水遊びについて実践的に学ぶ。						講義内容をノートにまとめる。		
15	これまでの学習を振り返る。(理論・実技)						講義内容をノートにまとめる。		
テキスト	『幼児の楽しい運動学習』 不昧堂出版								
参考書・資料等	必要に応じて資料を配付する。								
評価方法	定期的に動きの習得状況を確認して評価する。								
履修上の注意等	講義内容はノートにまとめておくこと。								

科目番号	2231	単位	1	授業形態	演習	開講時期	1年後期	担当	田中 恵
科目名	体育(1)								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 幼児の運動遊びについて理解を深め身体表現活動に関する知識・技術を身につける。</p> <p>テーマ 幼児の運動遊びを実際に体験しながら学ぶ。</p>								
授業の概要	<p>乳幼児の身体発育や運動能力の発達を広義的に理解しながら、さまざまな運動遊びが子どもの身体発育・発達にどれだけ意義深いものであるかを知る。また、実際に運動遊びを幅広く体験することによって、遊びのもつ楽しさや喜びを感じながら身体運動に関する基本的な知識や技術を学習する。</p>								
回	授 業 計 画						自主学習（授業前・授業後）		
1	小型遊具（ボール・フープ・縄）を使った遊びの特徴・内容を学ぶ。（基本ステップは、前期同様に毎回継続的に実施し、身体表現の技能を身につける。）						小型遊具を使った遊びを考える。		
2	ボール遊び ボールを使った遊びの特徴や効果などを実践を通して理解し、指導法を学習する。						講義内容をノートにまとめる。		
3	ボール遊び ボールを使った基本動作を応用させて遊びを体験する。						講義内容をノートにまとめる。		
4	ボール遊び 簡単なルールを用いたボールゲームを行う。（転がしドッジボール・ドッジボールなど）						講義内容をノートにまとめる。		
5	フープ遊び フープを使った遊びの特徴や効果などを実践を通して理解し、指導法を学習する。						講義内容をノートにまとめる。		
6	フープ遊び フープを使った基本動作を応用させて遊びを体験する。						講義内容をノートにまとめる。		
7	フープ遊び 簡単なルールを用いたフープゲームを行う。（カラーバスケット・陣取りなど）						講義内容をノートにまとめる。		
8	縄遊び 縄を使った遊びの特徴や効果などを実践を通して理解し、指導法を学習する。						講義内容をノートにまとめる。		
9	縄遊び 長縄を使った遊びを体験する。						講義内容をノートにまとめる。		
10	縄遊び 短縄と長縄を組み合わせた遊びを体験する。						講義内容をノートにまとめる。		
11	子どもの年齢に合った障害走の内容を学ぶ。						講義内容をノートにまとめる。		
12	自然と地形を活かした遊び 雪を利用してさまざまな遊びを体験する。						講義内容をノートにまとめる。		
13	自然と地形を活かした遊び 雪を利用した遊びの内容について振り返る。						講義内容をノートにまとめる。		
14	さまざまな音やリズムに合わせて身体表現をする。						リズムに合わせた動きの確認をする。		
15	これまでの学習を振り返る。（理論・実技）						講義内容をノートにまとめる。		
テキスト	『幼児の楽しい運動学習』 不昧堂出版								
参考書・資料等	必要に応じて資料を配付する。								
評価方法	定期的に動きの習得状況を確認して評価する。								
履修上の注意等	講義内容はノートにまとめておくこと。								

科目番号	2232	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	田中 恵
科目名	体育(2)								
課程	卒業必修		栄養士 保育士		栄養 教諭 幼稚園 教諭		医療 ベビー シッター		フードサイ エンティスト
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 多種多様な動きを通じて身体能力・運動能力を高めながら、幼児の運動遊びの指導法を学び、指導力を身につける。</p> <p>テーマ 幼児の運動遊びの指導内容・指導法を理解する。</p>								
授業の概要	<p>体育(1)での講義内容を基礎として、運動遊びを展開するうえで必要な指導上の留意点や安全管理等について理解を深め、幼児の身体の発育・発達に即した運動遊びの内容と指導法について学習する。</p>								
回	授 業 計 画							自主学習(授業前・授業後)	
1	講義内容を把握し、幼児の運動遊びの内容や効果について学ぶ。							講義内容をノートにまとめる。	
2	リトミック 天野式幼児リトミックの意義や目的・ねらいについて学ぶ。							講義内容をノートにまとめる。	
3	リトミック 天野式幼児リトミックの意義や目的・ねらいを踏まえて実際に体験する。							天野式幼児リトミックの動きを確認する。	
4	(伝承遊び)馴染みのある伝承遊びを応用させて、遊びの変化を考える。							伝承遊びを調べる。	
5	(鬼遊び)多種の鬼遊びを体験する。鬼遊びのルールに変化を加えて体験する。							鬼遊びのルールを考える。	
6	身近な素材を利用した遊び 新聞紙・ダンボールなど身近な素材を利用した遊びを体験する。							身近な素材を利用した遊びを考える。	
7	身近な素材を利用した遊び 新聞紙・ダンボールなど身近な素材を利用した遊びを体験する。							身近な素材を利用した遊びを考える。	
8	運動遊びの指導法 年齢別の運動遊びについて指導案を作成し、指導法を研究する。指導計画の立案方法を学習する。							運動遊びの活動内容を考える。	
9	運動遊びの指導法 年齢別の運動遊びについて指導案を作成し、指導法を研究する。							指導案を作成する。	
10	運動遊びの指導法 年齢別の運動遊びについて指導案を作成し、指導法を研究する。							教材の準備をする。	
11	運動遊びの指導法 グループごとに活動内容を設定し、実際の状況を想定しながら指導法について研究をする。							グループごとに模擬保育の振り返りをする。	
12	運動遊びの指導法 グループごとに活動内容を設定し、実際の状況を想定しながら指導法について研究をする。							グループごとに模擬保育の振り返りをする。	
13	運動遊びの指導法 グループごとに活動内容を設定し、実際の状況を想定しながら指導法について研究をする。							グループごとに模擬保育の振り返りをする。	
14	運動遊びの指導法 グループごとに活動内容を設定し、実際の状況を想定しながら指導法について研究をする。							グループごとに模擬保育の振り返りをする。	
15	これまでの学習を振り返る。(理論・実技)							講義内容をノートにまとめる。	
テキスト	『幼児の楽しい運動学習』 不昧堂出版								
参考書・資料等	必要に応じて資料を配付する。								
評価方法	グループ発表の内容(50%)定期的に動きの習得状況を確認(50%)して総合的に評価する。								
履修上の注意等	講義内容はノートにまとめておくこと。								

科目番号	2232	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年後期	担当	田中 恵
科目名	体育(2)								
課程	卒業必修		栄養士 保育士		栄養 教諭 幼稚園 教諭		医療 ベビー シッター		フードサイ エンティスト
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 多種多様な動きを通じて身体能力・運動能力を高めながら、幼児の運動遊びの指導法を学び、指導力を身につける。</p> <p>テーマ 幼児の運動遊びの指導内容・指導法を理解する。</p>								
授業の概要	<p>体育(1)での講義内容を基礎として、運動遊びを展開するうえで必要な指導上の留意点や安全管理等について理解を深め、幼児の身体の発育・発達に即した運動遊びの内容と指導法について学習する。</p>								
回	授 業 計 画							自主学習(授業前・授業後)	
1	大型遊具(マット・跳び箱・平均台・巧技台・鉄棒)の遊びの特徴を理解する。基本ステップ・リトミックは毎回継続的に実施し、身体表現の技能を身につける。							講義内容をノートにまとめる。	
2	マット遊びの指導法 マットを使った遊びの特徴や効果を理解し、指導法を学習する。							講義内容をノートにまとめる。	
3	マット遊びの指導法 マットの利用方法を工夫して基本的な動きを体験する。							講義内容をノートにまとめる。	
4	跳び箱遊びの指導法 跳び箱を使った遊びの特徴や効果を理解し、指導法を学習する。							講義内容をノートにまとめる。	
5	跳び箱遊びの指導法 跳び箱の利用方法を工夫して基本的な動きを体験する。							講義内容をノートにまとめる。	
6	鉄棒遊びの指導法 鉄棒を使った遊びの特徴や効果を理解し、指導法を学習する。							講義内容をノートにまとめる。	
7	鉄棒遊びの指導法 鉄棒の利用方法を工夫して基本的な動きを体験する。							講義内容をノートにまとめる。	
8	平均台遊びの指導法 平均台を使った遊びの特徴や効果を理解し、指導法を学習する。							講義内容をノートにまとめる。	
9	平均台遊びの指導法 平均台の利用方法を工夫して基本的な動きを体験する。							講義内容をノートにまとめる。	
10	大型遊具の応用 大型遊具を組み合わせた遊びを考える。							大型遊具を使った遊びを考える。	
11	障害走の指導法 年齢に合った障害走の内容と指導上の留意点を考える。							大型遊具を使った遊びを考える。	
12	障害走の指導法 年齢に合った障害走の内容と指導上の留意点を考える。							講義内容をノートにまとめる。	
13	障害走の指導法 年齢に合った障害走の内容と指導上の留意点を考える。							講義内容をノートにまとめる。	
14	天野式幼児リトミックの動きを復習する。							天野式幼児リトミックの動きを確認する。	
15	これまでの講義内容を振り返りながら、幼児に運動遊びを指導する上で重要なポイントを理解する。							講義内容をノートにまとめる。	
テキスト	『幼児の楽しい運動学習』 不昧堂出版								
参考書・資料等	必要に応じて資料を配付する。								
評価方法	グループ発表の内容(50%)定期的に動きの習得状況を確認(50%)して総合的に評価する。								
履修上の注意等	講義内容はノートにまとめておくこと。								

科目番号	2233	単位	2	授業形態	講義	開講時期	2年後期	担当	福士純子
科目名	国語科概論								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイ エンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビー シッター		
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 一般社会における正しい言語表現のあり方を理解し、保育者としての確で簡明な表現能力を身につける。</p> <p>テーマ 「言語を用いた伝達」 書くこと・話すこと の実践的表現の能力を高める。</p>								
授業の概要	日常生活で使用される実務的・実用的な言語の表現をベースとし、国語の基礎知識の確認と応用力を養うための実践的問題演習を行う。								
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）	
1	受講受理(授業計画) 国語の定義、保育者と表現力、概論の授業方法と計画・内容について解説する。								
2	保育者としての国語表現(1) ~表現における心構え~ 保育現場における、話すこと・聞くこと・書くこと・読むことの実践を学ぶ。								
3	保育者としての国語表現(2) ~あいさつ・敬語~ 保育者として身につける基本的な生活習慣と言葉について確認する。							テキスト巻末の演習問題、配付プリント等で復習をする。	
4	保育者としての国語表現(3) ~保育者・子ども・保護者~ 対人、状況に応じた適切な表現のあり方について考える。							"	
5	保育者としての国語表現(4) ~正しい表記の仕方~ 誤字脱字のない簡明な文章表現のための正しい表記を身につける。							"	
6	国語の基礎知識(1) 表記のきまり。(現代仮名遣い、送り仮名、漢字と仮名の使い分け、数字の表記、読点の打ち方、記号類の使い方、原稿用紙の使い方。)について学ぶ。							"	
7	国語の基礎知識(2) 表記のきまり。(現代仮名遣い、送り仮名、漢字と仮名の使い分け、数字の表記、読点の打ち方、記号類の使い方、原稿用紙の使い方。)についての演習。							"	
8	国語の基礎知識(3) 書き方の工夫。(文字、漢字、語彙と書き言葉、略語と外来語、語句の重複、文末表現、常体と敬体、接続助詞、文の長さ。)について学ぶ。							"	
9	国語の基礎知識(4) 書き方の工夫。(文字、漢字、語彙と書き言葉、略語と外来語、語句の重複、文末表現、常体と敬体、接続助詞、文の長さ。)についての演習。							"	
10	国語の基礎知識(5) 話すこと聞くこと。(話し方の工夫・ポイント、聞くときの心構え・ポイント)の確認。							"	
11	保育者としての文章表現(1) 書く目的に応じた文の構成を学び、簡潔な文章の書き方、上達するための方法を身につける。							"	
12	保育者としての文章表現(2) 主語と述語、段落、修飾語、接続語、句読点、文末表現などの正しい使い方の確認をする。							"	
13	保育者としての文章表現(3) 履歴書・実習礼状などの手紙の書き方を演習する							履歴書・実習礼状などを実際に書いて練習し、提出をする。	
14	保育者としての文章表現(4) 保育日誌・連絡帳・園便りなどの書き方を学ぶ。								
15	小論文の書き方を学び、テーマを決めて演習する。							小論文形式で「実践発表」について考えたことを書き、提出する。	
テキスト	『保育者になるための国語表現』 萌文書林								
参考書・資料等	必要に応じて資料を配付する。								
評価方法	学習意欲(20%)、レポート(30%)、筆記試験(50%)等で総合的に判断する。 試験は定期試験期間内に実施する								
履修上の注意等	事前に指示された事項はきちんと調べて受講すること。提出物は日程厳守のこと。								

科目番号	2234	単位	2	授業形態	講義	開講時期	2年後期	担当	長尾明義
科目名	生活科概論								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 幼児教育と小学校教育の接続の核となる生活科を理解するために、生活科の目標や九つの内容、内容の取り扱いや指導計画作成上の配慮事項などについて、テキストや関係資料を通して理解すると共に、製作や表現活動を通して実感的に理解できる。</p> <p>テーマ 低学年の教科である生活科の全体像を理解し、幼児教育に生かそう。</p>								
授業の概要	小学校学習指導要領解説「生活編」や現行児童用教科書をもとに生活科の目標や内容について学習する。製作単元と成長単元では、実際に「おもちゃ」や「自分アルバム」の製作を取り入れ、実感を通じた生活科の理解を図る。また、幼児教育と小学校教育との円滑な接続の核となる生活科の役割や幼児教育における「芽生え」の大切さを取り上げる。								
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）	
1	生活科の全体像をイメージ化(生活科を樹木に喩えた「生活科の木」の作成)。次期改訂における生活科の展望(幼児教育との接続・スタートカリキュラムの充実など)。								
2	生活科の目標について。具体的な活動や体験とは、生活上必要な習慣や技能とは、究極の目標である三つの自立とは等について学ぶ。ワークシートに記入。							「自立」の意味を調べておく。	
3	学年目標に挙げられている四つの目標について。							保育指針等の五領域を確かめておく。	
4	生活科の内容について(生活科の内容構成・具体的な視点・学習対象)							学習したことを「生活科の木」に記入する。	
5	グループで遊び方の工夫。							五領域との関連・連続性はあるか。	
6	生活科の内容(1)学校と生活について。その、ねらいと配慮事項について学ぶ。特に、スタートカリキュラムを重視している現行教科書を紹介し円滑な接続について考える。							小1プロブレムについて調べておく。	
7	生活科の内容(2)家庭と生活(3)地域と生活。その、ねらいと配慮事項について学ぶ。							家庭生活を扱う場合の留意事項を復習する。	
8	生活科の内容(4)公共物・公共施設の利用(5)季節の変化と生活。そのねらいと配慮事項について学ぶ。小学校時代の学校から自宅までのマップに自然を想起し記述。							小学校時代の体験を想起しておく。	
9	生活科の内容(6)自然や物を使った遊び。ねらいと次時の製作について。							製作に使用する材料の準備。	
10	内容(6)に関連した小単元「おもちゃをつくってあそぼう」の製作。空き缶アーチェリーの製作。この単元における幼児との交流について紹介。							グループで遊び方の工夫。	
11	内容(7)動植物の飼育栽培(8)生活や出来事の交流。そのねらいと配慮事項について。							小学校時代の飼育・栽培を想起。	
12	内容(9)自分の成長。ねらいと配慮事項。小単元「大きくなったよ」に関連した、自分アルバムの製作について。教科書の例を提示。							家族ヘインタビュー。資料の収集。	
13	自分アルバム(20年を振り返る)の製作。自分の成長を振り返る。支えてくれた人々への感謝の気持ちとこれからもよりよく生きよう自分。							材料・用具の準備。形式に決定。	
14	自分アルバムの完成。自分の成長を振り返る。友達のよさを認め合う。							家族にもアルバムを見せる。感謝を。	
15	自分アルバムの完成。自分の成長を振り返る。友達のよさを認め合う。							子どものよさを伸ばし円滑な接続へ。	
テキスト	「小学校学習指導要領解説 生活編」(著作権所有 文部科学省 発行者 日本文教出版)								
参考書・資料等	「小学校学習指導要領解説 生活編」(著作権所有 文部科学省 発行者 日本文教出版)								
評価方法	定期試験(80%)、提出物(10%)、主体的な受講態度(10%) 試験は定期試験期間内に実施する								
履修上の注意等	「自分アルバム」の製作で、幼少期～成人までを振り返る手がかりとして写真を使用するので、写真を選んだりコピーしておく。								

科目番号	2235	単位	2	授業形態	演習	開講時期	2年後期	担当	島内智秋 兼平友子
科目名	保育実践演習								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイ エンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 1.保育に関する科目横断的な学習能力を習得する。2.課題について協働しながら現状分析、考察、検討をする力を養う。3.問題解決の対応、判断について学びを深める。</p> <p>テーマ 自らの学びを振り返り、総合的な演習として演劇発表に取り組み、自主的な活動をする中で、保育者として必要な知識・技能を習得したことを確認する。</p>								
授業の概要	<p>現代の保育を巡る問題を考え、大切にしていきたいテーマを決めて劇・ミュージカルで演じて伝える。大テーマは「見えない大切にしたいこと」具体的な内容はグループでの討議により決定する。目標達成に向けて、発表までの計画・脚本・衣装・舞台・作曲等のすべてを考えて進める。その中で「仲間と心を合わせて目標に向かう力」「コミュニケーション能力」「表現力」「話す力」「しなやかに表現する力」を身につけていく。</p>								
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）	
1	イントロダクション・保育者の役割、職務内容、子どもに対する責任について・保育者として大切にしたいテーマをチームで討議(役割・計画)							講義後に活動を記録する	
2	劇・ミュージカルの演目の決定から台本作りと計画書の提出(計画書をチーム内で把握)							講義後に活動を記録する	
3	グループで計画・準備をすすめ、一人一人が役割を果たし完成に向かう(台本・衣装・舞台背景・必要な曲作り等) 3～9回はグループの進捗による							講義後に活動を記録する	
4	グループで計画・準備をすすめ、一人一人が役割を果たし完成に向かう(台本・衣装・舞台背景・必要な曲作り等)							講義後に活動を記録する	
5	グループで計画・準備をすすめ、一人一人が役割を果たし完成に向かう(台本・衣装・舞台背景・必要な曲作り等)							活動記録ノート1回目提出	
6	グループで計画・準備をすすめ、一人一人が役割を果たし完成に向かう(台本・衣装・舞台背景・必要な曲作り等)							講義後に活動を記録する	
7	グループで計画・準備をすすめ、一人一人が役割を果たし完成に向かう(台本・衣装・舞台背景・必要な曲作り等)							講義後に活動を記録する	
8	グループで計画・準備をすすめ、一人一人が役割を果たし完成に向かう(台本・衣装・舞台背景・必要な曲作り等)							講義後に活動を記録する	
9	1回目のリハーサル(役者等の立ち稽古中心) 改善点について話し合い、さらに発表に向けて準備や練習を行う							講義後に活動を記録する チームで話し合いをすること	
10	2回目のリハーサル 改善点について話し合い、さらに発表に向けて準備や練習を行う							講義後に活動を記録する チームで話し合いをすること	
11	3回目のリハーサル 改善点について話し合い、さらに発表に向けて準備や練習を行う							講義後に活動を記録する チームで話し合いをすること	
12	4回目のリハーサル 改善点について話し合い、さらに発表に向けて準備や練習を行う							講義後に活動を記録する チームで話し合いをすること	
13	5回目のリハーサル 改善点について話し合い、さらに発表に向けて準備や練習を行う							講義後に活動を記録する	
14	劇・ミュージカルの発表 1・2							講義後に活動を記録する	
15	劇・ミュージカルの振り返り 課題:小論文「保育実践演習を通して学んだこと」(400字詰め原稿用紙5枚程度)							活動記録ノート最終提出	
テキスト	特になし。 必要な場面で資料配布をする。								
参考書・資料等	『子どもと創る演劇』太宰久夫編 玉川大学出版部 『劇遊び』脚本と演出チャイルド本社 他								
評価方法	グループでの計画・準備への参加状況・発表の完成度・チーム内の相乗効果による成長度・提出された活動記録(70%)、小論文・ノート(30%)の総合評価をする。								
履修上の注意等	保育職をイメージしてグループワークを進め、発表内容をより良くするために協働していくこと。 ノート(A4サイズ)を準備し、講義終了後毎回、活動内容を記入していくこと。(中間と最終講義後に活動ノート提出)								

科目番号	2236	単位	2	授業形態	講義	開講時期	2年後期	担当	兼平友子
科目名	教育体験								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 教職の意義、教員に求められている役割、資質能力、職務内容等の基礎的な学校教育全般について理解し、教員に求められている本質について考察する。</p> <p>テーマ 教職の意義、教員の職務等について学ぶことで教職への意欲を高め、教育者にふさわしい心構えを育む。</p>								
授業の概要	<p>教育者に必要とされる教員の職務の特質や意義についての知識を習得する。さらに現代の教育課題について考察し、今日の学校の役割や教員に求められている資質能力について考えを深めていく。</p>								
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）	
1	教職の意義 公教育の目的と教員の意義について							講義後復習を行い、分かったことをまとめる。	
2	目指す教師像 自分の目指す教師像について							講義後復習を行い、分かったことをまとめる。レポートを書いて提出する。	
3	教員の特性 教員の特性(他の職業との比較を通して)について							講義後復習を行い、分かったことをまとめる。	
4	教職観 教職観の歴史の変遷から、今日の教員に求められている役割について							講義後復習を行い、分かったことをまとめる。	
5	教員の服務 教員の身分と服務義務について							講義後復習を行い、分かったことをまとめる。レポートを書いて提出する。	
6	教育制度 教員という職業のあり方について、近代の日本の教育制度の変遷に沿って検討する							講義後復習を行い、分かったことをまとめる。	
7	教員の職務 教員の職務(学校の組織、運営、学級経営等)について							講義後復習を行い、分かったことをまとめる。	
8	教員の職務 教員の職務(生徒指導、公務分掌等)について							講義後復習を行い、分かったことをまとめる。レポートを書いて提出する。	
9	現代の学校教育 教員研修の意義と重要性について							講義後復習を行い、分かったことをまとめる。	
10	幼児、児童の発達課題 子どもの習慣、技能および人格形成上等の発達課題について							講義後復習を行い、分かったことをまとめる。	
11	最近の幼児、児童の傾向 近年の子どもの傾向について							講義後復習を行い、分かったことをまとめる。レポートを書いて提出する。	
12	現代の教育課題 現代の教育課題について考察する							教育問題について関心を持つ。レポートを書いて提出する。	
13	現代の教育課題 現代の教育課題について考察し、チームとして組織的に諸課題に対応することの重要性を理解する							教育問題について関心を持つ。レポートを書いて提出する。	
14	現代の教育課題 現代の教育課題から、学校・家庭・地域社会の役割と連携の重要性について理解する							教育問題について関心をもつ。レポートを書いて提出する。	
15	教員に求められる資質・能力 今後、教員に求められる資質能力について考察し、これまでの講義を踏まえて目指す教師像について考えをまとめる							教育問題について関心をもつ。レポートを書いて提出する。	
テキスト	使用しない。講義中に適宜資料を配布する。								
参考書・資料等	「チーム学校に求められる教師の役割・職務とは何か」晃洋書房 「教職の意義と教員の職務」三省堂								
評価方法	講義中の小レポート(50%)と、レポート課題(50%)の総合評価とする。								
履修上の注意等	学校教育関連のニュース・新聞記事等に目を向けること。								

科目番号	2237	単位	2	授業形態	講義	開講時期	1年後期	担当	兼平友子
科目名	保育課程論								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 保育課程・教育課程、指導計画は保育実践において柱となっていることを理解し、子どもにふさわしい生活が展開されるような保育計画について考えていく。</p> <p>テーマ 保育課程・教育課程や指導計画の持つ意味を捉え、この計画が子ども達の発達にどのように関わっていくのかを理解する。</p>								
授業の概要	<p>保育計画についての基本や実際の保育における計画、実践、省察・評価、改善の過程の大切さを学び、保育課程や指導計画の作成について具体的に理解する。</p>								
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）	
1	保育計画の基本 カリキュラムの基礎、保育所及び保育所以外の児童福祉施設における計画と評価の意義について捉える。							テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。	
2	保育計画の基本 教育課程・保育課程、計画～評価・改善（PDCAサイクル）の過程について学ぶ							テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。	
3	指導計画作成の意義 幼稚園教育の基本を捉え、教育課程と指導計画の実際について学ぶ							テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。	
4	指導計画作成の意義 幼稚園での実際の指導計画（教育課程～日案）を見比べ、それぞれの指導計画の書き方や関係性を理解する。							テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。	
5	指導計画作成の意義 保育所保育における基本を捉え、保育課程と指導計画の実際について学ぶ							テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。	
6	指導計画作成の意義 保育所での実際の指導計画（保育課程～日案）を見比べ、それぞれの指導計画の書き方や関係性を理解する。							テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。	
7	保育計画の実際 指導計画の作成方法（「子どもの姿」「ねらい」）について学ぶ							テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。	
8	保育計画の実際 指導計画の作成方法（「内容」「環境構成」「保育者の援助」）について学ぶ							テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い、分かったことをまとめる。	
9	部分案の作成 子どもの発達の特徴を捉え、子ども達の姿から部分案（運動遊び）を作成する。							テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い、部分案を完成させる。	
10	部分案の作成 子どもの発達の特徴を捉え、子ども達の姿から部分案（帰りのついで前の絵本の読み聞かせ）を作成する。							テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い、部分案を完成させる。	
11	部分案の作成 子どもの発達の特徴を捉え、子ども達の姿の様子から部分案（製作活動）を作成する。							テキストを事前に読んでくる。講義後復習を行い、部分案を完成させる。	
12	週案作成 3歳児5月・6月・7月の月案を基に週案（3歳児6月第4週）を作成する。							事前に3歳児の月案に目を通してくる。講義後は週案を作成する。	
13	週案作成 週案（3歳児6月第4週）を完成させる。							事前に4歳児の月案に目を通してくる。講義後は週案を完成させる。	
14	週案作成 作成した週案についてそれぞれグループ討議を行う							事前に5歳児の月案に目を通してくる。講義後は講義内で行ったグループ討議を基に、週案を再検討する。	
15	小学校との連携 指導要領・保育要録、評価について学ぶ							テキストを事前に読んでくる。講義後これまでの復習を行い指導計画の重要性について理解する。	
テキスト	岩崎淳子・及川留美・粕谷亘正著「教育・保育課程論～書いて学べる指導計画～」萌文書林								
参考書・資料等	そのつど資料を作成して配布する。								
評価方法	提出された部分案（20％）・週案（30％）と定期試験（50％）の総合評価とする。 試験は定期試験期間内に実施する								
履修上の注意等	自分でも様々な指導計画を調べ、多方向から保育における計画の意味を考えていけるようにすることが望ましい。								

科目番号	2238	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	島内智秋		
科目名	保育相談支援										
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト		
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター				
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 保育相談支援の意義と原則について理解する。 ・保護者支援の基本を理解する。</p> <p>テーマ ・保育相談支援の実際を学び、内容や方法を理解する。 ・保育所等児童福祉施設における保護者支援の実際について理解する。</p>										
授業の概要	保育所等児童福祉施設における保護者支援の実際を知り、その対応の意義や基本をよく理解できるように、講義や演習の中から学びとっていく。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	保育相談支援とは 保育相談支援の基本							教科書を一読しておくこと			
2	保育相談支援の方法 保育者が行う保育相談支援の特徴							教科書を一読しておくこと			
3	保護者との関係づくり 保護者の養育力の向上を目指したかかわり							教科書を一読しておくこと			
4	保育相談支援の基本 信頼関係の形成・プライバシーの保護（資料）										
5	保育の環境構成を活かした支援 保育相談支援における保育環境構成の意義と課題							教科書を一読しておくこと			
6	地域の資源の活用と関係諸機関との連携							教科書を一読しておくこと			
7	地域子育て支援における保育相談支援の実際							教科書を一読しておくこと			
8	保護者の養育力向上を目指した支援の実際							教科書を一読しておくこと			
9	保護者同士の関係を改善するための支援の実際							教科書を一読しておくこと			
10	苦情対応から始まる支援の実際							教科書を一読しておくこと			
11	障害のある子どもをもつ保護者への支援の実際							教科書を一読しておくこと			
12	要保護児童の家庭に対する支援の実際							教科書を一読しておくこと			
13	乳児院における保育相談支援の実際							教科書を一読しておくこと			
14	母子生活支援施設における保育相談支援の実際							教科書を一読しておくこと			
15	保育者に求められる保育相談支援 1年目A子さんの保護者対応とその後（資料）										
テキスト	『実践・保育相談支援』青木紀久代編著 みらい										
参考書・資料等	『保育相談支援』大嶋恭二・金子恵美編著 建帛社 『演習 保育相談支援』小林育子著 萌文書林 『子どもを愛せない母親の心がわかる本』大日向雅美著 講談社										
評価方法	期末テスト(60%)・提出レポート(20%)・受講態度・演習への取り組み状況(20%)の総合評価 試験は定期試験期間内に実施する										
履修上の注意等	保育者になったことをイメージして受講すること。										

科目番号	2239	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	田中 恵
科目名	健康(1)								
課程	卒業必修		栄養士 保育士		栄養 教諭 幼稚園 教諭		医療 ベビー シッター		フードサイ エンティスト
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 領域「健康」のねらい・内容を理解しながら保育者としての役割を考え、援助方法や指導する上で必要な知識や技術を身に付ける。</p> <p>テーマ 領域「健康」のねらい・内容を踏まえ、乳幼児の心身の発達に即した健康な身体づくりや生活習慣を身に付けるための援助、安全指導のあり方について理解を深める。</p>								
授業の概要	<p>幼児期が生涯にわたる健康の基礎ができる重要な時期であることから、領域「健康」のねらい・内容・指導の基本を理解し、心身の健康に関する内容、運動的活動に関する内容、健康な生活習慣に関する内容を具体的に学習する。</p>								
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）	
1	領域「健康」の講義内容を把握する。「健康とはどういうことなのか」について考える。							講義内容をノートにまとめる。	
2	幼児期の発達を踏まえて、乳幼児の健康の特徴を学ぶ。							幼児期の発達の特徴を振り返る。	
3	領域「健康」のねらい・内容を学習する。							講義内容をノートにまとめる。	
4	乳幼児期の身体の発達について学ぶ。							乳幼児期の身体の発達について振り返る。	
5	乳幼児期の精神状態 知覚・認知の発達について学ぶ。							講義内容をノートにまとめる。	
6	乳幼児期の精神状態 社会性・パーソナリティの発達について学ぶ。							講義内容をノートにまとめる。	
7	乳幼児期の体力・運動能力の発達 運動技能の発達を学ぶ。							講義内容をノートにまとめる。	
8	乳幼児期の体力・運動能力の発達 各年齢における体力・運動能力について学習し、運動遊びと関連づけて学習する。							講義内容をノートにまとめる。	
9	乳幼児期の体力・運動能力の発達 各年齢における体力・運動能力について学習し、運動遊びと関連づけて学習する。							講義内容をノートにまとめる。	
10	基本的な生活習慣の形成と過程 食事についての援助方法や指導のあり方を学ぶ。							講義内容をノートにまとめる。	
11	基本的な生活習慣の形成と過程 睡眠・排泄についての援助方法や指導のあり方を学ぶ。							講義内容をノートにまとめる。	
12	基本的な生活習慣の形成と過程 衣服の着脱・清潔に関することについての援助方法や指導のあり方を学ぶ。							講義内容をノートにまとめる。	
13	乳幼児に多い不慮の事故等を例にあげ、乳幼児期の安全能力の発達について学ぶ。							講義内容をノートにまとめる。	
14	交通安全指導・災害に備えての避難訓練等、安全指導のあり方を学ぶ。							講義内容をノートにまとめる。	
15	これまでの講義内容を振り返る。							講義内容をノートにまとめる。	
テキスト	なし								
参考書・資料等	幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 毎講義時に資料を配付する。								
評価方法	試験(90%)・レポート課題(10%) 試験は定期試験期間内に実施する								
履修上の注意等	日頃から、子どもに関するニュース・新聞記事に関心をもつこと。								

科目番号	2240	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年後期	担当	田中 恵
科目名	健康(2)								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 心身の健康に関する領域であることを踏まえ、乳幼児の発達に即した援助方法や安全指導のあり方を考慮しながら保育者に必要な知識・技術を身に付ける。</p> <p>テーマ 乳幼児の心身の発達に即した健康な身体づくりや生活習慣を身に付けるための援助・安全指導のあり方について理解を深める。</p>								
授業の概要	健康(1)での学習を基に、運動に関する指導、健康な生活に関する指導、安全な生活や態度に関する指導など保育現場での状況と照らし合わせて内容を深め、乳幼児の健康について学習する。								
回	授 業 計 画							自主学習(授業前・授業後)	
1	健康(1)での学習を振り返りながら、健康(2)の講義内容を把握する。							講義内容をノートにまとめる。	
2	基本的な生活習慣について(食事)実習体験を振り返り、保育現場の実態を踏まえて、指導上配慮する点等についてグループ別に意見交換をしながら援助方法を理解する。							学外実習での経験を振り返りながら自分なりにまとめる。(グループ発表に備える。)	
3	基本的な生活習慣について(午睡・排泄)実習体験を振り返り、保育現場の実態を踏まえて、指導上配慮する点等についてグループ別に意見交換をしながら援助方法を理解する。							学外実習での経験を振り返りながら自分なりにまとめる。(グループ発表に備える。)	
4	基本的な生活習慣について(衣服の着脱・清潔に関すること)実習体験を振り返り、保育現場の実態を踏まえて、指導上配慮する点等についてグループ別に意見交換をしながら援助方法を理解する。							学外実習での経験を振り返りながら自分なりにまとめる。(グループ発表に備える。)	
5	日常保育における保健活動として、子どもの健康状態の把握について理解する。							学外実習での経験を振り返りながら自分なりにまとめる。(グループ発表に備える。)	
6	事故発生時の救急処置について理解を深める。							救急処置について振り返る。	
7	園外保育の意義や園外保育で育つ心身の健康について理解する。							講義内容をノートにまとめる。	
8	幼児期にふさわしい運動会のあり方を理解する。							講義内容をノートにまとめる。	
9	室内遊びと戸外遊びがもたらす身体・心の健康について理解を深める。							講義内容をノートにまとめる。	
10	固定遊具を使った遊びの特質と援助の要点について理解する。							講義内容をノートにまとめる。	
11	かけっこの特質と援助の要点について理解する。(土踏まずの形成について)							講義内容をノートにまとめる。	
12	鬼遊びの特質と援助の要点について理解する。							講義内容をノートにまとめる。	
13	幼児の運動指導のポイントを理解する。							講義内容をノートにまとめる。	
14	乳幼児の健康指導における保育者の役割を認識する。							講義内容をノートにまとめる。	
15	これまでの講義内容をふりかえる。(領域「健康」のねらい・内容・内容の取扱いを再確認する)							講義内容をノートにまとめる。	
テキスト	なし								
参考書・資料等	幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 毎講義時に資料を配付する。								
評価方法	試験(90%)レポート課題(10%) 試験は定期試験期間内に実施する								
履修上の注意等	日頃から、子どもに関するニュース・新聞記事に関心をもつこと。								

科目番号	2241	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	吉田裕美子		
科目名	人間関係										
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト		
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター				
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 実践場面における具体的な例を取り上げ、人間関係における内容や問題点を明らかにしていくことで、保育者としての資質を高めていく。</p> <p>テーマ 発達にそって保育者、家族、友だちとの間に築かれていく人間関係の様子を捉え、保育者としてのかかわり方を考え学んでいく。</p>										
授業の概要	<p>幼稚園教育要領および保育所保育指針の基本理念をふまえた上で、子どもの人間関係をどのように捉えるのか、指導はどのようにあるべきかについて、日々の保育の中で起こりうる子どもの「人とのかかわり」に欄する具体的な事例を考察する。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	保育の基本と保育内容「人間関係」 「幼稚園教育要領・保育所保育指針における保育の基本」							提出課題：自己紹介カード			
2	乳幼児期における人との関わりの発達 「0・1・2歳児を中心に」							提出課題：レポート「語り聞かせ育児について」			
3	乳幼児期における人との発達 「3・4・5歳児を中心に」										
4	遊びの中で育つ人との関わり ー遊びの意義と重要性ー 「保育における遊びの大切さ」「遊びと仲間関係」							提出課題：「遊びの重要性を探る」			
5	遊びの中で育つ人との関わり ーけんかやいざこざから生まれるものー 「相手の気持ちを考える」「協同生の育ち」							グループ発表：事例について自分の考えをまとめる			
6	人との関わりを育てる保育の実践 「人と関わる力が育っていくプロセスとは」							グループ発表：事例について自分の考えをまとめる			
7	人との関わりを育てる保育実践 「保育の中で気になる子どもの姿」「人と関われない、関わらない子どもたち」							発表課題：事例を読み、自分の考えをまとめる			
8	人との関わりが難しい子どもへの支援 「園生活に馴染めない子の育ち」「悩む親を支える」							発表課題：事例を読み、自分の考えをまとめる			
9	保育における個の育ちと集団の育ちについて「集団の中での役割と責任・道徳性のめばえ」										
10	人間関係の育ちを育む環境 ー保育者同士の人間関係ー 「子どもの育ちを考える保育者同士の関係とは」										
11	人間関係の育ちを育む環境 ー保護者と保育者の人間関係ー 「園と家庭が子どもを育てる」「保護者同士の関係を作る」「子育て支援とは何か」										
12	領域の相互の関連性と保育展開 ー指導計画の意義・作成・実践例ー 「3歳児の指導計画と実践」							提出課題：指導案「3歳児」			
13	領域の相互の関連性と保育展開 ー指導計画の意義・作成・実践例ー 「4歳児の指導計画と実践」							提出課題：指導案「4歳児」			
14	領域の相互の関連性と保育展開 ー指導計画の意義・作成・実践例ー 「5歳児の指導計画と実践」							提出課題：指導案「5歳児」			
15	まとめ 「演習の振り返りとその先の課題」										
テキスト	小田 豊 奥野 正義 編著『人間関係』										
参考書・資料等	無藤 隆・岩立 京子 編著 事例で学ぶ 人間関係（萌文書林） 森上 史朗・小林 紀子・渡辺 英則 編著 保育内容 人間関係										
評価方法	定期試験（70％）、授業内活動（20％）、提出物（10％） 試験は定期試験期間中に実施する。										
履修上の注意等	実習場面にも応用できるように、具体的事例をもとに考え、まとめる工夫をしてほしい。										

科目番号	2242	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年後期	担当	佐藤睦子
科目名	環境								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 幼稚園教育要領及び保育所保育指針における保育の内容「環境」について理解を深める。</p> <p>テーマ 「環境を通して行う保育とは」をテーマに、保育者自身が子どもにとって最も影響力のある人的環境であることを自覚した上で、子ども理解に努め、望ましい環境を作っていく実践力を身につけられるよう、演習を通して学ぶ。</p>								
授業の概要	<p>子どもは自ら環境に働きかけるとともに、環境から働きかけられ影響を受けながら成長する。乳幼児期の子どもたちに必要な環境とはどのようなものなのか、保育者として子どもたちの育ちを支える環境を通しての援助について演習を通して学習する。</p>								
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）	
1	オリエンテーション 授業の概要について							資料プリントを整理し、ノートの作成をする	
2	領域「環境」の位置づけ 保育所保育指針及び幼稚園教育要領における「環境」の捉え方							授業後、ノートをまとめる	
3	子どもと環境のかかわり 身近な環境の捉え方(自然とのかかわりについての事例研究)							"	
4	子どもと環境のかかわり 身近な環境の捉え方(自然を感じる保育の指導案作成)							演習課題の提出	
5	子どもと環境のかかわり 身近な環境の捉え方(生き物とのかかわりについての事例研究)							授業後、ノートをまとめる	
6	子どもと環境のかかわり 身近な環境の捉え方(生き物とかかわる保育の指導案作成)							演習課題の提出	
7	子どもと環境のかかわり 保育室の役割・屋外環境(DVD視聴)							授業後、ノートをまとめる	
8	子どもと環境のかかわり 遊具、設備の安全上の配慮							"	
9	子どもと環境のかかわり 保育者の役割と環境構成							"	
10	好奇心、興味、関心を育てる環境 文字・数量概念への関心と保育環境							"	
11	好奇心、興味、関心を育てる環境 図形・標識と保育環境							"	
12	好奇心、興味、関心を育てる環境 文字・図形・数量・標識と保育環境(子どもへの興味関心を引き出す遊びの考案・教材づくり)							演習課題の提出	
13	地域にかかわる活動 園内外の行事・地域の人々との交流							授業後、ノートをまとめる	
14	環境から見た幼児教育の今日的課題							授業後、ノートをまとめる	
15	まとめ							演習課題の提出	
テキスト	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領								
参考書・資料等	必要に応じて資料プリントを配付する。								
評価方法	定期試験は行わないため、レポート課題を40%、及びその他の提出物(指導案や教材など)を60%とし評価します。								
履修上の注意等	自然環境や生活環境から季節を感じたり、その変化に気付き、楽しむことを日常の生活において意識してほしい。自身が子どもにとって影響力のある人的環境となることを学生のうちから意識し、普段の身だしなみや言葉遣い、表情や所作に表してほしい。								

科目番号	2243	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	島内智秋
科目名	言葉(1)								
課程	卒業必修		栄養士 保育士		栄養教諭 幼稚園教諭		医療 ベビーシッター		フードサイエンティスト
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 「幼稚園教育要領」の保育内容「言葉」の領域について理解する。</p> <p>テーマ 保育内容「言葉」の領域に関係する理論(言葉の意義、発達など)を理解する。 絵本・紙芝居などの保育教材の扱い方を理解し、それを実践しようとする。</p>								
授業の概要	幼稚園教育要領の領域「言葉」について、乳幼児期の言語的発達をふまえ、保育における子どもの言葉によるコミュニケーション、絵本などの文化財との関わり等の具体的な言葉に関わる保育内容の指導法を実践的に理解する。								
回	授 業 計 画							自主学習(授業前・授業後)	
1	幼稚園教育の特質、幼稚園教育要領における5領域、領域「言葉」とは							P1～P32を一読し質問を考えてくる	
2	領域「言葉」の歴史の変遷 領域「言葉」のねらい、内容、内容の取扱い							保育要領と幼稚園教育要領を一読	
3	乳幼児期の発達と領域「言葉」							P33～P50を一読し質問を考えてくる	
4	子どもの言葉の発達過程(1) - 言葉を生む基盤と話し言葉の発達の道筋 -							P51～P70を一読し質問を考えてくる	
5	子どもの言葉の発達過程(2) - 書き言葉の発達の道筋と小学校における書き言葉 正しく美しい平仮名を書く演習							書き方用鉛筆を準備、P121～P150を一読	
6	子どもの気持ちの理解と信頼関係の形成・保育実践もしくは模擬保育(言葉にならない言葉や上手く伝わらないもどかしさの読み取り)							P85-P120を一読し質問を考えてくる	
7	自分の気持ちや考えを表現すること、いろいろな表現の理解・保育実践もしくは模擬授業劇や物語を知る							P71-P84を一読し質問を考えてくる	
8	他者の言葉を親しみをもって注意してきくこと・保育実践もしくは模擬授業ごっこの世界から劇遊びへ							P151 - P161を一読し質問を考えてくる	
9	生活に必要な言葉を使うこと(挨拶など)、身につけていくための遊び演習・保育実践もしくは模擬授業							P162-170を一読し質問を考えてくる	
10	遊びの中で言葉による表現をすること、言葉の表現の演習・保育実践もしくは模擬授業歌や触れ合いを楽しむ遊び							『保育内容言葉』P75～P98資料を一読	
11	言葉による伝え合いをすること、伝え合える遊びの演習・保育実践もしくは模擬授業							『保育内容言葉』P99～P129資料を一読	
12	日常生活のなかで文字に親しみ関心を持つこと・お便り帳を書いてみよう・保育実践もしくは模擬授業							『保育者の伝える力』資料を一読	
13	言葉に対する感覚を豊かにする実践、想像やことばのリズムを楽しむ・保育実践もしくは模擬授業							『保育内容言葉』P153～P170事前資料を一読	
14	絵本・紙芝居の読み聞かせ 絵とことばの豊かな世界を楽しむ							『保育内容言葉』P114～P129事前資料を一読	
15	現代の子どもを取り巻く環境と「言葉」、特別な配慮が必要な幼児への指導を踏まえた「言葉」に関わる保育実践							P171～P185を一読し質問を考えてくる	
テキスト	幼稚園教育要領解説書・『事例で学ぶ保育内容 領域言葉無藤隆監修・高濱裕子編者代表 萌文書林								
参考書・資料等	『幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の成立と変遷』 民秋言著 萌文書林 『事例で学ぶ保育内容<領域>言葉』 無藤隆・高濱裕子 編 萌文書林								
評価方法	定期試験60%・課題レポート40% 試験は定期試験期間内に実施する								
履修上の注意等	振り返りカードを活用し、講義内容を復習すること。日頃から乳幼児の言葉環境に興味を持つこと。								

科目番号	2244	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年後期	担当	佐々木典彰		
科目名	言葉(2)										
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト		
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター				
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 子どもの発達における言葉の重要性を認識し、保育における言葉の工夫例や配慮点を具体的に考えることができる。</p> <p>テーマ 子どもに望まれる言葉の研究</p>										
授業の概要	<p>保育者の言葉がけに関する研究等にふれながら、将来保育者になった際の実践的な言葉がけについて学ぶ。自主学習は、授業後、次回の小テストに向けた復習を行い、必要に応じて、質問や意見を授業HPに投稿する。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習(授業後)			
1	「言葉」とは							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
2	子どもの言葉の特徴							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
3	子どもに伝わる言葉と伝わらない言葉							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
4	子どもにプラスの言葉とマイナスの言葉							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
5	非言語的コミュニケーション							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
6	子どもの言葉を引き出す言葉がけ(インリアルアプローチ)							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
7	ベテラン保育者ならではの言葉がけ							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
8	子どもの反応を引き出す言葉がけ(マザリーズ)							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
9	言葉がけのひと工夫(オノマトペ)							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
10	この場面であなたならどのような言葉がけをする？							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
11	連絡帳・通信での言葉(情報機器の活用を含む)							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
12	保護者支援のための言葉(情報機器の活用を含む)							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
13	保育者間の良好な人間関係のための言葉							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
14	親子間の言葉の現状と課題							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
15	振り返りとまとめ										
テキスト	プリントを配布する。										
参考書・資料等	幼稚園教育要領(平成29年告示 文部科学省)										
評価方法	毎回の小テスト(42%)およびレポート課題(58%)の合計点(100点満点)とする。										
履修上の注意等	小テストは、欠席・遅刻した場合、原則受けられない。 (特別の理由がある場合は相談すること)										

科目番号	2245	単位	(1)	授業形態	演習	開講時期	1年前期	担当	福土亜友子	
科目名	表現(1)・A									
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイ エンティスト	
			保育士		幼稚園教諭		ベビー シッター			
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 領域「表現」の指導に関する、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びを実践的に学び、幼児期の表現活動を支援するための知識・技能・表現力を身に付ける。</p> <p>テーマ 前期は、子どもの表現の事例、歌唱・声を中心とした表現活動などを学ぶ。</p>									
授業の概要	<p>保育者に必要な音楽知識、声や楽器で表現する力を身につける。 子どもの表現について事例を通して学ぶ。 子どもにとっての歌唱の意義とその支援について考える。</p>									
回	授 業 計 画								自主学习（授業前・授業後）	
1	オリエンテーション								必要に応じて各授業毎に指示する	
2	領域「表現」のねらい及び内容について								必要に応じて各授業毎に指示する	
3	保育者に求められる感性・表現力・創造力		音楽知識、子どもの模範となる声						必要に応じて各授業毎に指示する	
4	保育者に求められる感性・表現力・創造力		楽器での表現						必要に応じて各授業毎に指示する	
5	子どもの表現		子どもと表現						必要に応じて各授業毎に指示する	
6	子どもの表現		音楽的表現の発達						必要に応じて各授業毎に指示する	
7	子どもの表現		声と歌唱表現の発達						必要に応じて各授業毎に指示する	
8	子どもの表現		生活や遊びのなかでの音楽的表現						必要に応じて各授業毎に指示する	
9	子どもの表現		クラスでの音楽的表現						必要に応じて各授業毎に指示する	
10	歌唱・声を中心とした表現活動		わらべうた						必要に応じて各授業毎に指示する	
11	歌唱・声を中心とした表現活動		唱歌・童謡						必要に応じて各授業毎に指示する	
12	歌唱・声を中心とした表現活動		身体活動、視覚的教材						必要に応じて各授業毎に指示する	
13	歌唱・声を中心とした表現活動 歌唱活動		初めての曲に取り組む歌唱活動、歌い慣れた時期の歌唱活動						必要に応じて各授業毎に指示する	
14	歌唱・声を中心とした表現活動 支援		歌唱活動における環境、子どもの歌唱実態と保育者の支援						必要に応じて各授業毎に指示する	
15	まとめ								必要に応じて各授業毎に指示する	
テキスト	幼稚園教諭・保育士養成課程『幼児のための音楽教育』教育芸術社									
参考書・資料等	必要に応じて配布する									
評価方法	定期試験70%、グループワーク30%									
履修上の注意等	表現者としての自覚と積極性をもった姿勢									

科目番号	2245	単位	(1)	授業形態	演習	開講時期	1年後期	担当	福土亜友子	
科目名	表現(1)・A									
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイ エンティスト	
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター			
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 領域「表現」の指導に関する、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びを実践的に学び、幼児期の表現活動を支援するための知識・技能・表現力を身につける。</p> <p>テーマ 後期は、楽器遊びを中心とした表現活動、ICTを活用した音楽劇を実践する。</p>									
授業の概要	<p>日常の音遊びから合奏に発展する。 特別講座を通して五感を豊かにする。 ICTを活用した音楽劇を実践する。</p>									
回	授 業 計 画								自主学习（授業前・授業後）	
1	楽器遊びを中心にした表現活動	サウンドマップ作り							必要に応じて各授業毎に指示する	
2	楽器遊びを中心にした表現活動	サウンドスケープから効果音へ							必要に応じて各授業毎に指示する	
3	楽器遊びを中心にした表現活動	ボディパーカッション、言葉のリズム							必要に応じて各授業毎に指示する	
4	楽器遊びを中心にした表現活動	日常の遊びから合奏へ							必要に応じて各授業毎に指示する	
5	楽器遊びを中心にした表現活動	楽器の取り扱い方と奏法							必要に応じて各授業毎に指示する	
6	特別講座「音、色、アロマセラピー～五感を豊かにする活動～」								必要に応じて各授業毎に指示する	
7	ICTを活用した音楽劇	事例を通して学ぶ							必要に応じて各授業毎に指示する	
8	ICTを活用した音楽劇	保育に使用できるアイデアを考える							必要に応じて各授業毎に指示する	
9	ICTを活用した音楽劇	役割分担、パワーポイントにて製作							必要に応じて各授業毎に指示する	
10	ICTを活用した音楽劇	パワーポイントにて製作							必要に応じて各授業毎に指示する	
11	ICTを活用した音楽劇	リハーサル							必要に応じて各授業毎に指示する	
12	ICTを活用した音楽劇	発表							必要に応じて各授業毎に指示する	
13	保育科2年のミュージカル鑑賞								必要に応じて各授業毎に指示する	
14	幼児の表現活動と小学校音楽との関連性								必要に応じて各授業毎に指示する	
15	まとめ								必要に応じて各授業毎に指示する	
テキスト	幼稚園教諭・保育士養成課程『幼児のための音楽教育』教育芸術社									
参考書・資料等	必要に応じて配布する									
評価方法	定期試験70%、グループワーク30%									
履修上の注意等	表現者としての自覚と積極性をもった姿勢									

科目番号	2246		単位	(2)	授業形態	演習	開講時期	1年後期	担当	神 美香				
科目名	表現(1)・B													
課 程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療			フードサイエンティスト				
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター							
到達目標及びテーマ	<p>○到達目標 幼児造形教育の意義を理解し、基礎的な表現方法と技術を習得する。</p> <p>○テーマ 幼児の心に寄り添い、興味と楽しさ、のびのびとした想像力を育てる造形教育。</p>													
授業の概要	<p>幼児の発達段階に適した表現方法と技術を習得する。造形と絵本の読み聞かせの関わりを体験し、幼児とのコミュニケーション方法を学ぶ。</p>													
回	授 業 計 画								自主学習 (授業前・授業後)					
1	3歳児のための造形遊び	顔の表現							カッター、はさみ、ボンド、クレパス					
2	4歳児のための造形遊び	動物のコラージュ制作(紙をちぎる)							「動物」をテーマとした絵本を持参し、読み聞かせの練習をしておく。水のり、鉛筆、はさみ					
3	5歳児のための造形遊び	鳥のコラージュ制作(紙を裂く)							「鳥」をテーマとした絵本を持参し、読み聞かせの練習をしておく。水のり、鉛筆、はさみ					
4	3歳児のための粘土遊び	4家族の顔表札制作(半立体)							家族をテーマとした絵本を持参し、読み聞かせの練習をしておく。クレパス、木工用ボンド、はさみ					
5	3歳児のための絵画	天気を描く							天気をテーマとした絵本を持参し、読み聞かせの練習をしておく。絵の具一式、クレパス、水のり、はさみ					
6	4～5歳児の為の造形遊び	エリックカールの手法で描く動物制作							「動物」をテーマとした絵本を持参し、読み聞かせの練習をしておく。絵の具一式、水のり、はさみ					
7		エリックカールの手法で描く動物制作							「動物」をテーマとした絵本を持参し、読み聞かせの練習をしておく。絵の具一式、水のり、はさみ					
8	4～5歳児のための絵画	お話しの絵を描く							好きな絵本を持参し、読み聞かせの練習をしておく。絵の具一式、クレパス					
9	4～5歳児の為の粘土遊び	虫やちょう、さかななど、幼児の好きなワールドの制作(立体)							木工用ボンド、はさみ、クレパス					
10	4～5歳児同の為の造形遊び	クリスマスワールドの制作(立体)							木工用ボンド、はさみ、クレパス					
11	4～5歳児の為の造形遊び	お話しの世界を立体でつくる							好きな絵本を持参する。絵の具一式、カッター、はさみ、ボンド					
12		お話しの世界を立体でつくる							好きな絵本を持参する。絵の具一式、カッター、ハサミ、ボンド					
13	版画	3歳児の為の版画	スチレンボード版画								ボールペン			
14	版画(夫)	4～5歳時の為の版画	紙版画の版の制作(紙を切る、ちぎる、重ね方の工)								水のり、ハはさみ			
15	版画刷り	色を決め、刷り方、用具を理解して、刷る。								新聞紙1日分、カッター、タオル				
テキスト	なし													
参考書・資料等	必要に応じて、参考作品の提示、プリントを配布する。													
評価方法	提出物(70%) 受講態度(20%) レポート(10%)													
履修上の注意等	授業の終わりに作品提出を求めます。(完成しない場合は次週の授業終わりまで提出の事) 絵の具、はさみ、ボンドなどの道具は授業前に各自用意し、速やかに作業が進められるように準備して臨んで下さい。制作で汚れる場合がありますので、トレーニングウェア、エプロンの着用が望ましい。													

科目番号	2247	単位	(1)	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	小林由美子	
科目名	表現(2)・A									
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト	
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター			
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 乳幼児期に育みたい資質、能力を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける</p> <p>テーマ 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の「表現」のねらい及び内容を理解する 具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける</p>									
授業の概要	<p>季節の歌を覚えながら、子どもへの指揮の仕方、指示の与え方を学ぶ 0歳から2歳児までの発達に伴う歌遊びの指導法を知る 夏の歌の詩を考え、担当が曲を付け発表する</p>									
回	授 業 計 画								自主学習 (授業前・授業後)	
1	表現の授業について リズム練習 4月の歌 0歳児の歌遊び								季節の歌の伴奏ができるようにしてお	
2	リズム練習 4月の歌 0歳児の歌遊び								"	
3	リズム練習 4月の歌 0歳児の歌遊び								"	
4	リズム練習 5月の歌 1歳児の歌遊び								"	
5	リズム練習 5月の歌 1歳児の歌遊び								"	
6	リズム練習 5月の歌 1歳児の歌遊び								"	
7	リズム練習 0歳、1歳児の歌遊びの小テスト								"	
8	リズム練習 5月の歌 3歳児の歌遊び								"	
9	リズム練習 6月の歌 3歳児の歌遊び								"	
10	リズム練習 6月の歌 3歳児の歌遊び								"	
11	リズム練習 6月の歌 3歳児の歌遊び								"	
12	リズム練習 夏の歌 3歳児の歌遊び								"	
13	リズム練習 夏の歌 3歳児の歌遊び								"	
14	リズム練習 夏の歌 3歳児の歌遊び								"	
15	夏の歌 3歳児の歌遊びの小テスト								"	
テキスト	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領									
参考書・資料等	毎回手書きのプリントを配布する									
評価方法	小テスト(80%)、学習態度(20%)									
履修上の注意等	後期 B 80枚ほどプリント配布 専用のファイルを準備してほしい B5かA4 4ポケット)									

科目番号	2247	単位	(1)	授業形態	演習	開講時期	2年後期	担当	小林由美子
科目名	表現(2)・A								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 前期に引き続き、季節ごとの歌を覚え、簡易伴奏で伴奏できるようにする。リズム・合奏も年齢ごとに無理なくできるものを数多く身につける。</p> <p>テーマ 常にこどものことを考えて指導できる保育者になれるようしっかり身につけよう。</p>								
授業の概要	季節の歌、4,5歳向けの歌遊び、鍵盤ハーモニカの指導、リズム、楽器の使い方、合奏を行う								
回	授 業 計 画							自主学習(授業前・授業後)	
1	季節の歌、4,5歳児向け歌遊び、鍵盤ハーモニカ指導							学んだ内容をプリントで確認すること 季節の歌の伴奏ができるように準備する	
2	季節の歌、4,5歳児向け歌遊び、鍵盤ハーモニカ指導							"	
3	季節の歌、4,5歳児向け歌遊び、鍵盤ハーモニカ指導							"	
4	季節の歌、4,5歳児向け歌遊び、鍵盤ハーモニカ指導							"	
5	季節の歌、4,5歳児向け歌遊び、鍵盤ハーモニカ指導							"	
6	季節の歌、4,5歳児向け歌遊び、鍵盤ハーモニカ指導							"	
7	季節の歌、4,5歳児向け歌遊び小テスト							"	
8	季節の歌、4,5歳児向け歌遊び、楽器の使い方(大太鼓、鈴、クラベス)、合奏、リズム							"	
9	季節の歌、4,5歳児向け歌遊び、楽器の使い方(アコーディオン)、合奏、リズム							"	
10	季節の歌、4,5歳児向け歌遊び、楽器の使い方(ウッドブロック、バスキー)、合奏、リズム							"	
11	季節の歌、4,5歳児向け歌遊び、楽器の使い方(トライアングル、ハンドベル、トーンチャイム)、合奏、リズム							"	
12	季節の歌、4,5歳児向け歌遊び、楽器の使い方(カスタネット)、合奏、リズム							"	
13	季節の歌、4,5歳児向け歌遊び、楽器の使い方(シンバル)、合奏、リズム							"	
14	季節の歌、4,5歳児向け歌遊び、楽器の使い方(木琴、鉄琴、ギロ)、合奏、リズム							"	
15	季節の歌、4,5歳児向け歌遊び小テスト							"	
テキスト	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領								
参考書・資料等	毎回手書きのプリントを配布する								
評価方法	小テスト(80%)、学習態度(20%)								
履修上の注意等	後期 B 80枚ほどプリント配布 専用のファイルを準備してほしい B5かA4 4ポケット)								

科目番号	2248		単位	(2)	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	神 美香		
科目名	表現(2)・B											
課 程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療			フードサイエンティスト		
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター					
到達目標及びテーマ	<p>○到達目標 幼児造形教育における知識と技術、創造力を育てる指導方法を習得する。</p> <p>テーマ 幼児の心に寄り添い、興味と楽しさ、のびのびとした創造力を育てる造形教育。</p>											
授業の概要	紙しばい、おもちゃ等の制作により、幼児造形教育の教材とコミュニケーション方法を研究する。											
回	授 業 計 画								自主学習(授業前・授業後)			
1	想像世界の表現	お話しの世界を描く	水彩絵の具、アクリル絵の具	クレパス	それぞれの特性を知る						好きな絵本を持参する。絵の具一式、クレパス	
2		お話しの世界を描く	水彩絵の具、アクリル絵の具、クレパス		特性を活かして表現する						好きな絵本を持参する。絵の具一式、クレパス	
3					ステンシル技法を知り表現する						好きな絵本を持参する。鉛筆、カッター、絵の具一式	
4					ステンシル技法による制作						好きな絵本を持参する。鉛筆、カッター、絵の具一式	
5	飛び出す仕掛けカードの制作	飛び出す仕掛けを知り、工夫して誕生日カードを制作する									はさみ、のり、カッター、絵の具一式	
6	紙しばい制作	登場人物、ストーリーを考え、表現技法を決める									紙しばいのアイディアスケッチをしてくる。絵の具一式、クレパス、カッター、ボンド	
7		各自制作する(おおよそ8枚)									絵の具一式、クレパス、カッター、ボンド	
8		各自制作する									絵の具一式、クレパス、カッター、ボンド	
9		各自制作する									絵の具一式、クレパス、カッター、ボンド	
10		各自制作する									絵の具一式、クレパス、カッター、ボンド	
11	廃材利用の動くおもちゃ制作	お菓子の空き箱、トイレットペーパーの芯を使い、子どもが遊べるおもちゃを制作する									ボッキーなどの空き箱1個、トイレットペーパーの芯 5個、はさみ、のり、クレパス	
12	モビール制作	プラスチック板にアクリル絵の具で夏らしい涼気なモビールを制作する									はさみ、油性ペン黒、アクリル絵の具一式	
13	研究課題	教育実習で幼児との共同制作を想定し、テーマ、材料、制作の内容を研究する。									はさみ、絵の具一式	
14		計画に沿って制作する									はさみ、絵の具一式	
15		発表し、意見交換、評価し合う。									はさみ、絵の具一式	
テキスト	なし											
参考書・資料等	必要に応じて配布する。											
評価方法	提出物70% 定期試験0% 授業態度10%											
履修上の注意等	授業の際は毎回、はさみ、のり、絵の具一式を持参し、速やかに作業できるように授業前に揃えておく事。作業がスムーズに出来るように、トレーニングウェア、またはエプロンを着用することが望ましい。											

科目番号	2249	単位	(2)	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	工藤勝子
科目名	表現(2)・C								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標及びテーマ	到達目標 着物を正しく着て、立ち居振る舞いを覚え、日本舞踊の基本を理解し、幼児に指導できるようになる事。 テーマ 伝統文化の伝承								
授業の概要	礼儀作法から入り、着物の着方、立ち居振る舞いを覚え、邦楽、文学に親しむ。								
回	授 業 計 画							自主学習(授業前・授業後)	
1	講義・日本舞踊とは ビデオ鑑賞 幼児(男児・女子)の舞踊について 人間の四肢五体で喜怒哀楽を表現する芸術である事を理解する							文献や映像資料等で日本舞踊の知見を深めること	
2	実技・日本舞踊の稽古とは 正しい姿勢、歩き方、座り方、お辞儀の仕方、立ち方 礼儀作法、立ち居振る舞い、扇の基本曲“はなばたけ”稽古。以降毎回							文献や映像資料等で日本舞踊の知見を深めること	
3	実技・舞扇とは 着物の知識 扇子の持ち方4種、開き方2種、閉じ方2種、着物の着方、たたみ方によって日本の民族衣装であることを認識・理解する。							文献や映像資料等で日本舞踊の知見を深めること	
4	実技・着物の知識 帯結び一種、動きの基本曲“うさぎうさぎ”の稽古。以降毎回							文献や映像資料等で日本舞踊の知見を深めること	
5	実技・着物を正しく着る 着物の着方、女兒向きの曲稽古。足のつき、すり足、おすべり、型、拍子							文献や映像資料等で日本舞踊の知見を深めること	
6	実技・着物を美しく着て舞う 着物の着方、 袖、袂の扱い方							文献や映像資料等で日本舞踊の知見を深めること	
7	実技・舞扇を正しく扱う 着物のはしりを整える。帯結び2種、扇技法3種							文献や映像資料等で日本舞踊の知見を深めること	
8	実技・基本の動きの習得 着物を着る。かむろ歩き。腰をおっての稽古							文献や映像資料等で日本舞踊の知見を深めること	
9	実技・基本の動きの確認 着物を着る。ひざを使つての稽古							文献や映像資料等で日本舞踊の知見を深めること	
10	実技・間と目線 着物を着る。目線、角度、首振、重心のかけ方、肩、ひじの使い方 手・指の用語							文献や映像資料等で日本舞踊の知見を深めること	
11	実技・テストに向けて仕上げ 着物を着る。曲に合わせて個々に確認する。							文献や映像資料等で日本舞踊の知見を深めること	
12	実技テスト 着物の着方、基本曲と練習曲の評価。美しく浴衣が一人で着れて正確にたためるようになる。							文献や映像資料等で日本舞踊の知見を深めること	
13	実技テスト予備日 着物の着方、基本曲と練習曲の評価 袴の着付けの講習							文献や映像資料等で日本舞踊の知見を深めること	
14	実技 着物を着る。基本の動き、男児・女兒の違いを知る							文献や映像資料等で日本舞踊の知見を深めること	
15	講義・ビデオ 代表的な歌舞伎舞踊と幼児発表を鑑賞 プリント“日本舞踊のまとめ” 幼児の表現に対する評価							文献や映像資料等で日本舞踊の知見を深めること	
テキスト	なし								
参考書・資料等	講義の際、資料を作成して配布する。								
評価方法	実技 50点、レポート 50点								
履修上の注意等	特になし								

科目番号	2250	単位	2	授業形態	演習	開講時期	2年後期	担当	島内智秋
科目名	保育内容指導法								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 ・保育の全体構造の理解に基づいて「養護」と「教育」を総合的に捉える。・実習の経験をもとに話し合い、子ども理解や保育の計画や方法について理解する。</p> <p>テーマ ・保育全体の構造を学び、バランスのとれた保育内容が子どもの健やかな成長に繋がることを理解し、子どものためのよりよい指導方法を考える。</p>								
授業の概要	幼稚園教育要領・保育所保育指針の保育内容をよく理解し、子どもの主体性を育む保育と保育者の関わりの関係性を学ぶ。								
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）	
1	オリエンテーション 幼稚園・保育所・認定こども園の教育・保育の基本 保育内容と保育方法を理解する							1章を事前に一読してくる	
2	見える援助と見えない援助・保育における観察と記録 指導方法と教育効果の関連性 乳幼児期の発達と幼稚園教育・保育の方法的特質							講義後、レポートを提出すること	
3	教育・保育の基盤となる子ども理解 発達の違いに合わせた指導方法と援助方法							2章を事前に一読してくる	
4	幼児期のふさわしい生活の展開 主体性を育む保育について 領域「健康」について							6章を事前に一読してくる	
5	環境を通しての教育 環境を通しての学び 領域「環境」について							3章を事前に一読してくる	
6	環境を通しての教育 環境構成の実際 遊びの展開に応じた環境の再構成							講義後、レポートを提出すること	
7	遊びを通しての指導 乳幼児期の発達と遊び 領域「人間関係」について[5歳児のヒミツ] DVD							4章を事前に一読してくる	
8	遊びを通しての指導 乳幼児期の遊びの生成と展開 領域「言葉」について							講義後、レポートを提出すること	
9	遊びを通しての指導 乳幼児期の遊びに対する援助 領域「表現」について							講義後、レポートを提出すること	
10	保育における個と集団の関係							5章を事前に一読してくる	
11	発達の時期に応じた指導・援助のあり方							7章・8章を一読しておく	
12	保育の計画の実際(教育課程・長期計画・短期計画)							9章を一読しておくこと 指導案を提出する	
13	行事を生かした保育の展開							講義後、レポートを提出すること	
14	乳幼児教育・保育における家庭・地域連携のあり方 お便り帳の書き方							10章・11章を一読しておく	
15	保育実践を高める省察・カンファレンス 配慮を要する子どもへの保育内容							12章を一読しておく	
テキスト	「保育方法・指導法」大豆生田啓友・渡辺英則・森上志朗 編 ミネルヴァ書房「幼稚園教育要領解説書」 文部科学省 保育所保育指針 厚生労働省								
参考書・資料等	「幼児教育指導法 - 保育における援助の方法 - 」阿部明子・中田カヨ子編著 保育のプロセスの質 評価 スケール 石川・シラージ+デニス・キングストン+エドワード・メルウィッシュ 著 明石書店 ほか								
評価方法	期末テスト(60%)、指導案・レポート(40%)の総合評価 試験は定期試験期間内に実施する								
履修上の注意等	子どもにとって、より良い具体的な指導方法を考え、現場での実践へ備えること。								

科目番号	2251	単位	2	授業形態	講義	開講時期	2年前期	担当	佐々木典彰		
科目名	成長相談										
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイ エンティスト		
			保育士		幼稚園教諭		ベビー シッター				
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 子どものさまざまな行動の意味を心理学を活かして説明することができる。</p> <p>テーマ 子どものさまざまな事例を心理学の視点からみる(カウンセリングマインドを含む)。</p>										
授業の概要	<p>毎回、子どもの事例(プリント)が配布され、各自回答する。その後、心理学の視点から解説される。 随時、関連するニュースや研究例も紹介される。 自主学習は、授業後、次回の小テストに向けた復習を行い、必要に応じて、質問や意見を授業HPに投稿する。</p>										
回	授 業 計 画							自主学習(授業後)			
1	観察実習・施設実習の振り返り							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
2	・小テスト ・年齢ごとの心理的特徴							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
3	・小テスト ・入園初期にみられる子							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
4	・小テスト ・行動が荒っぽい子							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
5	・小テスト ・集団に入れない子・入らない子							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
6	・小テスト ・子どもにとっての「男らしさ」「女らしさ」							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
7	・小テスト ・けんかをする子							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
8	・小テスト ・行事を嫌がる子							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
9	・小テスト ・造形表現が苦手な子							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
10	・小テスト ・言葉の少ない子							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
11	・小テスト ・年度末に向けて心配が残る子							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
12	・小テスト ・子どもにとっての生き物の生と死							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
13	・小テスト ・気になる保護者							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
14	・小テスト ・発達障害が疑われる子							・次回の小テストに向けた復習 ・質問や意見の投稿			
15	・小テスト ・振り返りとまとめ										
テキスト	プリントを配布する。										
参考書・資料等	ラボム編集部 編 「心の保育を考えるcase 67」 学研										
評価方法	小テスト(42%)およびレポート課題(58%)の合計点(100点満点)を最終成績とする。										
履修上の注意等	小テストは、欠席・遅刻した場合、原則受けられない。 (特別の理由がある場合は相談すること)										

科目番号	2252	単位	2	授業形態	演習	開講時期	2年後期	担当	笹森雅子 兼平友子
科目名	教職実践演習(幼)								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイ エンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビー シッター		
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 教員の職務についての基本的な事項を理解した上で、教育に対する使命感や情熱を持ち、教員としての資質能力を高めようとする。</p> <p>テーマ 将来教員になる上での自分の課題を自覚し、不足している知識や技術等を補い、教職生活を円滑にスタートさせるための準備をする。</p>								
授業の概要	<p>教師として求められる 使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 社会性や対人関係能力に関する事項 幼児理解や学級経営等に関する事項 保育内容等の指導力に関する事項等に関して、グループ討議、ロールプレイング、模擬保育等を行いながら教員としての実践力を高めていく。</p>								
回	授 業 計 画							自主学習(授業前・授業後)	
1	教職論 これまでの講義や教育実習を振り返りながら、教員としての使命感や責任感、教育的愛情の重要性について深める。							授業後に教育実習についてのグループ反省の資料を作成する	
2	教職論 前回の実習の振り返りから、子ども理解、教員の役割を理解する。							授業後、実習の反省資料を基にグループ内で発表の練習する	
3	教職論 2年生から1年生へ教育実習体験を伝える中で、子ども理解、教員の役割、保育内容について理解を深める。							事前に実習について1年生に伝えることを整理しておく	
4	保育指導 これまでの講義や実習を振り返りながら、指導計画(年間指導計画・月案・週案・日案)の意味と作成上の留意点を確認し、グループごとに指導案を作成する。							事前に指導案、教材作成に必要な材料を準備しておく	
5	保育指導 グループごとに指導案を作成、教材研究を行い指導の展開を工夫する。							授業前後、グループごとに模擬保育の準備をする	
6	保育指導 グループで立案した指導計画をもとに模擬保育を行い(3歳児対象)、保育内容の研究を深める。							授業後、模擬保育から学んだことのレポートを提出する	
7	保育指導 グループで立案した指導計画をもとに模擬保育を行い(4歳児対象)、保育内容の研究を深める。							授業後、模擬保育から学んだことのレポートを提出する	
8	保育指導 グループで立案した指導計画をもとに模擬保育を行い(5歳児対象)、保育内容の研究を深める。							授業後、模擬保育から学んだことのレポートを提出する	
9	幼稚園運営 園務運営、教職員間の連携・協働の重要性について理解を深める。							授業後、復習を行い理解を深める	
10	幼稚園運営 学級経営、学級環境づくり、子どもへの対応について理解し、学級経営案を作成する。 ゲストスピーカー							授業後、復習を行い理解を深める	
11	幼稚園運営 家庭との連携、保護者への対応について理解を深める。							授業後、復習を行い理解を深める	
12	現代の教育課題 特別な支援を要する子どもへの対応について理解を深める。 ゲストスピーカー							授業後、復習を行い理解を深める	
13	現代の教育課題 今日的な教育課題(主に学校、家庭、地域社会との連携等)に関して、事例検討やロールプレイングを通して、個々の子どもの特性や子ども理解を深める。							授業後、事例検討したことについてのレポートを提出する	
14	現代の教育課題 今日的な教育課題(主に子ども理解等)に関して、事例検討やロールプレイングを通して、個々の子どもの特性や子ども理解を深める。							授業後、事例検討したことについてのレポートを提出する	
15	教職論 これまでの講義を踏まえて、今日教員に求められる資質能力、教員の役割等から、目指す教師像について確立する。							授業後、これまでの講義を踏まえて小論文を提出する	
テキスト	使用しない。								
参考書・資料等	「幼稚園教育要領(平成29年告示)」フレーベル館 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年告示)」フレーベル館								
評価方法	講義中のグループ活動(10%)、レポート課題(10%)、指導案(20%)、模擬授業(20%)小論文(40%)の総合評価で行う。								
履修上の注意等	2年間の総まとめであることを自覚し、教員としての円滑なスタートができるように、向上心を持って臨むこと。								

科目番号	2253	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	笹森雅子 兼平友子	
科目名	教育実習事前事後指導									
課程	卒業必修		栄養士		栄養 教諭		医療		フードサイ エンティスト	
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター			
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 教育実習の意義・目的・内容・方法について理解する。 実習記録や指導案作成の意義・方法を理解し、実習時に円滑に記述することができる。 実習園の概要について説明できる。</p> <p>テーマ 幼稚園の理解および幼児と保育を主眼とした観察方法と記録のしかた</p>									
授業の概要	<p>・教育実習を円滑に進めていくために、教育実習の意義・目的・内容・方法について理解する。 ・実習時に幼児と保育の本質理解を深めるための観察や記録の方法を具体的に学習する。 ・1年次の実習体験をもとに、実習に対するイメージを明確にする。</p>									
回	授 業 計 画								自主学习 (授業前・授業後)	
1	オリエンテーション 教育実習の意義・目的・内容・方法を説明する。									
2	幼稚園とは 幼稚園教育の基本・目的・意義について復習する。									
3	幼稚園とは 同 上									
4	幼稚園とは 幼稚園のカリキュラムについて説明する。									
5	幼稚園とは 幼稚園の現状と課題について説明する。									
6	幼稚園とは 幼稚園の1日の流れ(デーリープログラム)と行事について説明する。									
7	幼稚園とは 幼児の成長のために適当な環境を考え、教員の役割を認識させる。									
8	実習段階と学習目標 実習段階にしたがって、観察・参加実習の目標を認識させる。									
9	実習段階と学習目標 実習段階にしたがって、部分・全日実習の目標を認識させる。									
10	実習段階と学習目標 各実習における観察方法のポイントを把握する。									
11	記録のしかた 話し言葉と書き言葉の別を明確にし、実習記録や指導案作成にふさわしい文体表現を演習する。									
12	記録のしかた 正確に伝えるために、主語と述語をはっきりと明記し、接続詞の正しい用い方を演習する。									
13	記録のしかた 実習にふさわしい記述として、主観と客観の区別を認識させ、客観的視点で記録するよう説明する。									
14	記録のしかた 自分が作成した実習日誌や指導案を文章校正する必要性を認識させる。									
15	実習直前の具体的な準備と実習中の注意点を確認する。									
テキスト	なし									
参考書・資料等	資料を配付する。									
評価方法	授業ノートの評点により評価する。									
履修上の注意等	教育実習に向けての事前の準備であることを自覚して臨むこと。									

科目番号	2253	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年後期	担当	笹森雅子 兼平友子		
科目名	教育実習事前事後指導										
課程	卒業必修		栄養士		栄養 教諭		医療		フードサイ エンティスト		
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター				
到達目標 及びテーマ	到達目標 実習後のふり返りから、客観的に自己評価できる。 お互いの報告を聴き合い、各自の課題を明らかにする。 教 職者としての専門性を目指していく。 テーマ 実習後の自己発見と自己評価 より確かな進路選択										
授業の概要	・自分と他の学生の実習をふり返り、今後の新しい各自の課題について考察する。 ・保育に必要な知識や判断力を習得する。										
回	授 業 計 画							自主学習（授業前・授業後）			
1	実習後のふり返り グループごとに自分と他の学生の実習をふり返り、実習の反省点をまとめる。										
2	実習後のふり返り グループごとに実習の反省点をまとめ、資料を作成する。							実習反省資料を作成する			
3	報告会 実習体験を1年生に伝えることを通して実習を振り返り、今後の課題を把握する。										
4	実習後の自己評価 実習園の評価と自己評価を確かめ、自分の課題を知る。										
5	実習後の自己評価 実習を振り返り、まとめる。							レポート提出			
6	幼児理解と援助 子ども理解について(事例研究)										
7	幼児理解と援助 子ども理解について(事例研究)										
8	幼児理解と援助 子ども同士のトラブル対応について(事例研究)										
9	幼児理解と援助 子どもと保育者の関係づくりについて(事例研究)										
10	幼児理解と援助 子どもと保育者の関係づくりについて(事例研究)										
11	幼児理解と援助 家庭との連携、保護者との対応について(事例研究)										
12	教育課題 教育課題(子どもの傾向から見える課題)について考察し、考えをまとめる。							レポート提出			
13	教育課題 教育課題(子ども、保育者、家庭との関係)について考察し、考えをまとめる。							レポート提出			
14	教育課題 教師のあり方について考えをまとめる。							レポート提出			
15	まとめ これまでのまとめと目指す教師像							レポート提出			
テキスト	なし。										
参考書・資料等	資料を配付する。										
評価方法	提出物の評点により評価する。										
履修上の注意等	実習後のまとめの講義であることを自覚して臨むこと。										

科目番号	2254	単位	4	授業形態	実習	開講時期	集中	担当	教職課程委員会	
科目名	教育実習									
課程	卒業必修		栄養士		栄養 教諭		医療		フードサイ エンティスト	
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター			
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 学内で学んだ専門知識や技能を現場において総合的に実践し、子どもとのふれ合いを通して教師の職務を体験し、応用力を身につける。</p> <p>テーマ 幼児教育の内容や幼稚園の機能、教師の役割を具体的に学ぶ。</p>									
授業の概要	<p>・1年次6月の柴田幼稚園における2日間観察実習から学習の動機をつかみ、1年間の専門知識・保育技術の習得を経て本実習として実地におもむき、幼児教育の内容や幼稚園の機能、教師の役割を具体的に学ぶ。</p>									
回	授 業 計 画								自主学习 (授業前・授業後)	
1	<p>各幼稚園での実習]</p> <p>実習期間 平成30年9月4日(火)～9月27日(木)</p> <p>実習の内容と方法</p> <p>3週間の実習では観察・参加・指導(部分実習・全日実習)の段階目標に従って学ぶ。</p> <p>(1) 観 察 : 子供や保育の基礎的、全般的な状況の把握 配属クラス、園舎内、園庭の見学・観察 各クラス(年少・年中・年長)の見学・観察</p> <p>(2) 参 加 : 保育者の指導計画と指導方針に基づく補助的な活動への参加 日常繰り返す活動(登園・降園時の活動、給食、排泄、手洗い等)への補助 一つのまとまりを持った活動(紙芝居、集団遊び等)への参加</p> <p>(3) 指 導 : 実習生の指導計画と準備に基づく主体的な保育活動の実践 指導計画の作成と保育活動の展開に対する自己評価 教材・遊具・用具等、環境構成に関する準備</p>									
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
テキスト	「幼稚園・保育所実習の手引」 東北女子短期大学 教職課程委員会・保育士課程委員会編									
参考書・資料等	必要に応じて資料を配付する。									
評価方法	実習先の評価(60%) 実習日誌(40%)									
履修上の注意等	学外実習は、実習施設と本学の緊密な進路・協議のもとに行われるので、実習生は事前の準備を十分にして、責任をもって臨んで下さい。									

科目番号	2255	単位	4	授業形態	実習	開講時期	集中	担当	保育士課程委員会	
科目名	保育実習(1)									
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイ エンティスト	
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター			
到達目標 及びテーマ	到達目標 授業で学んだ知識や技能を基礎とし、観察・参加実習を通して 保育所の機能や役割の具体的理解 観察や子どものかかわりを通しての子ども理解 子どもの保育及び保護者への支援 保育の計画、観察、記録及び自己評価等についての具体的理解 保育士の業務内容や職業倫理などの具体テーマ 子ども理解を深めながら、保育所の機能や保育士の役割について具体的に学ぶ。									
授業の概要	保育現場において、授業で学んだ専門知識や技能を総合的に実践し、子どもとのふれあいを通じて保育士の職務を体験的に学習する。									
回	授 業 計 画								自主学习（授業前・授業後）	
1	【保育所実習】2単位									
2	実習期間：平成30年9月19日～9月27日（7日間）									
3	実習施設：履修者の希望を基に実習先を決定する。									
4	実習形態： 観察実習 参加実習を中心に実施する。									
5	観察実習 各クラスの見学・観察、園舎内・園庭の観察									
6	参加実習 配属クラスでの保育参加									
7	実習内容									
8	1．保育所の役割と機能									
9	(1) 保育所の生活と一日の流れ (2) 保育所保育指針の理解と保育の展開									
10	2．子ども理解									
11	(1) 子どもの観察とその記録による理解 (2) 子どもの発達過程の理解									
12	(3) 子どもへの援助やかかわり									
13	3．保育内容・保育環境									
14	(1) 保育の計画に基づく保育内容 (2) 子どもの発達過程に応じた保育内容									
15	(3) 子どもの生活や遊びと保育環境 (4) 子どもの健康と安全									
16	4．保育の計画・観察・記録									
17	(1) 保育課程と指導計画の理解と活用 (2) 記録に基づく省察・自己評価									
18	5．専門職としての保育士の役割と職業倫理									
19	(1) 保育士の業務内容 (2) 職員間の役割分担や連携 (3) 保育士の役割と職業倫理									
20	実習期間中に保育士課程委員会の教員が実習先を訪問し、学生との面談を通して指導・助言をする。									
21										
22										
23										
24										
25										
テキスト	「幼稚園・保育所実習の手引」 東北女子短期大学 教職課程委員会・保育士課程委員会編									
参考書・資料等	必要に応じて資料を配付する。									
評価方法	実習先からの評価（60％）実習日誌の内容評価（40％）									
履修上の注意等	実習の意義・目的・内容を十分に理解したうえで、事前準備をしっかりと整えて実習に臨むこと。									

科目番号	2255	単位	4	授業形態	実習	開講時期	集中	担当	保育士課程委員会	
科目名	保育実習(1)									
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト	
			保育士		幼稚園教諭		ベビシッター			
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 授業で学んだ知識や技能を基礎とし、福祉施設の現場において 福祉施設(種別)の機能や役割 利用者の状況把握 福祉施設の一日の流れ等を体験を通して学ぶ。</p> <p>テーマ 福祉施設の機能や役割を理解しながら、体験を通じて支援のあり方を学ぶ。</p>									
授業の概要	<p>児童福祉施設の現場において、授業で学んだ専門知識や技能を総合的に実践し、児童・利用者とのふれあいを通じて保育士の職務を体験的に学習する。</p>									
回	授 業 計 画								自主学習(授業前・授業後)	
1	<p>【施設実習】2単位</p> <p>実習期間：2～3月(概ね10日間 90時間)</p> <p>実習施設：履修者の希望を基に配属先を決定する。</p> <p>実習形態：参加実習を中心に実施する。</p> <p>実習内容</p> <p>1. 施設の役割と機能</p> <p>(1) 施設の生活と一日の流れ(2) 施設の役割と機能</p> <p>2. 子ども理解</p> <p>(1) 子どもの観察とその記録(2) 個々の状態に応じた援助やかかわり</p> <p>3. 養護内容・生活環境</p> <p>(1) 計画に基づく活動や援助(2) 子どもの心身の状態に応じた対応</p> <p>(3) 子どもの活動と生活の環境(4) 健康管理、安全対策の理解</p> <p>4. 計画と記録</p> <p>(1) 支援計画の理解と活用(2) 記録に基づく省察・自己評価</p> <p>5. 専門職としての保育士の役割と倫理</p> <p>(1) 保育士の業務内容(2) 職員間の役割分担や連携(3) 保育士の役割と職業倫理</p> <p>実習期間中に保育士課程委員会の教員が実習先を訪問し、学生との面談を通して指導・助言をする。</p>									
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
テキスト	「幼稚園・保育所実習の手引」 東北女子短期大学 教職課程委員会・保育士課程委員会編									
参考書・資料等	必要に応じて資料を配付する。									
評価方法	実習先からの評価(60%)実習日誌の内容評価(40%)									
履修上の注意等	実習の意義・目的・内容を十分に理解したうえで、事前準備をしっかりと整えて実習に臨むこと。									

科目番号	2256	単位	2	授業形態	演習	開講時期	1年前期	担当	笹森雅子	
科目名	保育実習指導(1)									
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイ エンティスト	
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター			
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 保育実習の意義・目的・内容・方法について理解する。 実習記録や指導案作成の意義・方法を理解し、実際に作成することができる。 実習施設の概要について説明できる。</p> <p>テーマ 保育所をはじめとする福祉施設の理解と保育士の役割の考察～保育実習の準備とふり返り</p>									
授業の概要	<p>・保育実習を進めていくために、保育所実習及び施設実習の意義・目的・内容・方法について理解する。 ・事前指導として保育実習の知識や技術を習得するための講義と演習を行う。 ・事後指導として実習のふり返り、自身の課題と改善点を明確に評価する。</p>									
回	授 業 計 画								自主学習（授業前・授業後）	
1	実習の意義・目的・内容・方法 実習の意義・目的・内容・方法とあわせて本学の実習概要を説明し、実習を迎える準備をする。									
2	実習の意義・目的・内容・方法 実習の具体的な内容や段階を詳しく説明し、実習に対する意識を明確にする。									
3	保育所実習 保育所の意義・役割について説明する。									
4	保育所実習 保育所と幼稚園、認定子ども園のそれぞれの意義・役割を説明する。									
5	保育所実習 保育所の一日の生活(デイリー・プログラム)や保育士の役割・仕事内容を説明する。									
6	施設実習 施設の意義・役割について理解する。									
7	施設実習 施設実習における役割を理解した上で、個々の実習配属先を具体的に検討する。									
8	実習に必要な書類の作成について説明する。									
9	実習生としての心構え 子ども理解の重要性を認識させ、その目的と方法を説明する。									
10	実習生としての心構え 実習先の特色を理解し、実習に向けての具体的な準備と課題意識を明確にする。									
11	観察方法と実習記録 実習での観察方法やポイントを具体的に説明する。									
12	観察方法と実習記録 実習記録の意義を踏まえ、記録内容や方法を説明する。									
13	観察方法と実習記録 実習記録の記述に関する留意事項を挙げ、実際の記録に適用できるよう解説する。									
14	実習中に必要な留意点を確認する。									
15	実習をふり返り、自己評価および課題を明確にする必要性を認識させる。									
テキスト	なし									
参考書・資料等	必要に応じて資料を配付する。									
評価方法	提出物(ノート・レポート課題等)を総合して評価する。									
履修上の注意等	他の講義内容と関連させながら、実習に対する知識と理解を深めること。									

科目番号	2257	単位	2	授業形態	実習	開講時期	集中	担当	保育士課程委員会		
科目名	保育実習(2)										
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイ エンティスト		
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター				
到達目標 及びテーマ	到達目標 保育実習(1)での体験を基に、授業で学んだ知識や技能を応用させながら、保育活動の計画を立案・実践し、保育士として必要な資質・能力・技術を身につける。 テーマ 保育全般に参加しながら体験を通じて保育士の役割を学ぶ。										
授業の概要	保育現場において、授業で学んだ専門知識や技能を応用させながら総合的に実践し、子どもとのふれあいを通じて保育士の職務を体験的に学習する。										
回	授 業 計 画							自主学习(授業前・授業後)			
1	実習期間:平成30年8月16日～8月30日(13日間)										
2	実習施設:履修者の希望を基に実習先を決定する 保育実習(1)の実習園と同一園とする										
3	実習形態: 観察実習 参加実習 部分実習 全日実習 観察実習 子どもの保育の基礎的、全般的な状況の把握										
4	参加実習 保育者の指導計画と指導方針に基づく補助的な活動への参加 部分実習 一日の保育活動のうち、ある特定の活動に関する指導の実践										
5	全日実習 一日の保育活動すべてに関する総合的な指導の実践 実習内容										
6	1. 保育所の役割や機能の具体的理解 (1) 養護と教育が一体となって行われる保育(2) 保育所の社会的役割と責任										
7	2. 観察に基づく保育理解 (1) 子どもの心身の状態や活動の記録(2) 保育士等の動きや実践の観察										
8	(3) 保育所の生活の流れや展開の把握										
9	3. 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携 (1) 環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育の理解										
10	(2) 入所している子どもの保護者支援及び地域の子育て家庭への支援 (3) 地域社会との連携										
11	4. 指導計画の作成・実践・観察・記録・評価 (1) 保育課程に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解										
12	(2) 作成した指導計画に基づく保育実践と評価										
13	5. 保育士の業務と職業倫理 (1) 多様な保育の展開と保育士の業務										
14	(2) 多様な保育の展開と保育士の職業倫理										
15	6. 自己の課題の明確化 実習期間中に保育士課程委員会の教員が実習先を訪問し、学生との面談を通して指導・助言をする。										
テキスト	「幼稚園・保育所実習の手引」 東北女子短期大学 教職課程委員会・保育士課程委員会編										
参考書・資料等	必要に応じて資料を配付する。										
評価方法	実習先からの評価(60%)実習日誌の内容評価(40%)										
履修上の注意等	実習の意義・目的・内容を十分に理解したうえで、事前準備をしっかり整えて実習に臨むこと。										

科目番号	2258	単位	1	授業形態	演習	開講時期	2年前期	担当	田中 恵
科目名	保育実習指導(2)								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイ エンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 保育実習の意義と目的を理解し、保育実習(1)での自己評価をもとに自己課題を明確にしたうえで、保育について総合的に学びながら保育実践力を培う。</p> <p>テーマ 保育実習(1)の体験を振り返り、実習の意義と目的の理解を深化させ、さらには保育士理解・保育内容を総合的に学ぶ。</p>								
授業の概要	<p>保育実習(1)での体験を振り返りながら、自己の課題を明確にしたうえで、保育実践に向けて具体的な指導計画の作成や保育士の専門性と職業倫理等について学習する。</p>								
回	授 業 計 画							自主学習(授業前・授業後)	
1	実習の意義・目的・内容の理解 保育実習(1)の体験を振り返り、自らの課題を明確にする。							保育実習の振り返り(プリント記入)	
2	実習の意義・目的・内容の理解 保育実習(1)の体験を振り返り、自らの課題を明確にする。							保育実習の振り返り(プリント記入)	
3	(保育の具体的理解)子どもの最善の利益を考慮した保育について考える。							子どもの最善の利益について考える。	
4	(保育士の理解)保育士の業務内容や職業倫理について学ぶ。							保育士の職業倫理について考える。	
5	実習の形態と意義 観察実習 参加実習 部分実習 全日実習の意義と具体的な内容について学ぶ。							保育実習の振り返り	
6	(実習に必要な書類作成)実習先に提出する必要書類の作成や事務手続きの方法を知る。							提出書類の記入項目について考える。	
7	実習記録の方法 記録の意義を理解し、記録の書き方について具体的に学ぶ。							保育実習(1)の日誌を振り返る。	
8	実習記録の方法 記録の意義を理解し、記録の書き方について具体的に学ぶ。							保育実習(2)の目標を考える。	
9	指導計画作成の実際 指導案の必要性を理解し、作成のためのねらい、活動内容、配慮点を考える。							活動内容を考える。	
10	指導計画作成の実際 発達年齢に合った指導案作成のためのねらい、活動内容、配慮点を考える。部分実習の指導案を作成し、添削を受ける。							指導案を作成する。	
11	指導計画作成の実際 具体的な活動例に沿った指導案作成のためのねらい、活動内容、配慮点を考える。							活動内容を考える。	
12	指導計画作成の実際 発達年齢に合った指導案作成のためのねらい、活動内容、配慮点を考える。							指導案を作成する。	
13	指導計画作成の実際 指導案作成上の問題点について質疑応答をし、さらに理解を深める。							指導案を作成する。	
14	(実習中の心得)実習中の心構えを具体的に理解し、実習に対しての目的意識を高める。							講義内容をノートにまとめる。	
15	(実習後の振り返り)実習後には振り返りを行い、今後の課題を明確にする。							講義内容をノートにまとめる。	
テキスト	なし								
参考書・資料等	必要に応じて資料を配付する。								
評価方法	授業ノート(40%)レポート課題(60%)を総合して評価する。								
履修上の注意等	他の講義内容と関連させながら保育に関する知識を深めること。								

科目番号	2301		単位	-	授業形態	-	開講時期	1年前期	担当	小林 由美子	
科目名	学習サポート(音楽)										
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイ エンティスト		
			保育士		幼稚園 教諭		ベビー シッター				
到達目標 及びテーマ	<p>到達目標 ピアノ初心者が楽典を理解し、「音楽(1)」「表現(1)・A」の科目を、より円滑に受講できることを目標とする</p> <p>テーマ 初心者の中でも、幼稚園教諭、保育士、保育教諭として必要な弾き歌いが特に困難な学生に、ピアノ、歌唱技術の習得をサポートする</p>										
授業の概要	<p>音楽(1)の中で少し弾きにくい弾き歌いの曲を、時間をかけて右、左に分けて何度も練習し、レパートリーにできるようにする</p> <p>合格できるまで頑張る</p>										
回											自主学习(授業前・授業後)
1											
2	初回ガイダンス	読譜の練習	リズムの練習	ちょうちょを弾いてみよう							ちょうちょを弾けるようにする
3	読譜の練習	リズムの練習	ちょうちょの復習	こいのぼりの右手を弾いてみよう							こいのぼりの右手を弾けるようにする
4	読譜の練習 よう	リズムの練習	こいのぼりの右手の復習	こいのぼりの左手を弾いてみ							こいのぼりを両手で弾けるようにする
5	ちょうちょ、こいのぼりの練習										
6	読譜の練習	リズムの練習	こいのぼりの復習	すてきなパパの右手を弾いてみよう							すてきなパパの右手を弾けるようにする
7	読譜の練習 てみよう	リズムの練習	すてきなパパの右手復習	すてきなパパの左手を弾い							すてきなパパを両手でひけるようにする
8	読譜の練習 みよう	リズムの練習	すてきなパパの復習	あめふりくまのこの右手を弾いて							あめふりくまのこの右手を弾けるようにする
9	すてきなパパ、あめふりくまのこの練習										
10	読譜の練習 弾いてみよう	リズムの練習	あめふりくまのこの右手復習	あめふりくまのこの左手を							あめふりくまのこを両手で弾けるようにする
11	読譜の練習	リズムの練習	あめふりくまのこの復習	うみの右手を弾いてみよう							うみの右手を弾けるようにする
12	あめふりくまのこ、うみの練習										
13	読譜の練習	リズムの練習	うみの右手の復習	うみの左手を弾いてみよう							うみを両手で弾けるようにする
14	読譜の練習	リズムの練習	うみの復習	おばけなんてないさの右手を弾いてみよう							おばけなんてないさの右手を弾けるようにする
15	読譜の練習 さの左手を弾いてみよう	リズムの練習	おばけなんてないさの右手の復習	おばけなんてない							おばけなんてないさを弾けるようにする
テキスト	「弾き歌い 簡易楽譜集」(小林由美子・福士亜友子編集)										
参考書・資料等	必要に応じて配布する										
評価方法	なし										
履修上の注意等	自主学习をして受講すること										

科目番号	2301	単位	-	授業形態	-	開講時期	1年後期	担当	福士亜友子
科目名	学習サポート(音楽)								
課程	卒業必修		栄養士		栄養教諭		医療		フードサイエンティスト
			保育士		幼稚園教諭		ベビーシッター		
到達目標及びテーマ	<p>到達目標 ピアノ初心者が「音楽(1)」の科目を、より円滑に受講できることを目標とする。</p> <p>テーマ 初心者の中でも、幼稚園教諭、保育士、保育教諭として必要な弾き歌いが特に困難な学生に、ピアノ・歌唱技術の習得をサポートする。</p>								
授業の概要	「音楽(1)」の後期試験に向けて、弾き歌いのグループレッスンを行う。								
回	授 業 計 画							自主学习(授業前・授業後)	
1	休講								
2	グループレッスン 弾き歌い伴奏法、歌唱法のレッスン 「おうま」 歌唱、片手奏～両手奏							「おうま」	
3	弾き歌い伴奏法、歌唱法のレッスン 「山のワルツ」 歌唱、片手奏～両手奏							「山のワルツ」	
4	弾き歌い伴奏法、歌唱法のレッスン 「夕やけこやけ」 歌唱、片手奏～両手奏							「夕やけこやけ」	
5	復習 「おうま」、「山のワルツ」、「夕やけこやけ」							「おうま」、「山のワルツ」、「夕やけこやけ」	
6	"							「おうま」、「山のワルツ」、「夕やけこやけ」	
7	弾き歌い伴奏法、歌唱法のレッスン 「コンコンクシャン」 歌唱、片手奏							「コンコンクシャン」	
8	弾き歌い伴奏法、歌唱法のレッスン 「コンコンクシャン」 歌唱、両手奏							「コンコンクシャン」	
9	復習 「コンコンクシャン」							「コンコンクシャン」	
10	弾き歌い伴奏法、歌唱法のレッスン 「あわてんぼうのサンタクロース」 歌唱、片手奏							「あわてんぼうのサンタクロース」	
11	弾き歌い伴奏法、歌唱法のレッスン 「あわてんぼうのサンタクロース」 歌唱、両手奏							「あわてんぼうのサンタクロース」	
12	弾き歌い伴奏法、歌唱法のレッスン 「豆まき」 歌唱、片手奏～両手奏							「豆まき」	
13	復習 「あわてんぼうのサンタクロース」、「豆まき」							「あわてんぼうのサンタクロース」、「豆まき」	
14	弾き歌い伴奏法、歌唱法のレッスン 「音楽(1)」試験曲の練習							「音楽(1)」試験曲	
15	弾き歌い伴奏法、歌唱法のレッスン 「音楽(1)」試験曲の練習							「音楽(1)」試験曲	
テキスト	「弾き歌い 簡易楽譜集」(小林・福士編集)								
参考書・資料等	必要に応じて配布する								
評価方法	なし								
履修上の注意等	自主学习をして受講すること								